

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

##### 科目の概要

10日 (60時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早く取れる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。従って 本件で、単位修得の為には、前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事を原則とする。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップ受け入れ先については、キャリアセンターや教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、キャリアセンターで実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。又、確実な成果を上げるために、前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事。

#### 評価

受け入れ先の評価 (A)、インターンシップレポート (B)、それに巡回指導 (C) に基づいて行う。その点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】

【推薦書】 特になし。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。

【参考図書】

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

##### 科目の概要

10日 (60時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早く取れる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。従って 本件で、単位修得の為には、前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事を原則とする。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップ受け入れ先については、キャリアセンターや教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、キャリアセンターで実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。又、確実な成果を上げるために、前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事。

#### 評価

受け入れ先の評価 (A)、インターンシップレポート (B)、それに巡回指導 (C) に基づいて行う。その点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】

【推薦書】 特になし。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。

【参考図書】

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

#### 科目の概要

5日 ( 35時間 ) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 ( 心構え、情報や資料の収集等 ) をしっかり行うことが重要である。その為には、前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事が望ましい。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。インターンシップ受け入れ先については、キャリアセンターや教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、キャリアセンターで実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくことと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】

【推薦書】 特にない。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。

【参考図書】

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって、社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が可能になるよう準備する人材育成策でもある。

#### 科目の概要

5日 ( 35時間 ) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学修目標

多くの学生には、インターンシップに参加することで、職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 ( 心構え、情報や資料の収集等 ) をしっかり行うことが重要である。その為には、前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事が望ましい。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。インターンシップ受け入れ先については、キャリアセンターや教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、キャリアセンターで実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

- 【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。
- 【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】
- 【推薦書】 特にない。ただし、受け入れ先で指示した場合は、それに従うこと。
- 【参考図書】

科目名	民法入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の学科専門科目として位置付けられている。

#### 科目の概要

民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールであり、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律である。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としている。この民法の基礎的知識の習得と、法的思考力の身につけることを目的とする。民法には、契約や不法行為を取り扱う債権法のほか、物権・担保物権、親族法・相続法が含まれるが、この科目ではとりわけ、家を借りる、洋服を買う、誕生日プレゼントをするといった身近な行為に関係の深い民法の債権法を中心に取扱う。

#### 科目の目的

身近な「契約」という行為がどのような法的な意味内容をもつものかを中心に学び、民法・債権法の基本的な理解を図ることを目的とする。また、知識取得のみならず、事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します

#### 内容

1	債権法のガイダンス及び契約の成立
2	契約の効力： 同時履行の抗弁権、危険負担、第三者のためにする契約
3	契約の解除： 解除の要件・効果、消費者保護とクーリングオフ
4	契約各論(1)： 贈与契約 - 意義・成立・効力・特種の贈与
5	契約各論(2)： 売買契約 - 意義・成立・効力
6	契約各論(3)： 売買契約 - 買戻しについて
7	契約各論(4)： 交換・消費貸借・使用貸借
8	契約各論(5)： 賃貸借契約の意義・期間・効力
9	契約各論(6)： 雇用・委任・その他の典型契約
10	契約以外の債権発生原因(1)： 事務管理・不当利得
11	契約以外の債権発生原因(2)： 不法行為
12	債権の効力： 強制執行・債務不履行・損害賠償・受領遅滞
13	多数当事者の債権関係： 連帯債務・保証債務
14	債権の消滅： 弁済・代物弁済・相殺他
15	総括

#### 評価

提出物・受講態度(40点)、ペーパーテスト(60点)を、総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

#### 授業外学習

【事前予習】授業中に指示した教科書の該当箇所を事前に読む。

【事後学修】事例をよく復習し、理解を定着させる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『スタートライン債権法』[第5版] 池田真朗（日本評論社）

【参考書】『デイリー六法』（三省堂） その他の六法でも可



科目名	法学入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

法学の入門的な位置付けとなります。

科目の概要：

社会に生きる人は、日常、意識するしないを問わず、国民として、家族の一員として、個人として、また消費者として様々な立場で法と関わっています。この「法」とは一体どのようなものなのでしょうか。また、法的なトラブルに遭遇しないためには法律を知る必要があるという一方、法的なトラブルに遭遇してしまったときにはどうすればよいかという問題も生じます。そのために、法をめぐり、どのような法律や制度が存在するのかについて学びます。また主要な法律を概観します。

科目の目的：

法学入門として基礎的な知識の理解を図るとともに、現代社会に特徴的な法的問題への理解を深めることを目的とします。

#### 内容

1	法とは何か	
2	法曹	法律家の種類と仕事
3	法曹	法曹養成制度
4	法の種類	
5	紛争解決と法	裁判制度・代替的紛争解決（ADR）
6	紛争解決と法	裁判員制度の現状と課題
7	国家と法：	憲法
8	日常生活と契約：	民法（契約法）
9	日常生活とアクシデント：	民法、消費者法ほか
10	家族関係と法：	民法（家族法）
11	労働と法：	労働法
12	企業と法：	会社法
13	現代社会と法	
14	国際社会と法	
15	総括	

#### 評価

レポート等提出物・授業態度(40%)・ペーパーテスト(60%)を総合して評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの指示された箇所について各自事前に目を通す。

【事後学修】課題を完成させ、理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

『法の世界へ[第5版]』 池田真朗・犬伏由子他著 （有斐閣アルマ）

【参考書】

『デイリー六法』（三省堂）

科目名	社会学入門		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」の2年次配当選択科目である。中学校教諭一種免許状（社会）および高等学校教諭一種免許状（公民）の教職課程「教科に関する科目」のうち、「社会学、経済学」の必修科目である。

##### 科目の概要

人間は一人では生きていけない。人々の共同生活においては、どのような分業があり、どのような人間関係がつけられているのか。それぞれの共同生活には、そのような文化が伝わっているのか。また、それらがどのように持続または変化して、どのような問題が生じているのか、社会学の基礎的な概念によって現象を分析する力を習得する。

##### 学修目標

社会学の基本概念を習得する。社会的に現象を読み解く洞察力を培う。

#### 内容

まず導入部分で、社会学が扱うテーマと研究法を概観する。ついで、社会と人間について、社会・文化・個人のそれぞれに焦点をあてて社会学の基礎概念を体系的に取り上げる。そして、社会的人間の経験的広がりによって、社会の構造と、社会と文化についてみていく。最後に社会の変動を確認しながら、現代社会の問題を把握する。

1	はじめに - 社会学はなぜ必要か
2	社会と人間（1）社会の概念
3	社会と人間（2）文化の概念
4	社会と人間（3）社会的人間
5	社会の構造（1）生活の構造
6	社会の構造（2）集団と社会
7	社会の構造（3）組織と人間
8	社会の構造（4）環境と人間
9	社会の構造（5）国家と権力
10	社会と文化（1）生活文化
11	社会と文化（2）集団の文化
12	社会と文化（3）社会の文化
13	社会の変動（1）社会変動
14	社会の変動（2）社会問題
15	おわりに - 社会学で何がわかるか

#### 評価

授業時の課題40点、学期末試験60点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出に必要な準備をする。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末試験に備える。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

#### 【推薦書】

竹内 洋（2008）『社会学の名著30』ちくま新書。

日本社会学会社会学事典刊行委員会編（2010）『社会学事典』丸善出版。

科目名	消費生活と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科「学科専門科目 ( A 豊かな生活力を育てる ) 」である。「民法入門」の応用編にあたる。

#### 科目の概要

私たちは、通信販売で洋服を買う、映画を見る、旅行会社でツアーに申し込む、電車にのるといったあらゆる日常生活の場面で私たちは誰もが「消費者」として生活している。つまり「事業者」から物やサービスを購入し、利用しているのである。しかし、販売方法も多様化し、社会も複雑化している状況の下、大量生産・大量販売といった機能が事業者により一方的に担われている。そして、消費者と事業者には情報力・経済力等の格差が存在する。そのため、様々な消費者トラブルが発生する可能性が常にある。そこで、消費者トラブルの発生しやすい場面や現代的な課題を取り扱い、紛争解決の仕組みを検証する。

#### 科目の目標

日常の消費生活において消費者を事業者から守る法律とその意義、各種悪徳商法の対策と法、トラブル発生後の消費者救済の仕組みについて学ぶ。また、賢い消費者としての必要な知識を身につけ、消費者トラブルと法の機能と限界について説明できるようにする。また、知識取得のみならず、消費者問題に関連する新聞記事などを利用し文章読解能力・文章表現力を身につけ、また事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

#### 内容

1	【総論】消費者法 ガイダンス、消費者と事業者、民法
2	【総論】消費者契約法 悪徳商法と消費者
3	【総論】特定商取引法 訪問販売、クーリング・オフ
4	【各論】高齢者・未成年者の法律問題
5	【各論】金融機関と消費者問題
6	【各論】信用取引と消費者問題
7	【各論】破産・倒産と消費者
8	【各論】マルチ商法・ネズミ講
9	【各論】不動産と消費者問題 (前半)
10	【各論】不動産と消費者問題 (後半)
11	【各論】情報化社会と消費者問題
12	【紛争解決と消費者】裁判所と消費者、裁判所以外の窓口 (ADR) と消費者
13	【紛争解決と消費者】行政と消費者
14	【紛争解決と消費者】教育と消費者
15	まとめ

#### 評価

提出物・授業態度 (50点)、ペーパーテスト (50点) を総合して評価する。

100点満点中60点が単位取得の下限となる。

#### 授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、消費者と法の課題について関心と理解を深める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。その他、必要に応じて適宜資料を配布する。

科目名	生活構造論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」の2・3年次配当選択科目である。

#### 科目の概要

生活とコミュニティ（地域社会）について、生活構造論からアプローチする。そもそも生活とは多義的な概念であるため、生活構造論は多様である。しかしその基本は、個人または家族の生活状況から社会構造を捉え直そうとする、つまり生活者（個人や家族）の主体性に着目している点で共通している。都市化・産業化によって人々の生活水準は向上したが、それは格差社会をつくりだすことにも繋がった。また、生活の質についてはどうであろうか。この科目では、官庁統計や社会調査のデータを用いて、生活者が置かれている生活状況（生活水準、生活時間、生活空間、生活関係）を確認するとともに、地域社会における生活者の主体形成のありかたを考察する。

#### 学修目標

生活者（個人や家族）の主体性に着目し、生活者の生活状況から社会構造を捉えなおす、生活構造論の基本を学ぶ。官庁統計や社会調査データから生活構造を読み解く力を身につける。

### 内容

1	生活構造 1：生活構造論とは
2	生活構造 2：生活の指標
3	生活水準 1：家族周期と家計構造
4	生活水準 2：消費行動とライフスタイル
5	生活水準 3：階層・階級と格差社会
6	生活時間 1：生活時間の構造
7	生活時間 2：ワークライフバランス
8	生活空間 1：過疎問題
9	生活空間 2：開発と住民運動
10	生活空間 3：都市問題
11	生活関係 1：自治会・町内会
12	生活関係 2：社会的ネットワーク
13	生活関係 3：ボランティア活動
14	生活関係 4：コモンズとまちづくり
15	総括

### 評価

授業時の課題50点、学期末のレポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末レポートの作成に備える。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

### 【推薦書】

三浦典子、森岡清志、佐々木 衛 編（1986）『生活構造』（リーディングス日本の社会学5）東京大学出版会。

堤マサエ、徳野貞雄、山本 努 編著（2008）『地方からの社会学』学文社。



科目名	家族生活論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）/ 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」のうち2・3年次生担当選択科目である。また、中学校教諭一種免許状（社会）および高等学校教諭一種免許状（公民）の教職課程「教科に関する科目」のうち、「社会学、経済学」の必修科目である。

#### 科目の概要

生活の基本単位である家族という小集団と、そこでの人間関係の特徴を理解する。家族は、男女が結婚することによってつくり、子どもの誕生によって成員を増やし、やがて子どもが独立することで規模を縮小し、最後は老夫婦のいずれか一方の死によって消滅するという、ライフサイクルを持っている。ライフサイクルのそれぞれのライフステージには、それぞれの生活課題がある。近年、わが国では未婚晩婚化、晩産化が進み、ライフサイクルの平均像が大きく異なっている。本科目では、家族形成のあり方、家族の構造と機能について、その基本的な捉え方を学ぶとともに、その今日的な変化を実証的に確認する。

#### 学修目標

家族という小集団の構造と機能、夫婦関係および親子関係について、社会調査のデータから客観的に論じられる力を身につける。

内容	
1	家族の捉え方1：家族の定義
2	家族の捉え方2：家族と世帯
3	家族の形態1：核家族
4	家族の形態2：家族の類型と分類
5	家族の形態3：家族構成の変化
6	結婚1：異性交際と配偶者選択
7	結婚2：結婚の意味と機能
8	結婚3：結婚の変化
9	家族の発達1：家族のライフサイクル
10	家族の発達2：ライフサイクルの変化
11	家族の内部構造1：家族の役割構造と勢力構造
12	家族の内部構造2：家族の情緒構造
13	家族の機能1：子どもの社会化
14	家族の機能2：老親扶養
15	総括

#### 評価

授業時の課題30点、学期末試験70点として、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてあるワークシートで予習する。

【事後学修】ワークシートの解答を確認して、学期末試験に備える。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

### 【推薦書】

湯沢雅彦・宮本みち子（2008）『新版 データで読む家族問題』NHKブックス。

野乃山久也編（2009）『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社。

佐藤博樹・永井暁子・三輪 哲編（2010）『結婚の壁 - 非婚・晩婚の構造』勁草書房。

森岡清美（2012）『「無縁社会」に高齢期を生きる』佼成出版社。

科目名	生活環境論		
担当教員名	鴨澤 小織		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

人間が人間らしく生きていくための物理的環境と自然環境のあり方について考え、それに関連する問題を具体的に学ぶ。

#### 科目の概要

生活環境にまつわる問題を福祉的視点と、地球環境からの視点から接近する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

今を生きる私たちの生活にかかわる問題にどう立ち向かっていくのがいいのか、国際的な取り組み、理論、法律、行政などの動きを広く学ぶことから自分で判断して、ライフスタイルを選べる能力を付ける。

#### 内容

車いす体験、高齢者体験、レポート提出、プレゼンテーションなど参加型の授業とする。

1	生活環境の概念について：福祉的生活環境と地球生活環境
2	地域における生活環境：障害者、高齢者の視点から街の生活を考える
3	バリアフリーと生活環境：人にやさしい街とは
4	高齢者にとっての生活環境を考える：高齢者体験から
5	障害者にとっての生活環境を考える：車いす経験から
6	地域における生活環境整備
7	世界の動き：国際生活機能分類から考える Q O L
8	地球規模の環境問題：地球温暖化
9	地球規模の環境問題：森林破壊と海洋汚染
10	地球規模の環境問題：飲料水と生活排水
11	地球規模の環境問題：リサイクルから考える環境に優しい生活
12	世界の動きと環境問題 1：グリーンコンシューマー、ロハス
13	世界の動きと環境問題 2：エネルギー政策
14	これからの生活環境を考える
15	まとめ

#### 評価

課題40%、授業への貢献30%、授業への参加度30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前学修】配布資料を読むなど。

【事後学修】課題について調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。

科目名	政治とメディア		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

2年生以上対象の「A.豊かな生活力を育てる」群科目として、政治についての情報の流れについて学ぶ。

人々が政治についての情報を入手する方法は色々ある。その中でも、職業として政治にかかわる人々（政治家、官僚）も、素人として政治に参加する人々（有権者）が最近特に注目しているのがマスメディアとインターネットメディアである。授業では、この2つを取り上げ、それぞれの特徴や問題点を議論する。また、情報のグローバル化が政治コミュニケーションに及ぼす影響についても考察する。

人々がメディアを通じてどのように政治情報を発信、受信しているか、発信している側の意図は何か、それを受信する側は何を感じるかなど、政治コミュニケーションの現状を理解する。

内容	
1	政治コミュニケーションとは何か
2	発信者と受信者の関係（1）：直接対話
3	発信者と受信者の関係（2）：間接対話
4	マスメディアの自由
5	マスメディアの制約
6	マスメディアと世論
7	インターネットメディアの発展
8	インターネットメディアの影響力
9	メディアの政治的影響
10	政治参加の方法としてのメディア（1）：選挙キャンペーン
11	政治参加の方法としてのメディア（2）：政治的動員
12	選挙報道
13	政治コミュニケーションの国際比較（1）：欧米諸国
14	政治コミュニケーションの国際比較（2）：アジア諸国
15	まとめ

#### 評価

レポート（50%）、試験（50%）で総合評価。再試験は行わない。

#### 授業外学習

【事前予習】マスコミやネットで伝えられる政治的ニュースをフォローする。

【事後学修】授業で説明された分析的視点からニュースを分析する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】蒲島郁夫他 『メディアと政治』有斐閣アルマ 2007年

【推薦書】遠藤薫 『間メディア社会における世論と選挙』東京電機大学出版局 2011年

【参考書】平田オリザ、松井孝治 『総理の原稿』岩波書店 2011年

科目名	グローバル化と生活		
担当教員名	鴨澤 小織		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

現代社会を突き動かしている動力を身近なモノ、ヒト、文化などから読み解くことで「グローバル化」とは何かを理解する。

#### 科目の概要

グローバル化によって、人間の生活に何が起きているのか、周辺の人たちの生活へどんな影響があるのかなどを考え、その光と影の両面から探してみる。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日常生活の世界にどうつながっているのか、グローバル化する社会でどう生きるのかを考える力を高め、自分の考えをまとめる力をつける。

#### 内容

必要に応じゲストスピーカーの講義、レポート作成、発表など参加型の授業とする。

1	グローバル化とは何か：背景と意味
2	グローバル化の歴史
3	グローバル化する社会の「モノ」100円ショップからフェアトレード
4	グローバル化する社会の「食糧」輸入食材とフードマイレージ
5	グローバル化する社会の「水」水紛争とは何か
6	グローバル化する社会の「文化」本、ファッション、音楽から世界を見る
7	グローバル化する社会の「企業と組織」多国籍企業と国際協力組織
8	グローバル化する社会の「労働1」国境を超える女性労働者
9	グローバル化する社会の「労働2」日本の移民労働者
10	グローバル化する社会の「人間の交流」多文化共生
11	グローバル化する社会の「人の交流：光と影」国際結婚、人身売買
12	グローバル化の諸問題：格差と貧困
13	グローバル化の諸問題：不平等と社会正義
14	グローバル化を生きるということ：誰が豊かになったのか
15	まとめ

#### 評価

課題40%、授業への貢献30%、授業への参加度30% とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】授業で配布する資料を読むなど。

【事後学修】課題を調べる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用しない。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。



科目名	コミュニティビジネス		
担当教員名	中嶋 修、田中 由子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

少子高齢化問題は日本の将来に大きな不安を抱えています。幅広い分野で女性の進出が期待されていると同時に、「女性、若者」が積極的に新規事業開発（ベンチャービジネス）や、コミュニティビジネスに取り組む事も求められています。最近、自分のアイデアを活かした学生起業家、女性起業家が増えていますが、新規事業開発を成功させるには、色々な授業で得た知識を活かした、新しいアイデアが必要です。将来、色々な選択肢がある中で、幅広い社会人になる為に必要な事柄を総合的に学ぶ科目です。

#### 科目の概要

ベンチャー支援の現場から見た成功例、失敗例の具体的事例を基に起業分野において必要な事を勉強します。ビジネスモデルを作る為に必要な、取組姿勢（信条）、知識、情報、付加価値の付け方などを勉強します。最新情報として新聞等の情報、時事問題も毎回取り上げて勉強していきます。

#### 学修目標（＝到達目標）

情報を得て考える習慣が身に付く・幅広い知識が身に付く・将来の自分が見えてくる

内容	
1	新規事業開発とコミュニティビジネス講義の進め方 ・新聞記事による時事問題
2	コミュニティビジネスの研究 ・新聞記事による時事問題
3	コミュニティビジネスの具体例・新聞記事による時事問題
4	ベンチャーとは（新規事業開発）・新聞記事による時事問題
5	ベンチャービジネスにおける具体的な成功例と失敗例・新聞記事による時事問題
6	日本の経済・政治・外交について・新聞記事による時事問題
7	アイデアの出し方（事例研究）・新聞記事による時事問題
8	海外展開について（アジア・新興国）・新聞記事による時事問題
9	国内産業の動向と景気について・新聞記事による時事問題
10	アイデアにさいて具体的事例研究（共通テーマ出題）・新聞記事による時事問題
11	経営者に必要なもの（経営全般・組織・法律など）・新聞記事による時事問題
12	ベンチャーを立ち上げる具体的な研究（自分自身）・新聞記事による時事問題
13	自分の将来の可能性について検討・新聞記事による時事問題
14	時事問題のまとめと日本の将来予測（経済・就職）・新聞記事による時事問題
15	まとめ 授業全般のまとめとエール・新聞記事による時事問題

## 評価

授業への参加度40%・小レポート20%・課題レポート40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】政治・経済・トレンドなど、新聞などに興味を持って情報収集に努める事

【事後学修】勉強した課題の中で、今の自分なりの考えを持つ事

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】

科目名	NPO活動と組織		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 選択科目

市民が行う自由な社会貢献活動を促進する法律として特定非営利活動促進法が成立したのは1998年である。多様な生活問題の解決にあたって民間非営利団体 ( N P O ・ N G O ) の貢献する範囲は広がっている。統計などによって見えている部分のごくわずかであるということから「氷山のようなセクターである」といわれた民間非営利領域、およびその主体である民間非営利団体について、さまざまな議論や実践とともに研究も深まりつつある。多様な非営利団体を対象に、現在の私たちの社会におけるその実態と可能性を検討する。講義だけでなく、受講生全体の参加による議論・検討を重視する。

民間非営利団体の現状をふまえて、社会における市民の役割を理解する。

#### 内容

NPOの活動事例の検討は、履修者の人数および関心に応じて変更する。第6～10週は例を示した。

1	生活主体と公共私領域 - N G O ・ N P O の誕生
2	N P O と非営利革命
3	N P O セクターの国際比較
4	ミッションとプロフィット
5	わが国のN P O を取り巻く制度と環境
6	N P O の活動事例 - 教育・文化・スポーツの分野
7	N P O の活動事例 - 医療・福祉の分野
8	N P O の活動事例 - 地域振興・環境問題の分野
9	N P O の活動事例 - 人権・平和・国際協力の分野
10	N P O の活動事例 - N P O の支援を行なうN P O
11	N P O の多様性とその課題
12	N P O における寄付とボランティア
13	N P O のマネジメント
14	N P O の展開と市民社会の可能性
15	レポート報告と講評

#### 評価

事例発表・討議への参加態度 ( 30点 ) 、期末レポート ( 70点 ) として採点し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】推薦書を読む。NPOの活動事例に関する情報収集を行う。

【事後学修】他の受講生の報告をふまえ、各自の関心領域以外の非営利活動について理解と関心を深める

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

推薦書：NPO研究フォーラム『NPOが開く新世紀』清文社 335.8/N

山内直人編『NPOデータブック』有斐閣 335.8/Y

大畑裕嗣他『社会運動の社会学』有斐閣選書

山岡義典編著『NPO基礎講座』『NPO実践講座』ぎょうせい

目加田説子『行動する市民が世界を変えた』毎日新聞社

長谷川公一編『講座環境社会学・環境運動と政策のダイナミズム』有斐閣

科目名	生活経済		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本講義は、生活情報学科専門科目である。FP技能士3級合格を目指しながら、個人の公的年金保険制度や税制、金融資産運用について学習する。

#### 科目の概要

FP技能士3級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人が関わる金融全体についての知識習得を図る。

#### 学修目標

FP技能士3級に合格できる学力の養成を図る。

内容	
1	イントロダクション
2	ライフプランニングと資金計画 1
3	ライフプランニングと資金計画 2
4	生命保険
5	損害保険
6	金融資産運用 1
7	金融資産運用 2
8	金融資産運用 3
9	税制のしくみ 1
10	税制のしくみ 2
11	不動産取引 1
12	不動産取引 2
13	相続と事業継承 1
14	相続と事業継承 2
15	まとめ

#### 評価

平常点 ( 10% )、中間テスト ( 30% )、学期末テスト ( 60% ) とし、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読む。

【事後学修】プリントで復習しながら、問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業中に指示する。

推薦書：授業時に指示する。

科目名	生活と産業		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

経済学的な視点からの企業や産業を取り上げる。

##### 科目の概要

日本企業におけるコーポレートガバナンスをアメリカとの比較で行う。また、企業が立ち向かう様々な危機を具体的に取り上げ、どのようにその危機を乗り越えていくかを検証していく。また、近年話題のM&Aや会社法改正についても取り上げる。さらに、雇用の問題を企業側、労働者側双方から見ていく。

##### 学修目標

企業論に関する基礎的な概念と、現在の企業が抱えている諸問題について理解することを目標にする。

#### 内容

1	ガイダンス
2	株式会社とは何か
3	株式会社の歴史
4	株式会社のしくみ
5	コーポレートガバナンス
6	CSR
7	内部統制
8	敵対的買収
9	日本的経営
10	日本的雇用慣行
11	正規雇用と非正規雇用
12	企業不祥事
13	日本とアメリカの経営比較
14	日本産業の特徴
15	まとめ

#### 評価

平常点（10%）、中間のレポート（30%）、最終のレポート（60%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】事前に配布されたプリントを読む。

【事後学修】事後に各企業について自ら調べる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。



科目名	女性と起業		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。現代の日本社会では女性もビジネス社会で活躍するような機械と大きな期待があります。1年次の経営学基礎で学んだ、基礎的用語や知識に基づいて、将来の就職や起業などのキャリア形成に役立つような、ビジネスの考え方と基本概念を学ぶ科目です。

#### 科目の概要

人生において重要な意味を持つ、お金・仕事についての意味を考え、次にビジネスの基本についての考え方を学びます。さらに、起業とはどのような事か、そしてビジネスと企業をマネージし育てていくにはどのような事を考える事が大事かを学びます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

ビジネスとは何か、起業・事業とは何かを学ぶことにより、就職や起業など将来のキャリア形成に必要な知識を学びます。またこれにより、経営や会計・マーケティング等の他の関連科目の理解が容易になります。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い、授業の進め方、評価方法などについて
2	社会と企業、企業と家計・個人との関係
3	仕事とお金、どうやって決まるのか、報酬と利益
4	お金とライフステージ
5	合理的な人の意思決定の経済理論 ( 1 )
6	合理的な人の意思決定の経済理論 ( 2 )
7	時間とお金、リスクとリターン、貯蓄と投資
8	起業家の誕生～アイデアをビジネスに
9	ビジネスモデルと基本コンセプト
10	起業で最初にやるべき4つの事
11	個人事業か会社設立か
12	起業のケーススタディ
13	会社の上手な育て方
14	女性とビジネス
15	まとめ

評価

授業への取り組み姿勢 40%、レポート提出 20%、期末試験 40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】事前に講義資料をサーバーで目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】講義資料はパワーポイントで行い、必要に応じて縮刷版を配布する

【推薦書】

【参考図書】追って指示する

科目名	女性と起業		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。現代の日本社会では女性もビジネス社会で活躍するような機械と大きな期待があります。1年次の経営学基礎で学んだ、基礎的用語や知識に基づいて、将来の就職や起業などのキャリア形成に役立つような、ビジネスの考え方と基本概念を学ぶ科目です。

#### 科目の概要

人生において重要な意味を持つ、お金・仕事についての意味を考え、次にビジネスの基本についての考え方を学びます。さらに、起業とはどのような事か、そしてビジネスと企業をマネージし育てていくにはどのような事を考える事が大事かを学びます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

ビジネスとは何か、起業・事業とは何かを学ぶことにより、就職や起業など将来のキャリア形成に必要な知識を学びます。またこれにより、経営や会計・マーケティング等の他の関連科目の理解が容易になります。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い、授業の進め方、評価方法などについて
2	社会と企業、企業と家計・個人との関係
3	仕事とお金、どうやって決まるのか、報酬と利益
4	お金とライフステージ
5	合理的な人の意思決定の経済理論 ( 1 )
6	合理的な人の意思決定の経済理論 ( 2 )
7	時間とお金、リスクとリターン、貯蓄と投資
8	起業家の誕生～アイデアをビジネスに
9	ビジネスモデルと基本コンセプト
10	起業で最初にやるべき4つの事
11	個人事業か会社設立か
12	起業のケーススタディ
13	会社の上手な育て方
14	女性とビジネス
15	まとめ

評価

授業への取り組み姿勢 40%、レポート提出 20%、期末試験 40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】事前に講義資料をサーバーで目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】講義資料はパワーポイントで行い、必要に応じて縮刷版を配布する

【推薦書】

【参考図書】追って指示する

科目名	家族と労働法		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格：

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法（親族・相続）の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

##### 科目の概要：

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

##### 学修目標

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を深めることを目的とします。また、知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

#### 内容

1	家族問題と法
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	家族法の現代的問題
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 相続人と相続財産
12	相続 法定相続
13	遺言・遺留分
14	働く女性と法
15	総括

#### 評価

提出物・受講態度（50点）、ペーパーテスト（50点）を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

#### 授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、家族と法の課題について関心と理解を深める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『家族の法[第3版]』 利谷信義（有斐閣）

【参考図書】『デイリー六法』（三省堂） その他の六法も可

科目名	社会人基礎力		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門科目 B 「キャリアを形成する」 1 年必修科目

#### 科目の概要

大学生から社会人として社会で活動するための基礎力を養うための演習方式の学習。グループワークなどを活用し、他者と関わる力、コミュニケーションの力などを育成する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

社会人基礎力の 1 2 項目を理解し、自己の力を成長させるための方法を理解し実践する。

内容	
1	オリエンテーション、「社会人とは」をワールドカフェ方式でとらえる
2	学びの目的を知る、社会人基礎力とは
3	グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
4	グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
5	グループ活動 3 多様な価値や考え方を知る
6	グループ活動 4 - 自分を伝える・相手を知る
7	先輩とのしゃべり場 1 - インターンシップや社会活動への参加は
8	総合学習 1 - グループで企画・ポスター作り
9	総合学習 2 - 企画のプレゼンと評価
10	コミュニケーション基礎 1 - 傾聴力の重要性
11	コミュニケーション基礎 2 - アサーションとは
12	コミュニケーションきそ 3 - アサーションを活用しての実践
13	先輩とのしゃべり場 2 - 就職活動や大学生活について
14	自分づくりーセルフコーチング
15	授業全体の振り返り

#### 評価

各回またはテーマごとに自己評価を行う ( 5 0 点 )。授業への参加状況 ( 3 0 点 )、と教員評価 ( 2 0 点 ) を合わせて総合評価 1 0 0 点とし、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 次回の学習項目について理解し、自分の日常活動を振り返る。

【事後学修】実際の場面で活用する方法を検討し、実践する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時のテーマに関するものを随時紹介する。



科目名	社会人基礎力		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門科目 B 「キャリアを形成する」 1 年必修科目

#### 科目の概要

大学生から社会人として社会で活動するための基礎力を養うための演習方式の学習。グループワークなどを活用し、他者と関わる力、コミュニケーションの力などを育成する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

社会人基礎力の 1 2 項目を理解し、自己の力を成長させるための方法を理解し実践する。

#### 内容

1	オリエンテーション、「社会人とは」をワールドカフェ方式でとらえる
2	学びの目的を知る、社会人基礎力とは
3	グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
4	グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
5	グループ活動 3 多様な価値や考え方を知る
6	グループ活動 4 - 自分を伝える・相手を知る
7	先輩とのしゃべり場 1 - インターンシップや社会活動への参加は
8	総合学習 1 - グループで企画・ポスター作り
9	総合学習 2 - 企画のプレゼンと評価
10	コミュニケーション基礎 1 - 傾聴力の重要性
11	コミュニケーション基礎 2 - アサーションとは
12	コミュニケーションきそ 3 - アサーションを活用しての実践
13	先輩とのしゃべり場 2 - 就職活動や大学生活について
14	自分づくりーセルフコーチング
15	授業全体の振り返り

#### 評価

各回またはテーマごとに自己評価を行う ( 5 0 点 ) 。授業への参加状況 ( 3 0 点 ) 、と教員評価 ( 2 0 点 ) を合わせて総合評価 1 0 0 点とし、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 次回の学習項目について理解し、自分の日常活動を振り返る。

【事後学修】実際の場面で活用する方法を検討し、実践する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時のテーマに関するものを随時紹介する。

科目名	社会人基礎力		
担当教員名	森山 貴代		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門科目 B 「キャリアを形成する」 1 年必修科目

#### 科目の概要

大学生から社会人として社会で活動するための基礎力を養うための演習方式の学習。グループワークなどを活用し、他者と関わる力、コミュニケーションの力などを育成する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

社会人基礎力の 1 2 項目を理解し、自己の力を成長させるための方法を理解し実践する。

#### 内容

1	オリエンテーション、「社会人とは」をワールドカフェ方式でとらえる
2	学びの目的を知る、社会人基礎力とは
3	グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
4	グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
5	グループ活動 3 多様な価値や考え方を知る
6	グループ活動 4 - 自分を伝える・相手を知る
7	先輩とのしゃべり場 1 - インターンシップや社会活動への参加は
8	総合学習 1 - グループで企画・ポスター作り
9	総合学習 2 - 企画のプレゼンと評価
10	コミュニケーション基礎 1 - 傾聴力の重要性
11	コミュニケーション基礎 2 - アサーションとは
12	コミュニケーションきそ 3 - アサーションを活用しての実践
13	先輩とのしゃべり場 2 - 就職活動や大学生活について
14	自分づくりーセルフコーチング
15	授業全体の振り返り

#### 評価

各回またはテーマごとに自己評価を行う ( 5 0 点 )。授業への参加状況 ( 3 0 点 )、と教員評価 ( 2 0 点 ) を合わせて総合評価 1 0 0 点とし、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 次回の学習項目について理解し、自分の日常活動を振り返る。

【事後学修】実際の場面で活用する方法を検討し、実践する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時のテーマに関するものを随時紹介する。

科目名	社会人基礎力		
担当教員名	森山 貴代		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門科目 B 「キャリアを形成する」 1 年必修科目

#### 科目の概要

大学生から社会人として社会で活動するための基礎力を養うための演習方式の学習。グループワークなどを活用し、他者と関わる力、コミュニケーションの力などを育成する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

社会人基礎力の 1 2 項目を理解し、自己の力を成長させるための方法を理解し実践する。

#### 内容

1	オリエンテーション、「社会人とは」をワールドカフェ方式でとらえる
2	学びの目的を知る、社会人基礎力とは
3	グループ活動 1 - 協力して作業をすすめる
4	グループ活動 2 - 時間内に課題を達成する
5	グループ活動 3 多様な価値や考え方を知る
6	グループ活動 4 - 自分を伝える・相手を知る
7	先輩とのしゃべり場 1 - インターンシップや社会活動への参加は
8	総合学習 1 - グループで企画・ポスター作り
9	総合学習 2 - 企画のプレゼンと評価
10	コミュニケーション基礎 1 - 傾聴力の重要性
11	コミュニケーション基礎 2 - アサーションとは
12	コミュニケーションきそ 3 - アサーションを活用しての実践
13	先輩とのしゃべり場 2 - 就職活動や大学生活について
14	自分づくりーセルフコーチング
15	授業全体の振り返り

#### 評価

各回またはテーマごとに自己評価を行う ( 5 0 点 ) 。授業への参加状況 ( 3 0 点 ) 、と教員評価 ( 2 0 点 ) を合わせて総合評価 1 0 0 点とし、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 次回の学習項目について理解し、自分の日常活動を振り返る。

【事後学修】実際の場面で活用する方法を検討し、実践する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時のテーマに関するものを随時紹介する。

科目名	インターンシップ入門		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本講義は、「インターンシップ」及び「短期インターンシップ」履修の事前授業である（「インターンシップ」「短期インターンシップ」を履修する場合は原則として本講義を履修すること。

#### 科目の概要

企業が求めている人材像（ビジネスマナー、社会人としての基本動作他）、インターンシップの受け入れ先である私企業、地方自治体などについての基本的な知識更には、インターンシップの内容、インターンシップを受ける際の基本的な常識などについて指導する。

#### 学修目標

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップは就職には必ずしも直結しないが、インターンシップを経験することで積極的な就職活動が可能となる。

#### 内容

1	ガイダンス（講義の進め方の説明、注意事項など）
2	企業とはなにか、企業が期待する女性社員像
3	企業のインターンシップについて（インターンシップに参加した先輩社員の報告）
4	企企業のインターンシップ開催企業よりの内容紹介1
5	企業のインターンシップ開催企業よりの内容紹介2
6	企業のインターンシップ開催企業よりの内容紹介3.
7	企業のインターンシップ開催企業よりの内容紹介4
8	企業のインターンシップ開催企業よりの内容紹介5
9	企自治体のインターンシップ 内容紹介
10	ビジネスマナー講座1
11	ビジネスマナー講座2
12	ビジネスマナー講座3
13	資生堂 Top Beauty Specialist 西島悦さんのメイク実演
14	インターンシップの応募手続き方法（学内、学外）
15	まとめ

#### 評価

授業への参加姿勢（40%）、適宜行うテストの結果（30%）、最終テストの評価（30%）

## 授業外学習

【事前予習】各回の発表企業、自治体名を事前に通知するのでその会社、団体の事前調査

【事後学修】当日発表のあった企業、団体と同じ業界の関連事項及びインターンシップ等の調査

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

その都度、提示する。



科目名	ライフコースと生活設計		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「Bキャリアを形成する」の2・3年次配当選択科目である。

#### 科目の概要

家族という小集団は、男女が結婚することで形成され、子どもの出生と成長によって拡大する。しかし、子どもが成人して自身の家族を形成するにしたがって縮小し、やがてはもとの夫婦二人になるという生活周期をもっている。家族にはこうした周期現象がみられることから、より長いスパンでの生活設計という考えが生まれた。ところが、個人の生き方が多様化するなかで、家族の生活周期と個人のライフコースとはどのように交錯しているのか、時代や世代によってどう変化したのかといった考察が必要になってきた。本科目では、女性の自立とライフコースの選択、格差社会の進展にともなうライフコースの移行の遅れといった今日的な課題について、論理的に考察する。

#### 学修目標

家族周期やライフコースという家族の発達アプローチを理解する。ライフコース分析の基本を学修する。より長いスパンから女性のキャリアを考える視点を身につける。

#### 内容

1	発達アプローチ
2	家族周期の定義と発見者
3	家族周期の段階
4	家族周期と発達課題
5	家族周期の世代変化
6	家族周期論の応用
7	家族周期論の限界
8	ライフコースの発想
9	ライフコースの捉え方
10	ライフコース研究の古典1：エルダー『大恐慌の子供たち』
11	ライフコース研究の古典2：プラス『日本人の生き方』
12	女性のライフコース1
13	女性のライフコース2
14	ライフコースと世代
15	総括

#### 評価

授業時の課題提出50点、学期末試験50点として、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末試験に備える。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

### 【推薦書】

G・H・Jr.・エルダー、本田時雄他（1986）『大恐慌の子どもたち』明石書店。

D・W・ブラス、井上俊・杉野目康子訳（1985）『日本人の生き方』岩波書店。

岩上 真珠（2003）『ライフコースとジェンダーで読む家族』有斐閣。

青木 幸弘、女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

科目名	ワークライフバランス論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門科目「Bキャリアを形成する」の3・4年前期選択科目

#### 科目の概要

3年以上の科目として、就職活動につなげて企業のワークライフバランスの取り組みを「月刊・ワークライフバランス」を活用して実態をとらえ、自身の企業選択やキャリアプラン作りの基本知識とする。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

企業のワークライフバランスの取り組み、働く環境についての基本知識を獲得し、キャリアプラン作りを行う。

内容	
1	オリエンテーション なぜワークライフバランスか
2	女性としごと・日本の状況・世界の状況
3	ワークライフバランスに取り組む企業 1 - 関連資料検索
4	ワークライフバランスに取り組む企業 2 - 「月刊・ワークライフバランス」資料
5	女性の働きやすい会社調査
6	多様な制度の活用、待機児童問題とは
7	保育施設 - 社内保育所制度の取り組み
8	男性の子育て参加 - イクメン男性の登場
9	自治体の子育て支援
10	育児休業制度の変化
11	女性仕事の長期化 - 就業と生涯賃金
12	表彰企業から企業リストを作成する
13	私にとってのワークライフバランスとは
14	ワークライフバランスを考慮したキャリアプランの作成
15	まとめ

#### 評価

毎回の授業コメント・授業への参加状況 ( 30点 )、プレゼン ( 20点、 ) 課題レポート ( 50点 ) とし、総合評価60点

以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】「月刊・ワークライフバランス」の関連記事を読む

【事後学修】 最終の課題制作にむけての資料づくり

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【参考図書】

「月刊・ワークライフバランス」

駒崎弘樹「働き方革命」

科目名	問題解決手法		
担当教員名	安田 順		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、生活情報学科の専門科目「キャリアを形成する」の中で自己能力開発を行う基盤となる授業である。

#### 科目の概要

問題解決について概説した上で、日常生活・社会の現場のどちらにおいても活かせる実践的な手法を体験的に学ぶ。その上で、問題解決の原則について、何が本質的に効果的なのかを考察し、自らの問題解決についての考え方を深める。

#### 学修目標

授業で取り上げられるさまざまな事例を自分の身に引きつけて考え、グループで成果を出すことを志向し授業に積極的に参加することが求められる。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	問題とは
3	問題解決とは
4	問題解決の手法(1)手法の概観
5	問題解決の手法(2)収束的思考
6	問題解決の手法(3)拡散的思考
7	問題解決の原則(1)成功事例の活用
8	問題解決の原則(2)目的の明確化
9	問題解決の原則(3)あるべき姿の探求
10	問題解決の原則(4)システム化
11	問題解決の原則(5)専門性
12	問題解決の原則(6)集団思考
13	問題解決の原則(7)変化の継続
14	問題解決の応用場面
15	まとめ

#### 評価

期末テスト ( 60% )、授業中に作成・提出するリアクションシート ( 40% ) という配分で評価することとし、総合評価 60% 以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 授業を受ける前に、自分が現在抱えているか、ささいなものから大きなものまで考えてみてほしい。

【事後学修】 毎回の授業後に、その授業で学んだ問題解決手法や問題解決に関する考え方を日常で応用してみてほしい。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。必要に応じて、授業中にプリントを配付する。

【推薦書】授業中に適宜紹介する。

【参考図書】授業中に適宜紹介する。

科目名	人材育成論		
担当教員名	安田 順		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目では、組織における人材育成を通じて、人がどのように成長していくのか、そのプロセスについて検討する。このプロセスを理解することは、皆さんが社会に出てキャリアを築いていくために、また企業などで人材育成の仕事をするために決定的に重要である。

#### 科目の概要

授業では、組織における人材育成の関係について、組織における個人の成長プロセスをたどりながら、さまざまな角度から考察する。このことで、皆さんは卒業後、組織に加入して成長していくプロセスを事前体験することとなる。

#### 学修目標

この授業の目標は、人材育成について体験的に理解することを通じて、卒業後、組織に加入した際の自分自身のキャリア形成能力を向上させると同時に、同一組織で働く他者の成長を促進するための考え方を身に着けることである。

#### 内容

1	組織における人材育成とは
2	組織における人材育成(1)個人と組織
3	組織における人材育成(2)キャリアと経営
4	組織における人材育成(3)組織への適応
5	組織における人材育成(4)組織文化
6	組織における人材育成(5)組織のルール
7	組織における人材育成(6)モチベーション管理
8	組織における人材育成(7)人事異動と人材育成
9	組織における人材育成(8)キャリアマネジメント
10	組織における人材育成(9)リーダーシップの発揮
11	組織における人材育成(10)リーダーの育成
12	人材育成部門の役割(1)人材育成計画
13	人材育成部門の役割(2)Off-JT
14	人材育成部門の役割(3)OJT
15	まとめ

#### 評価

期末テスト ( 60% )、授業中に作成・提出するリアクションシート ( 40% ) という配分で評価する。総合評価60%以上で合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業を受ける前に、人材育成にかかわるこれまでの自分の体験について、ささいなものから大きなものまで考

えてみてほしい。

【事後学修】毎回の授業後に、その授業で学んだ人材育成に関する考え方についてふり返り、深く考えてほしい。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない。必要に応じて、授業中にプリントを配付する。

【推薦書】授業中に適宜紹介する。

【参考図書】授業中に適宜紹介する。



科目名	キャリアモデルケース研究		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門科目、B「キャリアを形成する」の選択科目

#### 科目の概要

学生は卒業後企業で仕事をする場合が多いが、企業で働く女性との直接的な交流は少なく、企業社会 で仕事することのイメージをつかめていない場合が多い。そこでこの授業では、キャリアモデルと なる企業で仕事する女性を招き、具体的なキャリア形成や職業生活についてケース研究を行うこと で、学生自身の知識を拡げ、イメージを作るエンパワーメントにつなげる。

#### 学修目標 (= 到達目標)

企業社会への関心を高め、学生自身の長期的なキャリアプランを作成する。

#### 内容

1-2回： 女性としごとの現状・現代社会の特徴は

講義とキャリアモデルの紹介

3 - 1 1 回 : キャリアモデル ( 3 人 ) によるケース研究

3 人の多様な働き方をする女性社会人をキャリアモデルとして、次のような

3 回の展開を行う。

1 社会人講師の後援： キャリアの歩みの紹介

2 1 を基にした受講学生との交流

パワポによる発表、意見交換

3 社会人講師との研修ワークショップ

3 回の展開で、講師との交流、コミュニケーションをとるワークショップ

などで、他者と交流し、自分のキャリア意識を高める。

1 2 - 1 3 回 : 事例からの学生グループによる意見交換。

キャリアモデルへのお礼の手紙作成。自分の気持ちを表現する。

1 4 回 : 卒業生との交流会

卒業後2, 3年、6, 7年の先輩を招き、企業で仕事をする現状、キャリアプランなどについて、しゃべり場で意見交換する。

15回：全体の振り返り。総括。

## 評価

授業への参加度（グループワーク、）40点、とし、報告やプレゼン30点、レポート30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】キャリアモデルに関連する企業研究、業界研究などを行う。

【事後学修】自分自身意識変化をとらえ、自身のキャリアプランを描く。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：「日経ウーマン」のキャリア・ライフチャートを利用するため、関連の事例を資料とする。

参考図書：キャリアモデルの推薦する本や資料。

科目名	キャリア開発論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科専門科科目「キャリアを形成する」の選択科目

#### 科目の概要

女性の職業生活が長期化し、生涯にわたる自身のキャリアデザインを行う視点をもつ必要がある。

生活情報学科の多くの学生が企業就職をすることと関連し、企業社会で女性がどのように仕事を行っているか、企業や働く環境がどのように変化しているのかなどをとらえ、自己のキャリアプランづくりにつなげる。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

働く女性の実態を把握し、自身の生涯にわたるキャリアプラン作りを行う。

#### 内容

1	ガイダンス 現代社会と女性の職業
2	活躍する女性をとらえる1 - 「日経ウーマン」のウーマン・オブ・ザ・イヤー分析
3	活躍する女性をとらえる2 - 新たな領域への進出・チャレンジする女性たち
4	活躍する女性をとらえる3 - 女性た地の進化・その歴史
5	働き方の多様化1 - 役割から男女のパートナーシップへ
6	働き方の多様化2 - ワークライフバランス ( 仕事と家庭の両立 )
7	働き方の多様化3 - 働く環境・子育て支援制度など
8	企業の変化1 - 女性の視点からの商品開発
9	企業の変化2 - ウーマノムクスの動き・制度の活用
10	企業の変化3 - 女性管理職の登場・リーダーシップ
11	海外の状況 - 世界の女性たちはいま
12	経済活動への参加 - 生涯賃金など
13	若い女性のキャリアデザインは
14	多様な課題・待機児童や保育の問題
15	まとめ

#### 評価

毎回の授業コメント ( 30点 )、課題への取り組み ( 30点 )、レポートと課題報告 ( 40点 ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

### 【事前予習】

関連資料の事前購読を行い、発表につなげる。

### 【事後学修】

まとめの作成

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【参考図書】

「女性と就活」など、授業時に随時紹介する

「日経ウーマン」1月号

科目名	キャリア基礎力入門		
担当教員名	松永 修一、角田 真二、高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するための基礎科目である。本授業では、就職活動の基礎となる学力向上のために、特に非言語領域(数学、算数)の授業・問題演習を能力別クラスに分かれて2年次に実施する。

#### 科目の概要

本授業では、就職活動の基礎となる学力向上のために、特に非言語領域(数学、算数)の授業・問題演習を能力別クラスに分かれて2年次に実施する。

#### 学修目標

基礎的な非言語領域(数学、算数)および言語領域の演習を中心に行い、基礎的な学力の向上を図る。3年次には「キャリア基礎力応用」を履修して就職試験に対応する力を養う。

## 内容

- 1回 ガイダンス、チェックテスト 必ず受験してください。
- 2回 非言語 テキスト
- 3回 非言語
- 4回 非言語
- 5回 非言語
- 6回 非言語
- 7回 非言語
- 8回 非言語
- 9回 非言語
- 10回 非言語
- 11回 言語
- 12回 言語
- 13回 言語
- 14回 前期まとめ 必ず受験してください。
- 15回 非言語

## 評価

小テスト(50点)、期末試験(50点)等をもとに総合評価を行い、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】テキストでの未習ポイントの学習

【事後学修】テキストを中心とした練習問題

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示

科目名	キャリア基礎力入門		
担当教員名	松永 修一、角田 真二、高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、キャリアサポート では就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアーすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

#### 内容

1回 ガイダンス、チェックテスト 必ず受験してください。

2回 非言語 テキスト

3回 非言語

4回 非言語

5回 非言語

6回 非言語

7回 非言語

8回 非言語

9回 非言語

10回 非言語

11回 言語

12回 言語

13回 言語

14回 前期まとめ 必ず受験してください。

15回 非言語

#### 評価

小テスト（50点）、期末試験（50点）等をもとに総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストでの未習ポイントの学習

【事後学修】テキストを中心とした練習問題

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示

科目名	キャリア基礎力応用		
担当教員名	松永 修一、角田 真二、高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

#### 内容

1. SPI概要—SPIとは、SPIの考え方、使われ方など
2. 非言語分野の学習  
年齢算、仕事算、旅人算、流水算  
グラフ・領域、資料解釈、空間把握  
順列組み合わせ、確率、n進法  
運動力学など
3. 言語分野の学習  
同意語、反対語、ことわざ・慣用句  
包含関係、行為関係、原料関係、用途関係  
複数の意味、長文問題など

各ステージで言語、非言語の両分野を事例にもとづき解説する。

#### 評価

小テスト（50点）、期末試験（50点）等をもとに総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】テキスト未習部分の予習
- 【事後学修】テキスト練習問題演習

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示



科目名	キャリア基礎力応用		
担当教員名	松永 修一、角田 真二、高橋 京子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

## 内容

1. SPI概要—SPIとは、SPIの考え方、使われ方など
2. 非言語分野の学習
  - 年齢算、仕事算、旅人算、流水算
  - グラフ・領域、資料解釈、空間把握
  - 順列組み合わせ、確率、n進法
  - 運動力学など
3. 言語分野の学習
  - 同意語、反対語、ことわざ・慣用句
  - 包含関係、行為関係、原料関係、用途関係
  - 複数の意味、長文問題など

各ステージで言語、非言語の両分野を事例にもとづき解説する。

## 評価

小テスト ( 50点 )、期末試験 ( 50点 ) 等をもとに総合評価を行い、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

- 【事前予習】テキスト未習部分の予習
- 【事後学修】テキスト練習問題演習

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示

科目名	会計学基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格：

我々の周りには様々なビジネスが存在し、そのビジネスを企業等が支えている。本科目は、この企業等のビジネスによる経営活動を記録、計算し、財務諸表を作成する一連の会計の役割とその基本的仕組みを学修する科目である。本科目では、ビジネスマンに必要な基本的財務諸表を読む力、作成できる力を習得する。

##### 科目の概要：

会計は今や英語、ITと並びビジネスマンの必須である。ビジネスマンとしてのアカウントティング・マインドを身につけるため、本科目では実務を意識して多くの事例を取り入れ、会計の基礎を中心に幅広く学修する。

##### 学修目標：

1. 会計の有用性、基本的任務を理解する。
2. 財務諸表の基礎的分析能力を身につける。
3. 基本的財務諸表の作成ができる。

#### 内容

1	会計の役割
2	会計制度の仕組み
3	複式簿記の仕組み
4	財務諸表を読む
5	流動資産
6	固定資産
7	純資産と負債
8	収益と費用
9	キャッシュ・フローを読む
10	財務状態を読む
11	収益性を読む
12	原価構造を読む
13	経営管理への役立ち
14	会計と職業
15	まとめ

#### 評価

学習目標に関するレポート・ミニテスト等(20点)、学習目標に基づく期末試験(60点)、通常の授業態度等(20点)により総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】講義で事前に指示された箇所は必ず読んでくること

【事後学修】章末のまとめ、練習問題は必ず復習すること

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】 全在紋 朴大栄 谷武幸 編著 『新版 まなびの入門会計学』 中央経済社

その他、適宜、補助レジюмеを配布する。

【参考図書】 広瀬義州著 『財務会計＜第11版＞』 中央経済社

科目名	会計学基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格：

我々の周りには様々なビジネスが存在し、そのビジネスを企業等が支えている。本科目は、この企業等のビジネスによる経営活動を記録、計算し、財務諸表を作成する一連の会計の役割とその基本的仕組みを学修する科目である。本科目では、ビジネスマンに必要な基本的財務諸表を読む力、作成できる力を習得する。

科目の概要：

会計は今や英語、ITと並びビジネスマンの必須である。ビジネスマンとしてのアカウンティング・マインドを身につけるため、本科目では実務を意識して多くの事例を取り入れ、会計の基礎を中心に幅広く学修する。

学修目標：

1. 会計の有用性、基本的任務を理解する。
2. 財務諸表の基礎的分析能力を身につける。
3. 基本的財務諸表の作成ができる。

内容

1	会計の役割
2	会計制度の仕組み
3	複式簿記の仕組み
4	財務諸表を読む
5	流動資産
6	固定資産
7	純資産と負債
8	収益と費用
9	キャッシュ・フローを読む
10	財務状態を読む
11	収益性を読む
12	原価構造を読む
13	経営管理への役立ち
14	会計と職業
15	まとめ

評価

学習目標に関するレポート・ミニテスト等 ( 20点 )、学習目標に基づく期末試験 ( 60点 )、通常の授業態度等 ( 20点 ) により総合的な評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】講義で事前に指示された箇所は必ず読んでくること

【事後学修】章末のまとめ、練習問題は必ず復習すること

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】 全在紋 朴大栄 谷武幸 編著 『新版 まなびの入門会計学』 中央経済社

その他、適宜、補助レジюмеを配布する。

【参考図書】 広瀬義州著 『財務会計＜第11版＞』 中央経済社

科目名	簿記入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした簿記論の入門科目である。具体的には、複式簿記を中心とした基本的商業簿記の原理、原則と記帳方法を簿記一巡の手続きの中で基本問題および練習問題を通して理解、習得する。

講義では「会計学基礎」の知識を基盤として、簿記の原理をファーストステップからスタートし、分かりやすく解説する。基本問題および数多くの練習問題を解くことにより商業簿記の基本原理や記帳、決算等に関する簿記特有の考え方を理解、把握し、ビジネス・パーソンに必要な簿記実務の初歩レベルを習得する。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 簿記一巡の全体像を把握する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 財務諸表の理解と基本的財務諸表の作成能力を習得する。

#### 内容

1	資産・負債・純資産と貸借対照表
2	収益・費用と損益計算書
3	取引と取引要素の結合関係
4	勘定と勘定記入法則
5	仕訳と転記
6	仕訳帳と総勘定元帳
7	現金・預金取引の記帳
8	債権・債務取引の記帳
9	商品売買取引と固定資産取得取引の記帳
10	純資産取引の記帳
11	収益・費用取引の記帳
12	決算の意味と決算予備手続き
13	帳簿の締切と繰越試算表
14	損益計算書と貸借対照表の作成
15	まとめ

#### 評価

重要項目に関するミニテスト・レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験等(60%)により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『ファーストステップ簿記を学ぶ〔第2版〕』 渡部裕巨編著 中央経済社 1,200円

科目名	簿記入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした簿記論の入門科目である。具体的には、複式簿記を中心とした基本的商業簿記の原理、原則と記帳方法を簿記一巡の手続きの中で基本問題および練習問題を通して理解、習得する。

講義では「会計学基礎」の知識を基盤として、簿記の原理をファーストステップからスタートし、分かりやすく解説する。基本問題および数多くの練習問題を解くことにより商業簿記の基本原理や記帳、決算等に関する簿記特有の考え方を理解、把握し、ビジネス・パーソンに必要な簿記実務の初歩レベルを習得する。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 簿記一巡の全体像を把握する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 財務諸表の理解と基本的財務諸表の作成能力を習得する。

#### 内容

1	資産・負債・純資産と貸借対照表
2	収益・費用と損益計算書
3	取引と取引要素の結合関係
4	勘定と勘定記入法則
5	仕訳と転記
6	仕訳帳と総勘定元帳
7	現金・預金取引の記帳
8	債権・債務取引の記帳
9	商品売買取引と固定資産取得取引の記帳
10	純資産取引の記帳
11	収益・費用取引の記帳
12	決算の意味と決算予備手続き
13	帳簿の締切と繰越試算表
14	損益計算書と貸借対照表の作成
15	まとめ

#### 評価

重要項目に関するミニテスト・レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験等 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学習のポイントは必ず読んでくること



【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『ファーストステップ簿記を学ぶ〔第2版〕』 渡部裕巨編著 中央経済社 1,200円

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

#### 科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

#### 学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

内容	
1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

評価  
学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成26年度版』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社  
その他適宜，補助レジュメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社  
その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

#### 科目の概要

「会计学基礎」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

#### 学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

内容	
1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

#### 評価

学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成26年度版』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社  
その他適宜，補助レジュメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社  
その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

#### 内容

1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形 ( その1 )
9	手形 ( その2 )、有価証券、固定資産 ( その1 )
10	固定資産 ( その2 )、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その1 )
14	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その2 )
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

#### 内容

1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形 ( その1 )
9	手形 ( その2 )、有価証券、固定資産 ( その1 )
10	固定資産 ( その2 )、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その1 )
14	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その2 )
15	総合問題

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学習のポイントは必ず読んでくること



【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記中級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、「簿記初級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、企業のさらに複雑な商業活動の記帳方法と決算技法を習得する科目である。

#### 科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験 2 級の商業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

#### 学修目標

複雑な企業取引の内容を把握し、会計処理方法を十分に理解する。また企業取引の複合的な応用論点への対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定商業簿記 2 級の合格レベルを目標とする。

内容	
1	簿記一巡の手続
2	現預金取引
3	有価証券取引
4	債権・債務取、手形取引 ( その 1 )
5	手形取引 ( その 2 )、引当金取引
6	商品売買取引
7	特殊商品売買取引 ( その 1 )
8	特殊商品売買取引 ( その 2 )
9	固定資産取引、損益取引
10	株式会社会計 ( その 1 )
11	株式会社会計 ( その 2 )
12	決算 ( その 1 )
13	決算 ( その 2 )
14	本支店会計
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義2級商業簿記[平成26年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著（中央経済社） 700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記上級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、「簿記中級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、さらに製造業を営んでいる企業特有の会計である工業簿記の記帳方法と計算技法を習得する科目である。

#### 科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験 2 級工業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

#### 学修目標

製造業の製造活動の内容を把握し、処理方法を十分に理解する。また基本的原価計算のへの対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定工業簿記 2 級の合格レベルを目標とする。

内容	
1	工業簿記の基礎
2	材料費
3	労務費
4	経費
5	個別原価計算
6	部門別個別原価計算 ( その 1 )
7	部門別個別原価計算 ( その 2 )
8	総合原価計算 ( その 1 )
9	総合原価計算 ( その 2 )
10	総合原価計算 ( その 3 )
11	工業簿記における財務諸表
12	本社工場会計
13	標準原価計算
14	直接原価計算
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回の練習問題にもう一度目を通しておくこと

【事後学修】講義で指示された問題までは必ず解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『スッキリわかる日商簿記2級工業簿記』 滝澤ななみ著（TAC出版）1,000円

【推薦書】 『新検定簿記講義2級工業簿記 平成26年度版』 岡本清・廣本敏郎編著（中央経済社）

科目名	マーケティング論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

変化の激しい現代ビジネスを考える上では、マーケティングは欠くことができないものとなっている。ビジネス情報をマーケティング理論を踏まえて捉える力の基礎を修得する。

#### 科目の概要

マーケティングとは、市場と企業や組織とのかかわりを考察する考え方や接近法であり、そしてそのしかけ作りである。前半ではマーケティングの重要要素をケーススタディ等を通して詳述していく。後半からは最新のマーケティング展開と社会的役割までを解説。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

本講義では、マーケティングの基礎理論および現象についての理解から、実際の・具体的にマーケティングについて考察する力をつけていく。

#### 内容

1	マーケティングの基礎概念 - SellingとMarketingの違い
2	マーケティングの発展 - マーケティングの歴史
3	製品開発 - 製品開発の流れと成功率
4	価格のマネジメント
5	消費者行動の理解とマーケティングリサーチ
6	コミュニケーション戦略 - 広告と販売促進
7	市場の細分化とターゲティング
8	製品戦略
9	市場戦略と競争対応 - SWOT分析
10	競争戦略 - 事例研究
11	競争戦略 - 競争要因と戦略
12	ブランド・マネジメント
13	マーケティング環境
14	サービス・マーケティング - 顧客満足度
15	まとめ マーケティングの社会的役割

#### 評価

授業内中間試験とレポート ( 各15% )、期末試験 ( 70% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】授業計画に示された「学術用語」について、簡単に調べておくこと。

【事後学修】授業で学んだ基礎用語および理論について見直し、自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。毎回必要なプリントを配布。

【推薦書】『1からのマーケティング』石井淳蔵、廣田章光編集 中央経済社

【参考図書】授業で紹介する。

科目名	ブランド戦略		
担当教員名	崎山 嗣夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

当該授業は企業が長期に渡り社会で事業を営む上で必須となる「ブランド」の開発・育成について講義を行う。従って、企業活動を理解する上で必要な知識を得るため、「経営学」「マーケティング」「組織論」等の科目を履修することは大切。

#### 科目の概要

企業の維持・成長は多くの顧客からの支持なくして成立しない。従って、顧客から評価される「ブランド」の確立は重要な要件。そのため当該授業では「ブランド」の開発・育成に必要な全ての概念・考え方・手法について説明する。

#### 学修目標 (= 到達目標)

「ブランド戦略」を通して企業活動の多くを理解することで、就職活動時の大きな助けとなる。

企業が市場で展開している様々な商品の意義を知ること、日常の消費生活を豊かに出来る。

ブランド開発時に必要なアイデアが生まれる過程を修得することで、社会を見る目を養うことが出来る。

内容	
1	講義の全体像の説明、及び「ブランド」とは何かについて解説。
2	ブランド開発に必要なマーケティングへの理解 マーケティングの理解
3	ブランド開発に必要なマーケティングへの理解 マーケティングと企業活動
4	ブランド開発に必要な「今、日本で「何が」起きているか」を具体的な事例を上げて解説
5	ブランド開発に必要な「今、日本で「何が」起きているか」を具体的な事例を上げて解説
6	今日の日本における「ブランド」開発・育成の必要性について解説
7	今日の日本における「ブランド」開発・育成の必要性について解説
8	「マーケティング」を活用した「ブランド」開発・育成の全体像について解説
9	「ブランド」を確立させるために必要な要素・要件を様々な視点から解説
10	グローバルで代表的なブランドである「ルイ・ヴィトン」の成功について解説
11	「ブランド」確立に必要な「商品開発」の具体的手法・考え方について解説
12	開発した「ブランド」の育成に関する考え方・手法について様々な角度から解説
13	「商品開発」の際に重要な要件となる「リサーチ」との関係について解説
14	「ブランド」確立に必須な創造的な組織のあり方について解説
15	まとめ

#### 評価

授業への参加30%・数回にレポート20%・筆記試験50%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。



## 授業外学習

### 【事前予習】

毎回の講義終了時に、次回の講義内容を説明し、予習の要点を指示する。

### 【事後学修】

毎回配布する資料で、講義内容を復習する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

「目盛りを変えろ日本が見える」著者：崎山 嗣夫（日本経済新聞社刊）

「企業改革への道－消費者視点からの発想－」著者：崎山 嗣夫（日本経済新聞社刊）

### 【推薦書】

講義の都度、教室で紹介

### 【参考図書】

講義の都度、教室で紹介

科目名	経営学基礎		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

企業と経営の基礎を学ぶ入門講座として必修科目です。

#### 科目の概要

企業は毎日の生活に必要な商品やサービスを供給するとともに、多くの人々を雇用して生活の基盤を提供している欠かせない存在です。本講座では、企業はどのようなものか、どんな仕組みで運営や経営されているのかについて、わかり易く学びます。

#### 学修目標（=到達目標）

企業や経営の基礎を理解することによって、社会人の活動や企業や社会の話題についても関心を持って、またこれから学ぶ他のビジネス関連科目の習得や理解が容易になります。

内容	
1	ガイダンス、授業の概要・進め方、成績評価など
2	企業の歴史と現代社会における会社
3	経済学と経営学の関係、社会と企業、企業と家計・個人
4	会社の目的と経営の目的：社会に価値を提供し、継続して成長すること
5	経営学の主要な領域
6	マーケティングとは
7	物づくりと生産管理
8	物流とロジスティクス
9	財務・会計、情報管理
10	組織のマネジメントと人事管理
11	企業の種類、株式会社の特徴と機能
12	企業の社会的責任とステークホルダーとの関係
13	経営戦略
14	リーダーシップ
15	まとめ

#### 評価

授業への取組姿勢 40%、レポート 20%、期末試験 40%を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前にサーバーで講義資料に目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイント講義資料。必要に応じて縮刷版を配布。

【推薦書】「経営学が面白いほどわかる本」（笠原英一著、中経出版）

【参考図書】

科目名	経営学基礎		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）/高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

企業と経営の基礎を学ぶ入門講座として必修科目です。

#### 科目の概要

企業は毎日の生活に必要な商品やサービスを提供するとともに、多くの人々を雇用して生活の基盤を提供している欠かせない存在です。本講座では、企業はどのようなものか、どんな仕組みで運営や経営されているのかについて、わかり易く学びます。

#### 学修目標（=到達目標）

企業や経営の基礎を理解することによって、社会人の活動や企業や社会の話題についても関心を持って、またこれから学ぶ他のビジネス関連科目の習得や理解が容易になります。

内容	
1	ガイダンス、授業の概要・進め方、成績評価など
2	企業の歴史と現代社会における会社
3	経済学と経営学の関係、社会と企業、企業と家計・個人
4	会社の目的と経営の目的：社会に価値を提供し、継続して成長すること
5	経営学の主要な領域
6	マーケティングとは
7	物づくりと生産管理
8	物流とロジスティクス
9	財務・会計、情報管理
10	組織のマネジメントと人事管理
11	企業の種類、株式会社の特徴と機能
12	企業の社会的責任とステークホルダーとの関係
13	経営戦略
14	リーダーシップ
15	まとめ

#### 評価

授業への取組姿勢40%、レポート20%、期末試験40%を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前にサーバーで講義資料に目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイント講義資料。必要に応じて縮刷版を配布。

【推薦書】「経営学が面白いほどわかる本」（笠原英一著、中経出版）

【参考図書】

科目名	ビジネス経済学		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

生活情報学科の基礎科目であり、経済学の基礎を学習する。

科目の概要

経済学の基礎的概念と考え方を学習し、現実の経済問題について考察できるように講義する。

学修目標 ( = 到達目標 )

経済学の基礎的概念を理解する。また、日本経済の諸問題について理解し、自分の意見を持てるようにする。

内容

1	ガイダンス
2	経済学とは何か
3	ミクロ経済学 1 : 需要と供給
4	ミクロ経済学 2 : 市場の失敗
5	マクロ経済学 1 : ケインズ経済学
6	マクロ経済学 2 : 財政政策と金融政策
7	金融危機と金融政策
8	財政政策と財政赤字
9	中間試験
10	外国為替市場と日本経済
11	グローバルな金融危機と日本経済
12	社会保障改革
13	電力改革にみる公益事業
14	日本経済の過去、現状、未来
15	まとめ

評価

中間テスト (30%) と学期末レポート (70%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読むこと。

【事後学修】プリント、ノート、および参考文献の指定箇所を読み復習すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定なし。

【推薦書】『スティグリッツ 入門経済学 第4版』東洋経済新報社

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	ビジネスと法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性質

消費生活と法」などとともに履修するとビジネスを行う上での法的課題を経営者側・消費者側双方の視点で検討でき、理解が深まる。

#### 科目の概要

金融業・不動産業・各種販売サービス業などお金が動くビジネスの場面を想定し、関連する法律と問題解決法について学び、ビジネス社会を生きるための法的な教養を身につける。具体的な事例を想定しながら、債権法、物権法、担保物権法や民法の特別法がビジネス社会のなかで実際にどのように活用されているのか、その限界や課題はどこにあるのかについての理解を深める。また、知的財産権法や個人情報保護法といった情報化社会と関連する法律とビジネスとの関係についても言及し、ビジネス社会のなかでの法の役割について検証する。

#### 学習目標

- ・ビジネスに関連する基本的な法律の知識と教養を身につける。
- ・事例を検討することにより、論理的思考力や課題解決力の養成を目指す。
- ・事例や時事問題を利用し、文章読解力・文章表現力を身につける。

内容	
1	ガイダンス、会社と法律との関係
2	会社と法律との関係
3	会社組織に関する法律
4	会社組織に関する法律
5	人事・労務に関する法律
6	人事・労務に関する法律
7	財産に関する法律
8	財産に関する法律
9	取引に関する法律
10	取引に関する法律
11	取引に関する法律
12	債権管理に関する法律
13	債権管理に関する法律
14	ビジネスと紛争処理
15	総括

#### 評価

レポート、ワークシート等の提出物・受講態度 ( 50点 )、ペーパーテスト ( 50点 ) を総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。



## 授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、ビジネスと法の課題について関心と理解を深める

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。

科目名	企業戦略論		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

内容

評価

授業外学習

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	企業倫理		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

学生が、アルバイト等で既に接している企業、そして将来、多くの学生が、就職等で一員となる企業(会社)が、社会からどのような倫理行動を要求されているのか、更には、そのメンバーとして、どのような事が求められ、どのような事が禁止されているかを、理解して貰う講座である。特に、企業の一員としての将来を考えている学生には、必須の内容と言える。

企業は本来、顧客の満足を収益という形で得る事が最大目的の集団である。しかしながら、今日、社会に対する企業活動の影響力は日に日に増大、一方、企業経済の自由度は拡大、企業も自己責任型の経営が求められている。その結果、企業も社会の一員として務めを果たす事が、必須条件となっている。企業のちょっとした、配慮の不足した、倫理に反した行動が、最悪当該企業の経営破たんとなる事例が散見される。本講座では、学生参加型の授業運営で、社員が守るべき事、企業が守るべき事を習得していく授業展開を目指す。

社会の一員としての企業が、守り実施すべき企業倫理の本質を理解するとともに、社員として要求される事も合わせて理解する。更に、関連するコーポレートガバナンス、コンプライアンス、環境マネジメント、CSR (企業の社会的責任など) についても理解する。

内容	
1	ガイダンス(授業の進め方、企業とは? 企業倫理とは? コンプライアンスとは?)
2	企業不祥事 1
3	企業不祥事 2
4	企業不祥事3(どうして企業倒産にまで至るのか?)
5	企業倫理を求められる実情、コンプライアンスは企業存続に不可欠?
6	企業活動と法律の関係は?
7	コンプライアンスとは
8	コンプライアンスの法令(事業活動において、消費者に対して)
9	コンプライアンスの法令(従業員に対して、インターネット、その他)
10	企業におけるコンプライアンス活動の実践1
11	コンプライアンス活動実践 2 .
12	コンプライアンスと内部統制、CSRの関係
13	企業における企業倫理確立、コンプライアンス体制づくり
14	企業倫理の実践
15	まとめ

#### 評価

平常点60点(授業参加姿勢、随時小レポートなど)、期末テスト40点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】講義の始まる9月末に備えて、夏休みの間に次の本を一読する事を推薦する。 田中宏司著・実践！コンプライアンス・PHP研究所

【事後学修】興味を抱いた企業のホームページを開きその企業の倫理姿勢を確認する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の進展、必要に応じて適宜、紹介していく。

科目名	マネープランニング		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

本講義は2年次の「生活と経済」に続いてFP技能士3級合格を目指し、さらに、2級へと学習を進めていくものである。

科目の概要

FP技能士3級、2級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人がかかわる金融全体についての知識習得を図る。

学修目標

FP技能士3級、2級に合格できる学力の養成を図る。

内容

1	ガイダンス
2	ライフプランニングと資金計画 1
3	ライフプランニングと資金計画 2
4	生命保険
5	損害保険
6	金融資産運用 1
7	金融資産運用 2
8	金融資産運用 3
9	税制のしくみ 1
10	税制のしくみ 2
11	不動産取引 1
12	不動産取引 2
13	相続と事業継承 1
14	相続と事業継承 2
15	まとめ

評価

平常点 ( 10% )、中間の確認テスト ( 30% )、学期末テスト ( 60% ) とし、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】プリントを読む。

【事後学修】授業内容を復習して、練習問題を解く。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業中に指示する。

科目名	国際経営論		
担当教員名	笠原 伸一郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

< 科目の性格 > 世界的な高度情報ネットワーク社会の進展と企業のグローバル化の急速な展開は、従来の年功序列、終身雇用といった日本的慣行をも崩壊させ、個々の従業員の能力が問われる時代を日本企業は迎えている。本講では、こうした企業のグローバル化が生じた理由および企業経営の変遷を大企業を事例にして概説し、さらに国際経営戦略論の立場から問題点を検討して、地球企業社会の方向性を明示する。これにより就職先決定へのヒントを提示するとともにグローバル社会で働く意義を理解させる。

< 科目の概要 > 経営学は他の学問と異なり絶対原理はない。個々の企業の盛衰は個々の状況によって異なるゆえ、ケース・スタディ - (事例研究) によって検証する方法を採る。本講では、多数の事例をあげて国際経営および経営の基礎をわかりやすく解説し、就職で有利になるよう導く。最後に私の専門とするホテル、航空会社業界の問題点も加えて、グローバル企業の方向性を多角的に検討する。

< 学修目標 (= 到達目標) >

- 1 世界のグローバル化の潮流および国際経営の必要性を理解する
- 2 企業社会でのグローバルな人材としてのセンスを身につけ、就職先決定へのヒントを得る
- 3 人間はなぜ働き、企業は成長しなければならないかを理解する
- 4 異文化経営の問題、とくに日本的経営の特徴について深く理解する
- 5 BOPビジネスを例にグローバル化による経済格差 ( 貧困層 ) の解決策を考える

内容

1	企業とは何か。経営とは何か。 - 夢を実現させる方法 - ( 事例 : 東京ディズニーリゾート )
2	経営学の誕生とその必要性 ? 経営学を学ぶ意味 - ( 事例 : ハーバード大学 )
3	国際企業に至るまでのプロセスとその戦略 - 日本発のコンビニ - ( 事例 : セブンイレブン )
4	日本企業の国際化戦略 1 ? この世にないモノを創造する - ( 事例 : ソニー )
5	日本企業の国際化戦略 2 ? 人間はなぜ働くのか - ( 事例 : ホンダ )
6	日本企業の国際化戦略 3 ? デザインが命 - ( 事例 : 日産 )
7	日本企業のグローバル戦略 ? 協働の強さ - ( 事例 : トヨタ、富士通 )
8	日本的経営の原理とその海外移転 ? 日本人はなぜコンパが好きなのか -
9	米国経営学の系譜 ? 人間はなぜサボるのか、そしてやる気を起こすには -
10	米国巨大企業のグローバル戦略 ? No.1になるとなぜ得なのか - ( 事例 : GE )
11	米国巨大グローバルIT企業の実態 ? カリスマ経営者の夢 - ( 事例 : アップル )
12	起業経営とグローバル・ボーンカンパニー ? 会社を創る意義 - ( 事例 : HP、グーグル )
13	グローバルリーダーの条件 ? 家族の父親と母親、そして経営者、政治家に共通するもの -
14	グローバル・サービス産業 ? 航空業界の将来、CAはどうなるの? - ( 事例 : 日本航空 )
15	総括 グローバル格差社会とBOPビジネス - 世界の貧困層をどう救うか - ( ユニクロ他 )

評価

学修目標に関するレポート（40点）、出席票裏に課す小テストを含む授業への参加度（60点）で総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業後半に、次週の授業概要を説明し、予習として次週授業に関連する新聞記事（日本経済新聞）を蒐集させる。

【事後学修】課題として、授業内の疑問点の確認作業を義務づけ、さらに授業内容と「将来のキャリア形成」との関連を考えさせる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】加藤茂夫編、笠原伸一郎ほか著『経営入門 -よい経営の創り方、よい経営の学び方』（学文社）

【推薦書】笠原伸一郎著『グローバル企業の史的展開』（中央経済社）、笠原伸一郎編『図説 国際ビジネス』（中央経済社）、江夏健一編『新版 理論とケースで学ぶ国際ビジネス』（同文館出版）335.5/R 【参考図書】ジェフリー・ジョーンズ著『ビューティビジネス』（中央経済社）日経新聞、その他授業中に指示する。



科目名	国際関係論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会）/高等学校教諭一種免許状（公民）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

2年生以上対象の「C.ビジネス社会を生きる」群選択科目として、国際社会の全体像を理解する。

国際問題を、国際社会という舞台に現れる登場人物（アクター）、出来事（ストーリー）という視点でとらえ、20世紀後半の国際問題の流れを再考する。その上で21世紀の国際社会が直面している問題の特徴を探る。新たな情報手段や科学技術の登場によって、これまでとは異なる国際問題が発生する可能性についても論じる。

国際社会の動きと日本、さらに日本国内で身の回りに起きている出来事との関連性を理解し、国際社会が日本から遠いところで、自分に関係なく動いているのではないことを学ぶ。

#### 内容

1	国際関係への視点：日本の役割
2	20世紀の国際関係（1）：冷戦の始まり
3	20世紀の国際関係（2）：冷戦の終結
4	地域紛争（1）：歴史
5	地域紛争（2）：現状
6	テロリズム
7	南北問題（1）：格差
8	南北問題（2）：貧困
9	環境問題（1）：地球環境問題
10	環境問題（2）：国際協力
11	人権問題
12	国際社会の協力関係（1）：グローバル化
13	国際社会の協力関係（2）：リージョナリゼーション
14	21世紀の国際社会と日本
15	まとめ

#### 評価

レポート（50%）、試験（50%）で総合評価。再試験は行わない。

#### 授業外学習

【事前予習】個々に選択した国あるいは指導者についてのニュースを集める。

【事後学修】授業で説明された国際政治の背景に重ねて、選択した国・指導者の動きについて考える。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】原彬久 『国際関係学講義（第4版）』有斐閣 2011年

【推薦書】渡邊啓貴編 『新版ヨーロッパ国際関係史』有斐閣アルマ 2008年

【参考図書】猪口孝 編 『国際関係リーディングズ』東洋書林 2004年

東大作 『平和構築 - アフガン、東ティモールの現場から』 岩波新書 2009年

科目名	株式投資入門		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

生活情報学科専門科目であり、1, 2年次の講義をまとめてさらに実践する科目である。

##### 科目の概要

1980年代以降、アメリカを中心に発展してきた金融工学の基礎について理解することを狙いとする。株式投資やデリバティブ商品などについて詳しく扱う。金融に内在するリスクの定量化には数理的な側面を避けて通れないのだが、パソコンを利用することで、あまり数学の世界に深入りしないでも、かなりの不確実性を数値にすることが可能となっている仕組みを理解する。また、さまざまな金融商品を学習し、その上で、株取引や為替取引のシミュレーションを経験する。さらに、株式投資を行うために情報を得ることを目的として、会社情報の収集の方法と読み解き方を学習する。

##### 学修目標

金融商品などの概念を理解する。会社情報の収集方法と内容を理解する。

#### 内容

1. ガイダンス
2. ファイナンスとは何か
3. ファイナンスの統計処理基礎
4. 財務分析
5. 投資の考え方
6. 株式投資の実際
7. ポートフォリオの構成
8. 債券の計算
9. 先物取引
10. オプション取引
11. スワップ取引
12. 投資信託などの金融商品
13. 証券分析の演習
14. 外国為替取引
15. まとめ

#### 評価

平常点 ( 10% )、毎回の課題 ( 50% )、最終課題 ( 40% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】新聞などから企業情報を収集する。

【事後学修】授業で学んだ企業情報の収集方法を実践する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	情報社会論		
担当教員名	岡本 泰次		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

情報通信技術とその活用分野の発展が、人々の社会生活に様々な変化をもたらしています。

人や社会と、情報がどう影響し合うのか、現状を知り、今後どうなるか未来を考えます。自分で考える力を養うことを目指します。

#### 科目の概要

具体的な事例によって情報活用の現状を紹介し、情報技術の仕組みと利用手段について学びます。

また、情報社会の方向性を、いくつかの観点から整理し、動向を調査して、社会での人々の生活やビジネスが、どう変化し、どんな課題があるかを考えます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

本講義の目標は、次の3点です。

- 1) 情報化がもたらす社会生活への影響について理解する。
- 2) 情報社会の方向性について自分で考える力を養う。
- 3) 自分自身が情報社会とどのように関わるかを考え、自分自身の行動に役立てる。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	情報とは
3	情報の取り扱い
4	個人の情報活用：日常生活
5	個人の情報活用：人間関係
6	個人の情報活用：公的サービス
7	企業の情報活用
8	システムの開発と運用
9	ICT ( 情報通信技術 ) の発展の方向性
10	世界中の情報の整理 ( Google )
11	ソーシャルビジネス
12	人々の知恵：集合知
13	情報化される個人
14	総括 1
15	総括 2

#### 評価

授業中の課題レポートなどの提出物（50点）、および期末テスト（50点）により評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 通常は、事前予習は必要ありません。

事前の情報調査など、事前予習が必要な場合は、授業のときに指示します。

【事後学修】 授業で示した重要箇所について、再確認してください。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 講義資料をPDFなど電子資料で提供します。

【参考図書】 総務省『情報通信白書for kids』

（[http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/kids/index.html](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kids/index.html)）

梅田望夫『ウェブ進化論』（ちくま新書）

西垣通『集合知とは何か』（中公新書）

科目名	情報社会論		
担当教員名	岡本 泰次		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

情報通信技術とその活用分野の発展が、人々の社会生活に様々な変化をもたらしています。

人や社会と、情報がどう影響し合うのか、現状を知り、今後どうなるか未来を考えます。自分で考える力を養うことを目指します。

#### 科目の概要

具体的な事例によって情報活用の現状を紹介し、情報技術の仕組みと利用手段について学びます。

また、情報社会の方向性を、いくつかの観点から整理し、動向を調査して、社会での人々の生活やビジネスが、どう変化し、どんな課題があるかを考えます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

本講義の目標は、次の3点です。

- 1) 情報化がもたらす社会生活への影響について理解する。
- 2) 情報社会の方向性について自分で考える力を養う。
- 3) 自分自身が情報社会とどのように関わるかを考え、自分自身の行動に役立てる。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	情報とは
3	情報の取り扱い
4	個人の情報活用：日常生活
5	個人の情報活用：人間関係
6	個人の情報活用：公的サービス
7	企業の情報活用
8	システムの開発と運用
9	ICT ( 情報通信技術 ) の発展の方向性
10	世界中の情報の整理 ( Google )
11	ソーシャルビジネス
12	人々の知恵：集合知
13	情報化される個人
14	総括 1
15	総括 2

#### 評価

授業中の課題レポートなどの提出物（50点）、および期末テスト（50点）により評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 通常は、事前予習は必要ありません。

事前の情報調査など、事前予習が必要な場合は、授業のときに指示します。

【事後学修】 授業で示した重要箇所について、再確認してください。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 講義資料をPDFなど電子資料で提供します。

【参考図書】 総務省『情報通信白書for kids』

（[http://www.soumu.go.jp/joho\\_tsusin/kids/index.html](http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/kids/index.html)）

梅田望夫『ウェブ進化論』（ちくま新書）

西垣通『集合知とは何か』（中公新書）



科目名	企業と情報		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」基礎科目を履修した学生を対象に、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われているのかを学ぶ科目です。

#### 科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、サプライチェーンマネジメントシステム、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れを俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

#### 内容

1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か ( 1 ) 株式会社の基本
3	企業とは何か ( 2 ) 取引先と仕事のながれ
4	企業とは何か ( 3 ) 組織と人々
5	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係、ITの活用
6	マーケティングと顧客管理・販売管理
7	工場生産と仕入れ、在庫管理
8	輸送とロジスティクス～宅急便
9	金融・ファイナンス取引システム
10	インターネット取引と情報システム
11	財務・会計システム
12	人事、労務、給与管理システム
13	企業統合情報システムの種類と企業での採用
14	経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告
15	まとめ

#### 評価

授業への取組み姿勢 40%、レポート 20%、最終試験 40%を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイントによる講義資料。必要に応じて縮刷版を配布。

【推薦書】最初の授業で指示します。

【参考図書】

科目名	企業と情報		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」基礎科目を履修した学生を対象に、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われているのかを学ぶ科目です。

#### 科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、サプライチェーンマネジメントシステム、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れを俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か ( 1 ) 株式会社の基本
3	企業とは何か ( 2 ) 取引先と仕事のながれ
4	企業とは何か ( 3 ) 組織と人々
5	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係、ITの活用
6	マーケティングと顧客管理・販売管理
7	工場生産と仕入れ、在庫管理
8	輸送とロジスティクス～宅急便
9	金融・ファイナンス取引システム
10	インターネット取引と情報システム
11	財務・会計システム
12	人事、労務、給与管理システム
13	企業統合情報システムの種類と企業での採用
14	経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告
15	まとめ

#### 評価

授業への取組み姿勢 40%、レポート 20%、最終試験 40%を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイントによる講義資料。必要に応じて縮刷版を配布。

【推薦書】最初の授業で指示します。

【参考図書】

科目名	会計情報システム		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」「会计学基礎」を履修した学生を対象に、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われ、企業会計原則に基づいて計上され、決算書に反映されていくかを学ぶ科目です。

#### 科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、サプライチェーンマネジメントシステム、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れを俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

#### 内容

1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か ( 1 ) 株式会社の基本
3	企業とは何か ( 2 ) 取引先と仕事のながれ
4	企業とは何か ( 3 ) 組織と人々
5	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係、ITの活用
6	マーケティングと顧客管理・販売管理
7	工場生産と仕入れ、在庫管理
8	輸送とロジスティクス～宅急便
9	金融・ファイナンス取引システム
10	インターネット取引と情報システム
11	財務・会計システム, 損益計算書、貸借対照表
12	人事、労務、給与管理システム
13	企業統合情報システムの種類と企業での採用
14	経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告
15	まとめ

#### 評価

授業への取組み姿勢 40%、レポート 20%、最終試験 40%を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイントによる講義資料。必要に応じて縮刷版を配布。

【推薦書】最初の授業で指示します。

【参考図書】

科目名	インターネットビジネス		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

生活情報学科の専門科目である。

科目の概要

インターネット上では様々な経済取引が拡大している。そこで、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げる。

学修目標 ( = 到達目標 )

インターネットに関わるビジネスモデルを理解する。

内容	
1	ガイダンス
2	インターネットの歴史としくみ
3	情報通信産業の規制緩和と競争
4	スマートフォン
5	インターネットと広告
6	SNSと無料通話アプリ
7	検索サイトと広告
8	インターネットと政府
9	ビッグデータとビジネス
10	ポイントサービスとマーケティング
11	インターネットのショッピングサイト
12	仮想通貨
13	インターネットとセキュリティ
14	インターネットと法律
15	まとめ

評価

平常点 ( 10% )、毎回の課題 ( 30% )、最終レポート ( 60% ) とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次週取り上げるテーマのサイト確認。

【事後学修】プリントやサイトで確認。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特にしていない。

【参考図書】授業中に指示する。



科目名	調査と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「情報処理演習」で習得したエクセルの技術を活用して、統計学の基本的な知識を学ぶ。卒業研究などで活用できる実際に分析手法については「社会調査法」で、またアンケート手法とSPSSによる分析については「マーケティングリサーチ」で学ぶ。

本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である分散の概念、正規分布の特徴、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

「データの種類と尺度について理解し、変数に応じた整理や分析ができる」「二項分布と正規分布の特徴を理解し、問題を解くことができる」「推定と検定の考え方について理解している」

#### 内容

1	1 データの概念・記述統計と推測統計
2	2 データの尺度
3	3 度数分布とヒストグラム
4	4 データのばらつき ( 分散と標準偏差 )
5	5 いろいろな確率分布
6	6 二項分布
7	7 正規分布 ( 1 )
8	8 正規分布 ( 2 )
9	9 母集団と標本
10	10 推定 ( 1 )
11	11 推定 ( 2 )
12	12 検定と帰無仮説
13	13 練習課題
14	14 応用課題
15	15 まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出 ( 20% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 80% ) とし、総合評価の60点以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】「情報処理演習」で学んだエクセルの復習 ( 2時間 )

【事後学修】授業で扱った演習問題の復習 ( 2時間 )

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編（東京大学出版会） 417/T/1

科目名	調査と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「情報処理演習」で習得したエクセルの技術を活用して、統計学の基本的な知識を学ぶ。卒業研究などで活用できる実際に分析手法については「社会調査法」で、またアンケート手法とSPSSによる分析については「マーケティングリサーチ」で学ぶ。

本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である分散の概念、正規分布の特徴、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

「データの種類と尺度について理解し、変数に応じた整理や分析ができる」「二項分布と正規分布の特徴を理解し、問題を解くことができる」「推定と検定の考え方について理解している」

#### 内容

1	1 データの概念・記述統計と推測統計
2	2 データの尺度
3	3 度数分布とヒストグラム
4	4 データのばらつき ( 分散と標準偏差 )
5	5 いろいろな確率分布
6	6 二項分布
7	7 正規分布 ( 1 )
8	8 正規分布 ( 2 )
9	9 母集団と標本
10	10 推定 ( 1 )
11	11 推定 ( 2 )
12	12 検定と帰無仮説
13	13 練習課題
14	14 応用課題
15	15 まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出 ( 20% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 80% ) とし、総合評価の60点以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】「情報処理演習」で学んだエクセルの復習 ( 2時間 )

【事後学修】授業で扱った演習問題の復習 ( 2時間 )

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編（東京大学出版会） 417/T/1

科目名	調査と統計		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「情報処理演習」で習得したエクセルの技術を活用して、統計学の基本的な知識を学ぶ。卒業研究などで活用できる実際に分析手法については「社会調査法」で、またアンケート手法とSPSSによる分析については「マーケティングリサーチ」で学ぶ。

本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。推測統計の基本である分散の概念、正規分布の特徴、推定と検定の考え方について理解し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

「データの種類と尺度について理解し、変数に応じた整理や分析ができる」「二項分布と正規分布の特徴を理解し、問題を解くことができる」「推定と検定の考え方について理解している」

内容	
1	1 データの概念・記述統計と推測統計
2	2 データの尺度
3	3 度数分布とヒストグラム
4	4 データのばらつき ( 分散と標準偏差 )
5	5 いろいろな確率分布
6	6 二項分布
7	7 正規分布 ( 1 )
8	8 正規分布 ( 2 )
9	9 母集団と標本
10	10 推定 ( 1 )
11	11 推定 ( 2 )
12	12 検定と帰無仮説
13	13 練習課題
14	14 応用課題
15	15 まとめ

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業における課題提出 ( 20% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 80% ) とし、総合評価の60点以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】「情報処理演習」で学んだエクセルの復習 ( 2時間 )

【事後学修】授業で扱った演習問題の復習 ( 2時間 )

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に使用しない 必要に応じて授業時に配布する

【推薦書】『統計学入門』東京大学教養学部統計学教室編（東京大学出版会） 417/T/1

科目名	社会調査法（量的調査）		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「調査と統計」で学んだ統計知識に基づいて「卒業研究」や「マーケティングリサーチ」で活用できる統計分析手法について学ぶ 本科目では、Excelを利用してデータ分析に必要な統計解析手法を学ぶ。例題により分析手法を理解し、練習問題や演習課題を通して実践力を身に着ける。

「Excelをつかってt検定、二乗検定、分散分析、および回帰分析ができる」

「分析結果から有意な差があるか否か、結論を導くことができる」

「分析結果をグラフなどにまとめてレポートを作成できる」

内容	
1	1．平均の差の検定（1）2群の平均値の比較
2	2．平均の差の検定（2）2群の平均値の比較
3	3．平均の差の検定（3）対応のあるデータ
4	4．分散分析（1）一元配置
5	5．分散分析（2）一元配置
6	6．分散分析（3）二元配置
7	7．演習課題
8	8．二乗検定（1）度数分布とクロス表
9	9．二乗検定（2）適合度の検定
10	10．二乗検定（3）独立性の検定
11	11．相関と回帰（1）相関関係
12	12．相関と回帰（2）回帰分析
13	13．相関と回帰（2）回帰分析
14	14．総合課題
15	15．まとめ

評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1．授業における取り組み（30％） 2．最終課題の達成度（70％）とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】「調査と統計」の内容の復習（2時間）

【事後学修】演習課題・総合課題の復習（2時間）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない 必要に応じて授業時に資料を配布

科目名	社会調査法（量的調査）		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

「調査と統計」で学んだ統計知識に基づいて「卒業研究」や「マーケティングリサーチ」で活用できる統計分析手法について学ぶ 本科目では、Excelを利用してデータ分析に必要な統計解析手法を学ぶ。例題により分析手法を理解し、練習問題や演習課題を通して実践力を身に着ける。

「Excelをつかってt検定、二乗検定、分散分析、および回帰分析ができる」

「分析結果から有意な差があるか否か、結論を導くことができる」

「分析結果をグラフなどにまとめてレポートを作成できる」

内容	
1	1．平均の差の検定（1）2群の平均値の比較
2	2．平均の差の検定（2）2群の平均値の比較
3	3．平均の差の検定（3）対応のあるデータ
4	4．分散分析（1）一元配置
5	5．分散分析（2）一元配置
6	6．分散分析（3）二元配置
7	7．演習課題
8	8．二乗検定（1）度数分布とクロス表
9	9．二乗検定（2）適合度の検定
10	10．二乗検定（3）独立性の検定
11	11．相関と回帰（1）相関関係
12	12．相関と回帰（2）回帰分析
13	13．相関と回帰（2）回帰分析
14	14．総合課題
15	15．まとめ

評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1．授業における取り組み（30％） 2．最終課題の達成度（70％）とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】「調査と統計」の内容の復習（2時間）

【事後学修】演習課題・総合課題の復習（2時間）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない 必要に応じて授業時に資料を配布



科目名	社会調査法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「Dビジネスで情報を生かす」の2年次配当選択科目である。社会調査法（量的調査）では統計調査の技法を学ぶのに対して、事例調査の技法を学ぶ。

#### 科目の概要

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

#### 学修目標

社会調査の中でも質的調査について、その基本概念と先行事例を学び、自ら質的調査を設計して実践する技術を習得する。

内容	
1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイティ『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

#### 評価

授業時の課題提出50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてある資料を予習する。

【事後学修】授業時の課題を仕上げ指定のフォルダに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

【参考図書】

桜井 厚（2002）『インタビューの社会学』せりか書房。

桜井 厚訳（1983）W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』御茶の水書房。

中野 卓（1979）『口述の生活史』御茶の水書房。

寺谷弘士訳（1979）W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』垣内出版。

社会調査協会編（2014）『社会調査事典』丸善出版。

科目名	社会調査法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「Dビジネスで情報を生かす」の2年次配当選択科目である。社会調査法（量的調査）では統計調査の技法を学ぶのに対して、事例調査の技法を学ぶ。

#### 科目の概要

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

#### 学修目標

社会調査の中でも質的調査について、その基本概念と先行事例を学び、自ら質的調査を設計して実践する技術を習得する。

#### 内容

1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイティ『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

#### 評価

授業時の課題提出50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてある資料を予習する。

【事後学修】授業時の課題を仕上げて指定のフォルダに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

### 【参考図書】

桜井 厚（2002）『インタビューの社会学』せりか書房。

桜井 厚訳（1983）W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』御茶の水書房。

中野 卓（1979）『口述の生活史』御茶の水書房。

寺谷弘士訳（1979）W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』垣内出版。

社会調査協会編（2014）『社会調査事典』丸善出版。

科目名	マーケティングリサーチ		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「調査と統計」ならびに「社会調査法」で学んだ統計学の知識をいかして、実践的な調査技法を学び、「卒業研究」などに応用できるようにする。本科目は、世界的に多様な分野において利用されている統計パッケージSPSSを用いて、実践的なマーケティングリサーチの手法について学ぶことを目的としている。マーケティングリサーチの手順と方法について知ると共に、調査票の作成、調査の実施、データ分析、発表の一連の作業について実習を行い、実践力を身につける。

「アンケートを作ることができる」「変数に応じた分析のための入力フォーマットを作成できる」「SPSSを利用してアンケートデータの分析ができる」「分析結果をグラフや表にまとめてプレゼンテーションを利用して発表できる」

内容	
1	1 マーケティングリサーチとはなにか
2	2 リサーチプロセスと課題の発見
3	3 リサーチデザインとデータ収集
4	4 質問紙の作成 ( 1 ) 技法
5	5 質問紙の作成 ( 2 ) 演習
6	6 調査の実施とデータ入力
7	7 SPSSによる調査データ処理 ( 1 )
8	8 SPSSによる調査データ処理 ( 2 )
9	9 SPSSによる調査データ処理 ( 3 )
10	10 表とグラフの作成
11	11 プレゼンテーション作成技法 ( 1 )
12	12 プレゼンテーション作成技法 ( 2 )
13	13 課題発表 ( 1 )
14	14 課題発表 ( 2 )
15	15 まとめ・ふりかえり

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 通常授業におけるとりくみ ( 30% )
- 2 . 最終課題の達成度 ( 70% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】統計分析手法の復習 ( 2時間 )

【事後学修】SPSSによる分析手法の復習 ( 2時間 )

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【参考図書】『SPSS でやさしく学ぶ統計解析』室・石村著 ( 東京書籍 ) 417/M

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

#### 科目の概要

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

内容	
1	オリエンテーション 田倉
2	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
3	泉続き
4	栗原 サウンドデータの編集
5	栗原続き
6	田倉 フォトムービーの作成 ( 文字、画像、音声、動画の編集 )
7	田倉続き
8	新行内 USBメモリの活用
9	新行内続き
10	小野 scratchゲーム作成
11	小野続き
12	川瀬 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
13	川瀬続き
14	中尾 Wordの「描画ツール」を使って絵を描こう ( シェイプアートの作成 )
15	中尾続き まとめ

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

### 【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業で必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業で必要な本は紹介する

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

#### 科目の概要

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

内容	
1	オリエンテーション 田倉
2	中尾 Wordの「描画ツール」を使って絵を描こう (シェイプアートの作成)
3	中尾続き
4	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
5	泉続き
6	川瀬 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
7	川瀬続き
8	田倉 フォトムービーの作成 (文字、画像、音声、動画の編集)
9	田倉続き
10	新行内 USBメモリの活用
11	新行内続き
12	小野 scratchゲーム作成
13	小野続き
14	栗原 サウンドデータの編集
15	栗原続き まとめ

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。



## 授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

### 【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業に必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業に必要な本は紹介する

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

#### 科目の概要

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

#### 学修目標 (= 到達目標)

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

内容	
1	オリエンテーション 田倉
2	川瀬 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
3	川瀬続き
4	中尾 Wordの「描画ツール」を使って絵を描こう (シェイプアートの作成)
5	中尾続き
6	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
7	泉続き
8	栗原 サウンドデータの編集
9	栗原続き
10	田倉 フォトムービーの作成 (文字、画像、音声、動画の編集)
11	田倉続き
12	新行内 USBメモリの活用
13	新行内続き
14	小野 scratchゲーム作成
15	小野続き まとめ

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

### 【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業に必要な本を紹介する

【参考図書】 各回の授業に必要な本を紹介する

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、田倉 昭、小野 裕次郎 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

#### 科目の概要

各教員が2コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

内容	
1	オリエンテーション 田倉
2	小野 scratchゲーム作成
3	小野続き
4	川瀬 フリーソフトを活用したデジカメ写真の画像加工
5	川瀬続き
6	中尾 Wordの「描画ツール」を使って絵を描こう (シェイプアートの作成)
7	中尾続き
8	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
9	泉続き
10	栗原 サウンドデータの編集
11	栗原続き
12	田倉 フォトムービーの作成 (文字、画像、音声、動画の編集)
13	田倉続き
14	新行内 USBメモリの活用
15	新行内続き まとめ

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

### 【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業で必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業で必要な本は紹介する

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

#### 内容

1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】問題文に目を通して読めない字句などを調べ、学習する機能について確認しておく。

【事後学修】取組んだ課題を見直して、新しく学習した機能について理解を深める。

教科書に類似問題があれば取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

#### 内容

1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】問題文に目を通して読めない字句などを調べ、学習する機能について確認しておく。



【事後学修】取組んだ課題を見直して、新しく学習した機能について理解を深める。

教科書に類似問題があれば取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

内容	
1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】問題文に目を通して読めない字句などを調べ、学習する機能について確認しておく。

【事後学修】取組んだ課題を見直して、新しく学習した機能について理解を深める。

教科書に類似問題があれば取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「Dビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定文書作成またはMOS(Microsoft Office Specialist)Wordの資格試験の合格をめざす。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本演習では、Wordを用いてビジネス文書の書き方や実践的な高度なWord機能の使い方など総合的なスキルを習得することを目標とする。問題練習の実習を繰り返して行うことにより、ビジネス文書を効率的に作成できる技法を身につける。

#### 学修目標

ビジネス文書の書き方を理解する。

Word機能を利用して実践的な各種ビジネス文書を作成することができる。

資格試験合格に必要なスキルと知識を習得する。

#### 内容

1	通知状の作成(1)
2	通知状の作成(2)
3	案内状の作成(1)
4	案内状の作成(2)
5	挨拶状の作成
6	見積書の作成
7	納品書の作成
8	旅費精算書の作成
9	PC検定の模擬問題(文書作成と知識問題)の取組み
10	会議議事録の作成
11	報告書の作成
12	社内報の作成
13	企画書の作成
14	MOSの模擬問題の取組み
15	まとめ

#### 評価

毎回の課題の提出状況(60点)と完成度(40点)により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】問題文に目を通して読めない字句などを調べ、学習する機能について確認しておく。

【事後学修】取組んだ課題を見直して、新しく学習した機能について理解を深める。

教科書に類似問題があれば取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	データ活用		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を予習し、授業内で実施する知識問題の演習に備える。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

### 【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2010 対策キスト&問題集』 FOM出版
- ・PC検定研究会 『日商PC検定試験データ活用3級合格教本』 技術評論社
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	データ活用		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 授業外学習



【事前予習】テキストの該当箇所を予習し、授業内で実施する知識問題の演習に備える。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

### 【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2010 対策キスト&問題集』 FOM出版
- ・PC検定研究会 『日商PC検定試験データ活用3級合格教本』 技術評論社
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	データ活用		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を予習し、授業内で実施する知識問題の演習に備える。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

### 【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2010 対策キスト&問題集』 FOM出版
- ・PC検定研究会 『日商PC検定試験データ活用3級合格教本』 技術評論社
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	データ活用		
担当教員名	平野 貴大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は生活情報学科専門科目の科目区分「D ビジネスで情報を生かす」に含まれる選択科目であり、日商PC検定データ活用およびMOS(Microsoft Office Specialist) Excelの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の使い方については、共通科目の情報処理演習で習得済みであることから、本科目ではExcelの実践的・高度な機能の使い方や業務データの処理・分析・活用など総合的なスキルを問題演習を通して習得する。

#### 学修目標

- ・企業実務で必要とされるExcelの機能・操作方法を身に付ける
- ・業務データを用いたビジネス文書を作成する力を養う
- ・資格試験合格に必要なスキルと知識を身に付ける

#### 内容

1	オリエンテーション
2	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(1)
3	IT利活用(ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等)の基礎知識(2)
4	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(1)
5	データ活用(業務データ処理、分析、活用)の基礎知識(2)
6	Excel基本操作の確認(1)
7	Excel基本操作の確認(2)
8	問題演習(1)
9	問題演習(2)
10	問題演習(3)
11	問題演習(4)
12	問題演習(5)
13	問題演習(6)
14	問題演習(7)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を予習し、授業内で実施する知識問題の演習に備える。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

富士通エフ・オー・エム 『日商PC検定試験データ活用3級完全マスター』 FOM出版

### 【推薦書】

- ・富士通エフ・オー・エム 『Microsoft Excel 2010 対策キスト&問題集』 FOM出版
- ・PC検定研究会 『日商PC検定試験データ活用3級合格教本』 技術評論社
- ・日本商工会議所 『ネット社会のデジタル仕事術』 廣済堂出版

科目名	ビジネスデータ活用基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の考え方を習得する

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとして、VBA(Visual Basic for Applications)を学ぶことにより、頻繁に使う機能を表計算ソフトに登録し、必要な時にそれを呼び出し実行できるマクロ機能について理解する。VBAの実習問題に取り組むことにより、初心者がプログラミング言語の基礎的な構文、文法に慣れることができる。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

記録マクロに登録することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロに登録することができる。

内容	
1	表計算ソフト Excelの復習 関数テクニック 1
2	表計算ソフト Excel の復習 関数テクニック 2
3	表計算ソフトExcel の復習 関数テクニック 3
4	VBAの基礎
5	マクロの記録と修正 ( マクロボタン作成、セルの色分け )
6	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 1
7	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 2
8	応用問題 演習
9	コマンドボタン、スピントーン、ラベルの作成
10	テキストボックス、チェックボックスの利用、
11	リストボックス、コンボボックス、スクロールバー、とグルボタンの作成
12	さまざまなコントロールマクロの応用演習 1
13	さまざまなコントロールマクロの応用演習 2
14	総合演習
15	まとめ

#### 評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 教科書の次回行るところを簡単に読み、次回的话题を把握しておく。

【事後学修】 毎回出される課題を仕上げるとともに、新しい話題は何なのか把握し、教科書のどこに書いてあるかを把握する。応用問題を行うときに、自分で教科書を見て解くことができるようにしておくことにより、その時に学習内容を定着させることができる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

30時間でマスター Excel 2007 VBA 実教出版

科目名	ビジネスデータ活用基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の考え方を習得する

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとして、VBA(Visual Basic for Applications)を学ぶことにより、頻繁に使う機能を表計算ソフトに登録し、必要な時にそれを呼び出し実行できるマクロ機能について理解する。VBAの実習問題に取り組むことにより、初心者がプログラミング言語の基礎的な構文、文法に慣れることができる。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

記録マクロに登録することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロに登録することができる。

内容	
1	表計算ソフト Excelの復習 関数テクニック 1
2	表計算ソフト Excel の復習 関数テクニック 2
3	表計算ソフトExcel の復習 関数テクニック 3
4	VBAの基礎
5	マクロの記録と修正 ( マクロボタン作成、セルの色分け )
6	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 1
7	繰り返しによる自動化と抽出条件の記述 2
8	応用問題 演習
9	コマンドボタン、スピンの作成
10	テキストボックス、チェックボックスの利用、
11	リストボックス、コンボボックス、スクロールバー、とグルボタンの作成
12	さまざまなコントロールマクロの応用演習 1
13	さまざまなコントロールマクロの応用演習 2
14	総合演習
15	まとめ

#### 評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 教科書の次回行るところを簡単に読み、次回的话题を把握しておく。



【事後学修】 毎回出される課題を仕上げるとともに、新しい話題は何なのか把握し、教科書のどこに書いてあるかを把握する。応用問題を行うときに、自分で教科書を見て解くことができるようにしておくことにより、その時に学習内容を定着させることができる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

30時間でマスター Excel 2007 VBA 実教出版

科目名	ビジネスデータ活用応用		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ネットワークを介したデータ処理システムを理解することを目標とする。

「ビジネスデータ活用基礎」で、マクロ言語を通してプログラミング言語の基礎的なことを理解し、「データベース基礎」でデータベースの基礎的なことを理解していれば理解できるように授業を進める。基本的には授業内で言語、ホームページ関連の必要な知識は説明し、進めていく。しかしながら、「データベース基礎」、「ホームページ関連の授業」を受講しているとさらに理解しやすい。

実社会で使われているシステムに即し、実用的なシステムの構築を学ぶ。今までに学んできたプログラミング言語、HTML、SQL言語を総合的に利用し、ホームページでのデータ操作について学ぶ授業である。

ホームページから入力されたデータをファイルやデータベースにデータ登録し、それらのデータを検索するシステムを開発し、ネットワークを介したデータ処理の仕組みを理解することを目標とする。

#### 内容

1	オリエンテーション ( ネットワークを介したデータ処理について )
2	PHP開発環境について
3	変数、簡単な関数 ( 文字列関数、日付関数 )
4	条件分岐 繰り返し構文 1
5	条件分岐、繰り返し構文 2
6	配列操作
7	フォームとメール操作 1
8	フォームとメール操作 2
9	アンケートフォームとCSVファイル作成 1
10	アンケートフォームとCSVファイル作成 2
11	データベースとSQL操作
12	WebでのSQL言語によるデータベース操作 1
13	WebでのSQL言語によるデータベース操作 2
14	課題 ショッピングカートシステム作成 1
15	課題 ショッピングカートシステム作成 2

#### 評価

授業中に出す課題 60% とまとめの課題 40% の合計で評価し、60% 以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題は何なのか把握しておく。

【事後学修】毎回出される課題を仕上げるとともに、教科書を読み直すことを進める。特に、この教科書はとても理解しやすく書いてある。授業では教科書に沿って、ポイントだけを説明し進めるので、読み直し、応用課題は自分で教科書を見な

がらとけるようにしておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：PHPプログラミングの教科書 西沢直木著 SoftBank Creative

科目名	ビジネスデータ活用応用		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

ネットワークを介したデータ処理システムを理解することを目標とする。

「ビジネスデータ活用基礎」で、マクロ言語を通してプログラミング言語の基礎的なことを理解し、「データベース基礎」でデータベースの基礎的なことを理解していれば理解できるように授業を進める。基本的には授業内で言語、ホームページ関連の必要な知識は説明し、進めていく。しかしながら、「データベース基礎」、「ホームページ関連の授業」を受講しているとさらに理解しやすい。

実社会で使われているシステムに即し、実用的なシステムの構築を学ぶ。今までに学んできたプログラミング言語、HTML、SQL言語を総合的に利用し、ホームページでのデータ操作について学ぶ授業である。

ホームページから入力されたデータをファイルやデータベースにデータ登録し、それらのデータを検索するシステムを開発し、ネットワークを介したデータ処理の仕組みを理解することを目標とする。

#### 内容

1	オリエンテーション ( ネットワークを介したデータ処理について )
2	PHP開発環境について
3	変数、簡単な関数 ( 文字列関数、日付関数 )
4	条件分岐 繰り返し構文 1
5	条件分岐、繰り返し構文 2
6	配列操作
7	フォームとメール操作 1
8	フォームとメール操作 2
9	アンケートフォームとCSVファイル作成 1
10	アンケートフォームとCSVファイル作成 2
11	データベースとSQL操作
12	WebでのSQL言語によるデータベース操作 1
13	WebでのSQL言語によるデータベース操作 2
14	課題 ショッピングカートシステム作成 1
15	課題 ショッピングカートシステム作成 2

#### 評価

授業中に出す課題 60%とまとめの課題 40%の合計で評価し、60%以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題は何なのか把握しておく。

【事後学修】毎回出される課題を仕上げるとともに、教科書を読み直すことを進める。特に、この教科書はとても理解しやすく書いてある。授業では教科書に沿って、ポイントだけを説明し進めるので、読み直し、応用課題は自分で教科書を見な

がらとけるようにしておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：PHPプログラミングの教科書 西沢直木著 SoftBank Creative

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学びます。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができます。

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されています。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成(マークアップ)ができることを目的とします。

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解し、HTML文法を理解してWebページを作成(マークアップ)できることを目標とします。

内容	
1	ガイダンス、Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法の基礎
3	HTML文法の理解 (基本的なHTML)
4	HTML文法の理解 (イメージの配置)
5	HTML文法の理解 (ハイパーリンクの設定)
6	さまざまなHTML表現 (テーブルの作成)
7	さまざまなHTML表現 (テーブルレイアウト)
8	さまざまなHTML表現 (フレームデザイン)
9	さまざまなHTML表現 (フォームの利用)
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成
14	Webサイトの作成
15	まとめ(発表と講評)

#### 評価

指定されたテキスト内課題および作品(70%)、受講態度(20%)、レポート等(10%)により総合的に判断し、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストに目を通し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】練習課題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学びます。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができます。

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されています。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成(マークアップ)ができることを目的とします。

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解し、HTML文法を理解してWebページを作成(マークアップ)できることを目標とします。

内容	
1	ガイダンス、Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法の基礎
3	HTML文法の理解 (基本的なHTML)
4	HTML文法の理解 (イメージの配置)
5	HTML文法の理解 (ハイパーリンクの設定)
6	さまざまなHTML表現 (テーブルの作成)
7	さまざまなHTML表現 (テーブルレイアウト)
8	さまざまなHTML表現 (フレームデザイン)
9	さまざまなHTML表現 (フォームの利用)
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成
14	Webサイトの作成
15	まとめ(発表と講評)

#### 評価

指定されたテキスト内課題および作品(70%)、受講態度(20%)、レポート等(10%)により総合的に判断し、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習



【事前予習】テキストに目を通し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】練習課題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されている。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML文法を理解してWebページを作成することができる。

#### 内容

1	Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法
3	HTML文法の理解 ( 基本的なHTML )
4	HTML文法の理解 ( イメージの配置 )
5	HTML文法の理解 ( ハイパーリンクの設定 )
6	さまざまなHTML表現 ( テーブルの作成 )
7	さまざまなHTML表現 ( テーブルレイアウト )
8	さまざまなHTML表現 ( フレームデザイン )
9	さまざまなHTML表現 ( フォームの利用 )
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成 ( 1 )
14	Webサイトの作成 ( 2 )
15	まとめ

#### 評価

課題の提出 (60%)、課題に対して適切な機能の実装と動作状況 (30%)、授業への参加度 (20%) により合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習すべき内容を確認しておく。

【事後学修】練習問題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	中尾 茂子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科専門科目の科目区分「E 情報システムを創る」に含まれる2年次必修科目であり、Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目を履修後、「Webページ作成応用」科目を選択することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

誰もがインターネットを利用することがあたりまえになってきて、Webページを用いた情報発信も拡大の一途を示しており、Webサイトの役割も単なる情報発信から、電子商取引やインターネットバンキングなど多彩なサービスを期待されている。本講義では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML文法を理解してWebページを作成することができる。

#### 内容

1	Webページの動作としくみ
2	Webページの作成方法
3	HTML文法の理解 ( 基本的なHTML )
4	HTML文法の理解 ( イメージの配置 )
5	HTML文法の理解 ( ハイパーリンクの設定 )
6	さまざまなHTML表現 ( テーブルの作成 )
7	さまざまなHTML表現 ( テーブルレイアウト )
8	さまざまなHTML表現 ( フレームデザイン )
9	さまざまなHTML表現 ( フォームの利用 )
10	スタイルシートの基礎
11	スタイルシートの使い方
12	Webサイトの構築と設計
13	Webサイトの作成 ( 1 )
14	Webサイトの作成 ( 2 )
15	まとめ

#### 評価

課題の提出 (60%)、課題に対して適切な機能の実装と動作状況 (30%)、授業への参加度 (20%) により合計100点満点で評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習すべき内容を確認しておく。

【事後学修】練習問題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指示する。

科目名	Webページ作成応用		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

Webページ作成やサイト構築の基本的な技術と理論に加え、スクリプトなどを実装する技術とコンセプトワークなどのディレクション能力を修得することを目的とします。

Webページ作成の基本的な技術と理論に加え、CSSやJavaScriptなどの基本的な技術を学習し、デザイン性や動きのあるWebページ作成を実践します。加えて、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワーク、デザイン、プロダクションマネージメント等の基礎も学習します。

Webページ作成におけるCSSやJavaScriptなどの基本的な技術と理論を理解し、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワークを理解します。

「Webページ作成基礎」を履修済みが望ましい

定員40名 ( 定員オーバーの場合は第1回目に抽選します )

#### 内容

前半は「Webページ作成基礎」で使用したテキストに沿って進めていきます。

受講生の進行度合いにより変更する場合があります。

作品や授業内課題は評価の対象ですので、課題提出を怠らない様にしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけなくなります。

1	オリエンテーション
2	HTML基礎 ( 復習としてアンケートフォーム作成 )
3	JavaScriptの基本 ( 概要、日付、マウスオーバー )
4	JavaScriptの基本 ( 計算処理、条件分岐、ウィンドウ操作 )
5	Dreamweaverの基本操作
6	Dreamweaverの基本操作
7	Webサイトのインターフェースデザイン ( Illustratorによるワイヤーフレーム )
8	Webサイトのインターフェースデザイン ( Photoshopによるワイヤーフレーム )
9	Webサイトのインターフェースデザイン ( カンプとスライス )
10	Webサイトのインターフェースデザイン ( スライス )
11	Webサイト制作のコンセプトワーク ( 企画書作成 ) とデザイン ( デザイン案作成 )
12	Webサイト制作
13	Webサイト制作
14	Webサイト制作
15	まとめ ( Webサイト作品の発表と講評 )

## 評価

作品および課題提出(70%)、受講態度(20%)、レポート等(10%)により総合的に判断し、60点以上を合格とします。  
アイデアスケッチ、企画書・スケジュール、作品など指定されたものが未提出の場合は評価しません。  
ウェブデザイン実務士資格を取得予定の学生は、この授業で「B」以上の評価が必要です。

## 授業外学習

【事前予習】配布資料やPDFファイルを良く読んでおく。

【事後学修】課題に取り組み完成させることにより、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは「Webページ作成基礎」で使用したものです。

その他、必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	Webページ作成応用		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

Webページ作成やサイト構築の基本的な技術と理論に加え、スクリプトなどを実装する技術とコンセプトワークなどのディレクション能力を修得することを目的とします。

Webページ作成の基本的な技術と理論に加え、CSSやJavaScriptなどの基本的な技術を学習し、デザイン性や動きのあるWebページ作成を実践します。加えて、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワーク、デザイン、プロダクションマネージメント等の基礎も学習します。

Webページ作成におけるCSSやJavaScriptなどの基本的な技術と理論を理解し、Webサイト構築におけるワークフロー、コンセプトワークを理解します。

「Webページ作成基礎」を履修済みが望ましい

定員40名 ( 定員オーバーの場合は第1回目に抽選します )

#### 内容

前半は「Webページ作成基礎」で使用したテキストに沿って進めていきます。

受講生の進行度合いにより変更する場合があります。

作品や授業内課題は評価の対象ですので、課題提出を怠らない様にしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけなくなります。

1	オリエンテーション
2	HTML基礎 ( 復習としてアンケートフォーム作成 )
3	JavaScriptの基本 ( 概要、日付、マウスオーバー )
4	JavaScriptの基本 ( 計算処理、条件分岐、ウィンドウ操作 )
5	Dreamweaverの基本操作
6	Dreamweaverの基本操作
7	Webサイトのインターフェースデザイン ( Illustratorによるワイヤーフレーム )
8	Webサイトのインターフェースデザイン ( Photoshopによるワイヤーフレーム )
9	Webサイトのインターフェースデザイン ( カンプとスライス )
10	Webサイトのインターフェースデザイン ( スライス )
11	Webサイト制作のコンセプトワーク ( 企画書作成 ) とデザイン ( デザイン案作成 )
12	Webサイト制作
13	Webサイト制作
14	Webサイト制作
15	まとめ ( Webサイト作品の発表と講評 )



## 評価

作品および課題提出(70%)、受講態度(20%)、レポート等(10%)により総合的に判断し、60点以上を合格とします。  
アイデアスケッチ、企画書・スケジュール、作品など指定されたものが未提出の場合は評価しません。  
ウェブデザイン実務士資格を取得予定の学生は、この授業で「B」以上の評価が必要です。

## 授業外学習

【事前予習】配布資料やPDFファイルを良く読んでおく。

【事後学修】課題に取り組み完成させることにより、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは「Webページ作成基礎」で使用したものです。

その他、必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	新しいWebページ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格： Webページ作成基礎，Webページ作成応用の内容を基礎として，JavaScriptと高度で便利な機能をまとめたJavaScriptライブラリであるjQueryを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける．JavaScriptとjQueryは，HTML，CSSで記述されたWebページに機能追加を行うことで動きのあるページを作成する．このため，HTML，CSSについて，他人の作ったものを理解，編集できることが前提となる．なお，JavaScriptの名称にJavaが含まれるが，プログラミング言語のJavaとはまったく別物である．

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryの二つを中心に学ぶ．JavaScript，jQueryともに，プログラミングの素養が必要である．教科書に沿って授業を進める．

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し，演習問題を学生が解く形式で進める．課題を毎回出題する．課題を自身で解くことにより，動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる．提出された課題により，成績評価を行う．

内容	
1	オリエンテーション，環境準備
2	アラートボックス，確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数，四則演算
4	比較演算子，論理演算子
5	while，for，配列
6	連想配列，イベント
7	if elase，switch
8	オブジェクト指向
9	オブジェクト指向と継承
10	jQueryについて，ツールボックスを作る
11	開閉できるツールボックス
12	ボタンをロールオーバーする
13	ポップアップ表示
14	複数画像のポップアップ
15	表示フォームの入力チェック

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】教科書を事前に読み、必要な前提知識を復習しておくことで授業内容をよく理解することができる。

【事後学修】授業で行った課題で使った技術、内容をよく復習することが大事である。授業内容がプログラミングであるので、後になるほどそれまでに学習した内容を理解していることが前提となる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ。定価：本体2,480円＋税。教科書は必須である。

科目名	新しいWebページ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格： Webページ作成基礎，Webページ作成応用の内容を基礎として，JavaScriptと高度で便利な機能をまとめたJavaScriptライブラリであるjQueryを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける．JavaScriptとjQueryは，HTML，CSSで記述されたWebページに機能追加を行うことで動きのあるページを作成する．このため，HTML，CSSについて，他人の作ったものを理解，編集できることが前提となる．なお，JavaScriptの名称にJavaが含まれるが，プログラミング言語のJavaとはまったく別物である．

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryの二つを中心に学ぶ．JavaScript，jQueryともに，プログラミングの素養が必要である．教科書に沿って授業を進める．

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し，演習問題を学生が解く形式で進める．課題を毎回出題する．課題を自身で解くことにより，動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる．提出された課題により，成績評価を行う．

内容	
1	オリエンテーション，環境準備
2	アラートボックス，確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数，四則演算
4	比較演算子，論理演算子
5	while，for，配列
6	連想配列，イベント
7	if elase，switch
8	オブジェクト指向
9	オブジェクト指向と継承
10	jQueryについて，ツールボックスを作る
11	開閉できるツールボックス
12	ボタンをロールオーバーする
13	ポップアップ表示
14	複数画像のポップアップ
15	表示フォームの入力チェック

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】教科書を事前に読み、必要な前提知識を復習しておくことで授業内容をよく理解することができる。

【事後学修】授業で行った課題で使った技術、内容をよく復習することが大事である。授業内容がプログラミングであるので、後になるほどそれまでに学習した内容を理解していることが前提となる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ．定価：本体2,480円＋税．教科書は必須である．

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現在、アニメーションは身近なものとなっており、プレゼンテーションにおいて複雑な内容を容易に説明するためや、ホームページに多く用いられ、ゲームを作成することも可能である。そこで、本科目では、アニメーションの基本から学習し、アニメーションソフトの使用方法から素材の利用方法など基礎的なことを学び、次の科目である「アニメーション制作」に繋げていく。

本科目ではアニメーションを作成していくために、アニメーションソフトの使用方法から始める。その後、基本的なオブジェクトの作画とアニメーションの設定手順、デジカメ写真を用いたフォトギャラリーの作成を学びます。また、ビデオ素材の利用方法や作成したアニメーションをWeb上に公開する手順も学びます。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	アニメーション作製ソフトの使用方法
3	アニメーション作製ソフトの詳細使用方法
4	イラスト作成 ( 矩形、楕円、多角形 )
5	イラスト作成 ( 曲線、変形 )
6	アニメーション作製
7	アニメーション課題
8	フォトギャラリーの作成 ( 素材の取り込み )
9	フォトギャラリーの作成 ( マスクの利用 )
10	フォトギャラリーの作成 ( 音楽の追加 )
11	フォトギャラリー課題
12	ビデオの取り込み
13	パブリッシュ
14	バナー作成
15	最終課題

#### 評価

課題点 80 点 平常点 20 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】教科書の次回部分を事前に読んでおく。
- 【事後学修】授業中に作成した課題を確認し終わらせておく。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現在、アニメーションは身近なものとなっており、プレゼンテーションにおいて複雑な内容を容易に説明するためや、ホームページに多く用いられ、ゲームを作成することも可能である。そこで、本科目では、アニメーションの基本から学習し、アニメーションソフトの使用方法から素材の利用方法など基礎的なことを学び、次の科目である「アニメーション制作」に繋げていく。

本科目ではアニメーションを作成していくために、アニメーションソフトの使用方法から始める。その後、基本的なオブジェクトの作画とアニメーションの設定手順、デジカメ写真を用いたフォトギャラリーの作成を学びます。また、ビデオ素材の利用方法や作成したアニメーションをWeb上に公開する手順も学びます。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	アニメーション作製ソフトの使用方法
3	アニメーション作製ソフトの詳細使用方法
4	イラスト作成 ( 矩形、楕円、多角形 )
5	イラスト作成 ( 曲線、変形 )
6	アニメーション作製
7	アニメーション課題
8	フォトギャラリーの作成 ( 素材の取り込み )
9	フォトギャラリーの作成 ( マスクの利用 )
10	フォトギャラリーの作成 ( 音楽の追加 )
11	フォトギャラリー課題
12	ビデオの取り込み
13	パブリッシュ
14	バナー作成
15	最終課題

#### 評価

課題点 80 点 平常点 20 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】教科書の次回部分を事前に読んでおく。
- 【事後学修】授業中に作成した課題を確認し終わらせておく。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現在、アニメーションは身近なものとなっており、プレゼンテーションにおいて複雑な内容を容易に説明するためや、ホームページに多く用いられ、ゲームを作成することも可能である。そこで、本科目では、アニメーションの基本から学習し、アニメーションソフトの使用方法から素材の利用方法など基礎的なことを学び、次の科目である「アニメーション制作」に繋げていく。

本科目ではアニメーションを作成していくために、アニメーションソフトの使用方法から始める。その後、基本的なオブジェクトの作画とアニメーションの設定手順、デジカメ写真を用いたフォトギャラリーの作成を学びます。また、ビデオ素材の利用方法や作成したアニメーションをWeb上に公開する手順も学びます。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	アニメーション作製ソフトの使用方法
3	アニメーション作製ソフトの詳細使用方法
4	イラスト作成 ( 矩形、楕円、多角形 )
5	イラスト作成 ( 曲線、変形 )
6	アニメーション作製
7	アニメーション課題
8	フォトギャラリーの作成 ( 素材の取り込み )
9	フォトギャラリーの作成 ( マスクの利用 )
10	フォトギャラリーの作成 ( 音楽の追加 )
11	フォトギャラリー課題
12	ビデオの取り込み
13	パブリッシュ
14	バナー作成
15	最終課題

#### 評価

課題点 80 点 平常点 20 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】教科書の次回部分を事前に読んでおく。
- 【事後学修】授業中に作成した課題を確認し終わらせておく。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。



科目名	アニメーション制作		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、アニメーション入門で学んだ内容を発展させ、応答性のあるアニメーションを作成していきます。スクリプトと呼ばれるアニメーションの動作を制御する小さなプログラムを組み込むことで、マウスやキーボードの操作によってアニメーションの動きをコントロールすることができます。

本科目の学修目標は、スクリプトを用いたアニメーションを自由に作成できるようになること、各種の画像素材や音楽データを利用したゲームを作成することにあります。

ゲームの作成には、アニメーション作成ソフトの理解だけでなく、ゲームそのものの動作の理解も必要です。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	復習 ( その 1 )
3	復習 ( その 2 )
4	スクリプトの入力方法
5	スクリプトの基本文法
6	関数とは
7	イベント処理 マウスイベント
8	イベント処理 ボタンイベント
9	イベント処理 タイマーイベント
10	イベント処理 キーボードイベント
11	ゲーム作成 ゲームの構造
12	ゲーム作成 素材の準備
13	ゲーム作成 スクリプトの記述 1
14	ゲーム作成 スクリプトの記述 2
15	まとめ

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	アニメーション制作		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、アニメーション入門で学んだ内容を発展させ、応答性のあるアニメーションを作成していきます。スクリプトと呼ばれるアニメーションの動作を制御する小さなプログラムを組み込むことで、マウスやキーボードの操作によってアニメーションの動きをコントロールすることができます。

本科目の学修目標は、スクリプトを用いたアニメーションを自由に作成できるようになること、各種の画像素材や音楽データを利用したゲームを作成することにあります。

ゲームの作成には、アニメーション作成ソフトの理解だけでなく、ゲームそのものの動作の理解も必要です。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	復習 ( その 1 )
3	復習 ( その 2 )
4	スクリプトの入力方法
5	スクリプトの基本文法
6	関数とは
7	イベント処理 マウスイベント
8	イベント処理 ボタンイベント
9	イベント処理 タイマーイベント
10	イベント処理 キーボードイベント
11	ゲーム作成 ゲームの構造
12	ゲーム作成 素材の準備
13	ゲーム作成 スクリプトの記述 1
14	ゲーム作成 スクリプトの記述 2
15	まとめ

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 前回授業内容の確認

【事後学修】 課題作成と提出

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	デジタルビデオ編集		
担当教員名	村上 博泰		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「だれでも、どこでも簡単にビデオ編集」という性格の授業なので、特にほかの学科を受講する必要はないが、グラフィックス関連科目の授業を受けていると親しみやすいこともある。

#### 科目の概要

ハードウェア・ソフトウェアの基盤技術の進歩とともに、デジタルビデオ画像はコンピュータで編集することが容易になり、テレビで視聴されるだけでなく、インターネット上で配信されたり、プレゼンテーションでの利用や教育用のショートコンテンツとしても利用できるようになりました。本科目では、家庭のビデオ作品の編集だけでなく、研究発表等様々な場面で使用するビデオ画像を自由に編集できるように学修していきます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

様々な素材利用方法、ビデオ画像の編集機能、ビデオ画像の出力方法を学修する。ソフトウェアを自由に使いこなすために、ビデオ画像の基礎技術用語を理解する。( 演習授業ですが、説明も多い )

内容	
1	デジタルビデオ編集とは
2	デジタルビデオ画像の説明、授業・演習の進め方 ( ビデオ編集特有の制限 ) と簡単な編集
3	DV画像キャプチャの説明とストーリーボード機能およびWindowsLiveムービーメーカーの説明
4	基本的なタイムライン編集 1
5	基本的なタイムライン編集 2
6	基本的なタイムライン編集 3
7	シーンの切り替え機能 ( トランジション ) とムービー出力
8	ビデオエフェクトとキーフレームを使用したエフェクトのアニメート化
9	タイトルの作成方法 ( テキストのクロール、ロール、静止 )
10	スーパーインポーズと合成
11	素材を使った自由課題
12	教育用素材の編集と補足事項 ( トラックマットキーの使用 )
13	ムービー出力とプレゼンテーションへのビデオ画像の組み込み
14	最終編集課題
15	まとめと補足 ( アルファチャンネルつきビデオ画像 )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各回ごとの授業資料に目を通す程度。

【事後学修】疑問点があれば、メールなどで質問する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない、必要に応じてファイルを配布する。

【推薦書】特に指定しない

【参考図書】特に指定しない

科目名	デジタルビデオ編集		
担当教員名	村上 博泰		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「だれでも、どこでも簡単にビデオ編集」という性格の授業なので、特にほかの学科を受講する必要はないが、グラフィックス関連科目の授業を受けていると親しみやすいこともある。

#### 科目の概要

ハードウェア・ソフトウェアの基盤技術の進歩とともに、デジタルビデオ画像はコンピュータで編集することが容易になり、テレビで視聴されるだけでなく、インターネット上で配信されたり、プレゼンテーションでの利用や教育用のショートコンテンツとしても利用できるようになりました。本科目では、家庭のビデオ作品の編集だけでなく、研究発表等様々な場面で使用するビデオ画像を自由に編集できるように学修していきます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

様々な素材利用方法、ビデオ画像の編集機能、ビデオ画像の出力方法を学修する。ソフトウェアを自由に使いこなすために、ビデオ画像の基礎技術用語を理解する。( 演習授業ですが、説明も多い )

内容	
1	デジタルビデオ編集とは
2	デジタルビデオ画像の説明、授業・演習の進め方 ( ビデオ編集特有の制限 ) と簡単な編集
3	DV画像キャプチャの説明とストーリーボード機能およびWindowsLiveムービーメーカーの説明
4	基本的なタイムライン編集 1
5	基本的なタイムライン編集 2
6	基本的なタイムライン編集 3
7	シーンの切り替え機能 ( トランジション ) とムービー出力
8	ビデオエフェクトとキーフレームを使用したエフェクトのアニメート化
9	タイトルの作成方法 ( テキストのクロール、ロール、静止 )
10	スーパーインポーズと合成
11	素材を使った自由課題
12	教育用素材の編集と補足事項 ( トラックマットキーの使用 )
13	ムービー出力とプレゼンテーションへのビデオ画像の組み込み
14	最終編集課題
15	まとめと補足 ( アルファチャンネルつきビデオ画像 )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各回ごとの授業資料に目を通す程度。

【事後学修】疑問点があれば、メールなどで質問する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない、必要に応じてファイルを配布する。

【推薦書】特に指定しない

【参考図書】特に指定しない

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

#### 科目の概要

- 1.DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。
- 2.MIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。

MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作  
という手順でDTMの基礎を身につける。

#### 学修目標

- 1.規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作を学ぶ
- 2.MIDI入力したデータをオーディオに変換し、オーディオミックスダウンを実践する
- 3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
- 4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品の制作を体験する

#### 内容

- 第1回 ガイダンス、スタートアップ
- 第2回 MIDI レコーディングとエディット(1)～ステップ入力～キーエディタ
- 第3回 MIDI レコーディングとエディット(2)～ステップ入力～キーエディタ
- 第4回 MIDI レコーディングとエディット(3)～ステップ入力～スコアエディタ
- 第5回 MIDI レコーディングとエディット(4)～リアルタイム入力
- 第6回 MIDI レコーディングとエディット(5)～ドラム入力
- 第7回 MIDI レコーディングとエディット(6)～ドラム入力
- 第8回 MIDI レコーディングとエディット(7)～スコア課題
- 第9回 MIDI レコーディングとエディット(8)～スコア課題
- 第10回 ミックスダウン MIDIデータのオーディオ化
- 第11回 オーディオループ素材～オーディオループ素材を使って楽曲を作る
- 第12回 創作演習(1)～創作を含むより高度な演習課題
- 第13回 創作演習(2)～創作を含むより高度な演習課題
- 第14回 創作演習(3)～創作を含むより高度な演習課題 ミックスダウン
- 第15回 Windows Media Playerを使ったCDライティング

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

## 評価

平常点60% 提出物40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】特に必要ありません

【事後学修】特に必要ありません

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

原則、プリントを配布します。

推薦図書（必須ではない）

・ 書籍（ガイドブック）

「Cubase Series 徹底操作ガイド」 株式会社 リットーミュージック



科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

#### 科目の概要

1. DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。
2. MIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。

MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作  
という手順でDTMの基礎を身につける。

#### 学修目標

1. 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作を学ぶ
2. MIDI入力したデータをオーディオに変換し、オーディオミックスダウンを実践する
3. オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
4. MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品の制作を体験する

#### 内容

- 第1回 ガイダンス、スタートアップ
- 第2回 MIDI レコーディングとエディット(1)～ステップ入力～キーエディタ
- 第3回 MIDI レコーディングとエディット(2)～ステップ入力～キーエディタ
- 第4回 MIDI レコーディングとエディット(3)～ステップ入力～スコアエディタ
- 第5回 MIDI レコーディングとエディット(4)～リアルタイム入力
- 第6回 MIDI レコーディングとエディット(5)～ドラム入力
- 第7回 MIDI レコーディングとエディット(6)～ドラム入力
- 第8回 MIDI レコーディングとエディット(7)～スコア課題
- 第9回 MIDI レコーディングとエディット(8)～スコア課題
- 第10回 ミックスダウン MIDIデータのオーディオ化
- 第11回 オーディオループ素材～オーディオループ素材を使って楽曲を作る
- 第12回 創作演習(1)～創作を含むより高度な演習課題
- 第13回 創作演習(2)～創作を含むより高度な演習課題
- 第14回 創作演習(3)～創作を含むより高度な演習課題 ミックスダウン
- 第15回 Windows Media Playerを使ったCDライティング

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

## 評価

平常点60% 提出物40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】特に必要ありません

【事後学修】特に必要ありません

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

原則、プリントを配布します。

推薦図書（必須ではない）

・ 書籍（ガイドブック）

「Cubase Series 徹底操作ガイド」 株式会社 リットーミュージック

科目名	デジタル色彩		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使用したデザインやCG、Web制作が増える中、一般的な色彩理論に加えデジタル上での色彩の違いを認識して表現する事が必要となってきました。そのためコンピュータで扱うデジタル画像やデジタル色彩、配色の基礎知識を学習する授業です。

色彩の基礎からデジタル色彩の基礎、デジタル画像の基礎知識を学習し、配色トレーニングを実践します。

デジタル色彩の配色能力やコンピュータでの先端色彩による配色の理解を目的とします。

#### 内容

色鉛筆、のり、はさみ、カラーチャートなどが必要になります。

上記が必要な場合、授業内でアナウンスします。

1	オリエンテーション、デジタル色彩とその役割
2	色の基礎特性
3	デジタル画像の基礎
4	色のデジタル表現とその役割
5	色彩の法的規制、流行色
6	カラーリサーチの理論と手法、配色演習基礎
7	色彩生理学と色の意味、トーンの意味、配色演習基礎
8	カラーイメージチャートの仕組み、色のイメージ、配色演習基礎
9	配色技法の解説
10	配色トレーニング (イメージ、喜怒哀楽)
11	配色トレーニング (意思を伴う感情) (五感)
12	SD法による色彩計画、配色トレーニング (SD法による簡易イメージカラー)
13	環境と建築の色彩、環境色彩学、配色トレーニング (景観のカラー表現)
14	色彩とアナロジー、配色トレーニング (面分割のカラー表現)
15	まとめ

#### 評価

演習課題(40%)、コメントシート(15%)、期末レポート(30%)、授業態度(15%)により総合的に判断し、60点以上で合格とします。

色鉛筆や指定カラーチャート以外での演習課題は評価しません。

#### 授業外学習

【事前予習】 次回の関連事項を確認し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】資料を良く読み復習することで、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントを配布します。

色鉛筆やカラーチャートに関しては、第1回目の授業で指示します。

科目名	デジタル色彩		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータを使用したデザインやCG、Web制作が増える中、一般的な色彩理論に加えデジタル上での色彩の違いを認識して表現する事が必要となってきました。そのためコンピュータで扱うデジタル画像やデジタル色彩、配色の基礎知識を学習する授業です。

色彩の基礎からデジタル色彩の基礎、デジタル画像の基礎知識を学習し、配色トレーニングを実践します。

デジタル色彩の配色能力やコンピュータでの先端色彩による配色の理解を目的とします。

#### 内容

色鉛筆、のり、はさみ、カラーチャートなどが必要になります。

上記が必要な場合、授業内でアナウンスします。

1	オリエンテーション、デジタル色彩とその役割
2	色の基礎特性
3	デジタル画像の基礎
4	色のデジタル表現とその役割
5	色彩の法的規制、流行色
6	カラーリサーチの理論と手法、配色演習基礎
7	色彩生理学と色の意味、トーンの意味、配色演習基礎
8	カラーイメージチャートの仕組み、色のイメージ、配色演習基礎
9	配色技法の解説
10	配色トレーニング (イメージ、喜怒哀楽)
11	配色トレーニング (意思を伴う感情) (五感)
12	SD法による色彩計画、配色トレーニング (SD法による簡易イメージカラー)
13	環境と建築の色彩、環境色彩学、配色トレーニング (景観のカラー表現)
14	色彩とアナロジー、配色トレーニング (面分割のカラー表現)
15	まとめ

#### 評価

演習課題(40%)、コメントシート(15%)、期末レポート(30%)、授業態度(15%)により総合的に判断し、60点以上で合格とします。

色鉛筆や指定カラーチャート以外での演習課題は評価しません。

#### 授業外学習

【事前予習】 次回の関連事項を確認し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】資料を良く読み復習することで、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントを配布します。

色鉛筆やカラーチャートに関しては、第1回目の授業で指示します。

科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

グラフィックソフトウェアの基礎およびグラフィックデザインでの活用方法の基礎を学びます。

コンピュータグラフィックス (CG) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、必要不可欠なものとなっています。そこで2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学び、グラフィックソフトウェアの基礎を習得します。基礎作品制作、チームで印刷媒体の制作を行い、グラフィックデザインのワークフローの基礎を学習します。

ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、それぞれ目的に合致したソフトウェアとプロファイルを選択でき、目的に合致した作成手法やグラフィックデザイン技術の基礎を習得することを目標とします。

## 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていけません。

データを保存するUSBメモリ、アイデア用のスケッチブックを毎時間準備してください。

1	ガイダンス、2次元CGの基礎
2	Photoshop基礎 (ビットマップ画像、ピクセルと解像度、基本操作)
3	Photoshop基礎 (レイヤー、ペイント、移動)
4	Photoshop基礎 (色調補正、調整レイヤー、レタッチツール)
5	Photoshop基礎 (マーキーツール、切り抜き、マスク)
6	画像合成作品の制作 (テーマあり)
7	Illustrator基礎 (ベクター画像、プロファイル、アートボード、定規とガイド、基本操作)
8	Illustrator基礎 (図解描画、線描画 (オープンパスとクローズパス)、ベジェ曲線)
9	Illustrator基礎 (オブジェクト、パス調整、色調整)
10	Illustrator基礎 (文字ツール、パスファインダ)、基礎作品制作 (ネームカード)
11	Illustrator基礎 (画像配置、クリッピングマスク) 基礎作品制作 (ポストカード)
12	グラフィックデザインの基礎 (企画・構図・レイアウト・コピー)
13	グラフィックデザイン制作 (ペアによる制作、テーマあり)
14	グラフィックデザイン制作 (制作のつづき)
15	まとめ (作品発表・講評)

## 評価

制作作品・課題(80%)、受講態度(20%)などで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

スケッチブック (企画、アイデア等) および作品が未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

【事前予習】配布資料をよく読み、演習用データを確認しておくこと。

【事後学修】配布資料や演習用データを使用して練習課題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントやPDFファイル、演習用データを配布します。



科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、デジタルアニメーション演習やWeb動画演習をこのあと学修します。

今日の社会でコンピュータグラフィックス ( C G ) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、C G 技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したC G 作成方法やC G 合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

内容	
1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画1 ( グリッドとガイドの利用 )
8	精密な描画2 ( ビットマップ画像の利用 )
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 ( 色調補正・フィルターなど )
13	ウェブページデザインワークフロー 1
14	ウェブページデザインワークフロー 2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	3次元CG		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

CG(コンピュータグラフィックス)表現の基本と3次元CGでの画像生成およびアニメーションの実践と理解を目的とします。

CG作成ソフトウェアでの作品制作を通して、三面図の基礎、基本形状の立体化、質感設定、ライティング、キーフレームアニメーション設定などを学び、画像生成の仕組みや処理手法を修得し3次元CGの作成力を身につけます。

3次元CG制作を中心にCG表現の持つ特性と効果を学習することで、制作過程の理解とコンテンツ工学の基礎力を養います。3次元CG制作のプロセスを理解し、基本形状から自由曲線(ベジェ曲線)までのモデリングと簡易アニメーションが作成できることを目標とします。

#### 内容

毎時間ごとに課題があるので、各自で主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

質問は積極的に行ってください。

受講者の進行度合いにより変更する場合があります。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけません。

1	オリエンテーション、CG表現と3次元CGの基本
2	3次元CGの基礎 (Shadeの基本、プリミティブ、基本形状の生成と質感)
3	3次元CGの基礎 (拡大縮小、光源、平面的図形の理解)
4	3次元CGの基礎 (自由曲面の理解)
5	3次元CGの基礎 (スイープ表現)
6	3次元CGの基礎 (パスによる掃引体)
7	3次元CGの基礎 (自由曲面の応用、投影マッピング)
8	3次元アニメーションの基礎 (ジョイント)
9	3次元アニメーションの基礎 (パス、カメラ)
10	コンテンツ工学の基本とワークフロー、作品計画とアイデアスケッチ
11	作品制作 (素材、テクスチャ作成)
12	作品制作 (モデリング)
13	作品制作 (アニメーション)
14	作品制作 (3Dデータの統合・調整、アニメーションレンダリング)
15	まとめ(作品発表・講評)

#### 評価

制作作品・課題(80%)、受講態度(20%)などで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

アイデアスケッチ、企画書・スケジュール、作品など指定されたものが未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

【事前予習】PDFファイルを確認しておくこと。

【事後学修】PDFファイルを確認して練習課題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	3次元CG		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

CG ( コンピュータグラフィックス ) 表現の基本と3次元CGでの画像生成およびアニメーションの実践と理解を目的とします。

CG作成ソフトウェアでの作品制作を通して、三面図の基礎、基本形状の立体化、質感設定、ライティング、キーフレームアニメーション設定などを学び、画像生成の仕組みや処理手法を修得し3次元CGの作成力を身につけます。

3次元CG制作を中心にCG表現の持つ特性と効果を学習することで、制作過程の理解とコンテンツ工学の基礎力を養います。3次元CG制作のプロセスを理解し、基本形状から自由曲線 ( ベジェ曲線 ) までのモデリングと簡易アニメーションが作成できることを目標とします。

#### 内容

毎時間ごとに課題があるので、各自で主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

質問は積極的に行ってください。

受講者の進行度合いにより変更する場合があります。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席するとついていけません。

1	オリエンテーション、CG表現と3次元CGの基本
2	3次元CGの基礎 ( Shadeの基本、プリミティブ、基本形状の生成と質感 )
3	3次元CGの基礎 ( 拡大縮小、光源、平面的図形の理解 )
4	3次元CGの基礎 ( 自由曲面の理解 )
5	3次元CGの基礎 ( スイープ表現 )
6	3次元CGの基礎 ( パスによる掃引体 )
7	3次元CGの基礎 ( 自由曲面の応用、投影マッピング )
8	3次元アニメーションの基礎 ( ジョイント )
9	3次元アニメーションの基礎 ( パス、カメラ )
10	コンテンツ工学の基本とワークフロー、作品計画とアイデアスケッチ
11	作品制作 ( 素材、テクスチャ作成 )
12	作品制作 ( モデリング )
13	作品制作 ( アニメーション )
14	作品制作 ( 3Dデータの統合・調整、アニメーションレンダリング )
15	まとめ ( 作品発表・講評 )

#### 評価

制作作品・課題 (80%)、受講態度 (20%) など総合的に判断し、60点以上を合格とします。

アイデアスケッチ、企画書・スケジュール、作品など指定されたものが未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

【事前予習】PDFファイルを確認しておくこと。

【事後学修】PDFファイルを確認して練習課題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてPDFファイルを配布します。

科目名	住居デザイン		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目は3次元CGの応用を学んでいく科目です。今日の社会で3次元CG技術は、製造業や建築業界をはじめとしてあらゆる分野で活用され必要不可欠な技術の一つとなっています。

身近な「家」をテーマに外観や間取り、内装や家具の配置、さらに照明器具の設置など1軒の家をコンピュータの中で作り上げていきます。この過程の中で、3DCG画像の作成と加工、編集等についての応用を学んでいきます。また、単に画像の作成だけではなく、考えながら3D画像を作り上げることの重要性を修得することが学修目標となります。

内容	
1	家づくりの基本操作
2	間取りを考える ( 1 )
3	間取りを考える ( 2 )
4	カメラ操作
5	内装の設定
6	家具の配置
7	照明器具の設置
8	屋根の作成
9	内装をアレンジ
10	外装の設定
11	レンダリング
12	インテリアとエクステリア
13	照明効果
14	作品制作 ( 1 )
15	作品制作 ( 2 )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】前回授業内容の確認
- 【事後学修】課題作成と提出

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	住居デザイン		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目は3次元CGの応用を学んでいく科目です。今日の社会で3次元CG技術は、製造業や建築業界をはじめとしてあらゆる分野で活用され必要不可欠な技術の一つとなっています。

身近な「家」をテーマに外観や間取り、内装や家具の配置、さらに照明器具の設置など1軒の家をコンピュータの中で作り上げていきます。この過程の中で、3DCG画像の作成と加工、編集等についての応用を学んでいきます。また、単に画像の作成だけではなく、考えながら3D画像を作り上げることの重要性を修得することが学修目標となります。

内容	
1	家づくりの基本操作
2	間取りを考える ( 1 )
3	間取りを考える ( 2 )
4	カメラ操作
5	内装の設定
6	家具の配置
7	照明器具の設置
8	屋根の作成
9	内装をアレンジ
10	外装の設定
11	レンダリング
12	インテリアとエクステリア
13	照明効果
14	作品制作 ( 1 )
15	作品制作 ( 2 )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】 前回授業内容の確認
- 【事後学修】 課題作成と提出

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。



科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

#### 内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 ( テーブルの作成 )
4	Access によるデータベースの作成演習 ( 複数テーブルの作成 )
5	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
6	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
7	Access によるデータベースの作成演習 ( フォーム、レポートの作成 )
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 ( 和演算、差演算、積演算、商演算 )
10	リレーショナル代数 ( 選択演算、射影演算、結合演算 )
11	DBMS ( 正規化 )
12	DBMS ( 整合性 )
13	DBMS ( 排他制御 )
14	DBMS ( 障害回復 )
15	まとめ

#### 評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 ( 40点 ) と総合課題 ( 30点 ) とテストまたはレポート ( 30点 ) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2013基礎 FOM出版

科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

#### 内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 ( テーブルの作成 )
4	Access によるデータベースの作成演習 ( 複数テーブルの作成 )
5	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
6	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
7	Access によるデータベースの作成演習 ( フォーム、レポートの作成 )
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 ( 和演算、差演算、積演算、商演算 )
10	リレーショナル代数 ( 選択演算、射影演算、結合演算 )
11	DBMS ( 正規化 )
12	DBMS ( 整合性 )
13	DBMS ( 排他制御 )
14	DBMS ( 障害回復 )
15	まとめ

#### 評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 ( 40点 ) と総合課題 ( 30点 ) とテストまたはレポート ( 30点 ) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2013基礎 FOM出版

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

前期に学んだデータベース入門に続く授業であり、データベースに関する一連の授業でネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

情報システムを構成する主要な技術にデータベース管理システムがある。この授業では、実際にデータベースにデータを入力したり、検索したりするためのデータベースプログラミングについて実習を中心に行う。

データベース管理にはSQLという言語を利用し、SQLの学習とともに、ネットワークを介したデータベースについての操作についても学ぶ。

SQL言語を通して、データベースプログラミングの基礎を理解する。

#### 内容

1	データベースとは
2	リレーショナルデータベースの復習
3	リレーショナルデータベースとSQL言語の基礎
4	クエリーの基本操作
5	いろいろな関数 1
6	いろいろな関数 2
7	テーブル作成の基本操作
8	まとめ 1 応用課題
9	複雑なクエリーの操作 1
10	複雑なクエリーの操作 2
11	データを守る仕組み 1
12	データを守る仕組み 2
13	応用課題
14	応用課題
15	まとめ 2

#### 評価

毎回の授業の課題 50% とまとめの課題 50% で評価し、60% 以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題はなに七日把握しておく

【事後学修】毎回出される課題を仕上げるとともに、新しく出てきた項目についてどこを見ればわかるか把握しておく。応用課題を行うときに、自分で教科書を見ながら行えるようにしておく。応用課題をしているときに、授業で行ってきたことが身につくようになる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

データベースがみるみるわかる9つの扉 SQLの絵本 （株）アネク著 SHOEISHA

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

前期に学んだデータベース入門に続く授業であり、データベースに関する一連の授業でネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

情報システムを構成する主要な技術にデータベース管理システムがある。この授業では、実際にデータベースにデータを入力したり、検索したりするためのデータベースプログラミングについて実習を中心に行う。

データベース管理にはSQLという言語を利用し、SQLの学習とともに、ネットワークを介したデータベースについての操作についても学ぶ。

SQL言語を通して、データベースプログラミングの基礎を理解する。

#### 内容

1	データベースとは
2	リレーショナルデータベースの復習
3	リレーショナルデータベースとSQL言語の基礎
4	クエリーの基本操作
5	いろいろな関数 1
6	いろいろな関数 2
7	テーブル作成の基本操作
8	まとめ 1 応用課題
9	複雑なクエリーの操作 1
10	複雑なクエリーの操作 2
11	データを守る仕組み 1
12	データを守る仕組み 2
13	応用課題
14	応用課題
15	まとめ 2

#### 評価

毎回の授業の課題 50% とまとめの課題 50% で評価し、60% 以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題はなに七日把握しておく

【事後学修】毎回出される課題を仕上げるとともに、新しく出てきた項目についてどこを見ればわかるか把握しておく。応用課題を行うときに、自分で教科書を見ながら行えるようにしておく。応用課題をしているときに、授業で行ってきたことが身につくようになる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

データベースがみるみるわかる9つの扉 SQLの絵本 （株）アネク著 SHOEISHA



科目名	ネットワーク基礎		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットの基盤技術であるTCP/IPネットワークに関する入門である。ネットワークにコンピュータを接続して通信を行うときに使われる技術を中心に学ぶ。3年前期開講の「ネットワーク設定」の前提となる知識を学ぶ。

インターネットの接続技術を中心に学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ の「インターネットの仕組みと関連技術」「インターネット接続の設定とトラブル対処」「Webブラウザとメールクライアントの設定と使いこなし」に相当する内容と難易度である。

授業の内容を理解するとともに、理解を助けるために授業時間内および時間外に行う形式の問題を解くことにより、単位修得可能な知識を身につけることができる。

#### 内容

第1回：インターネットの基礎知識

第2回：通信ケーブルを流れる電気信号

第3回：データをかたまりにして運ぶ仕組み ( パケット通信 )

第4回：通信したい相手を探すARP, ネットワーク層のIP

第5回：IPアドレスとIPの働き ( 1 )

第6回：IPアドレスとIPの働き ( 2 )

第7回：通信データをアプリケーションソフトに届けるための仕組み ( TCP )

第8回：アプリケーション関連技術 ( 1 )

第9回：アプリケーション関連技術 ( 2 )

第10回：アプリケーション関連技術 ( 3 )

第11回：インターネット接続の技術 ( 1 )

第12回：インターネット接続の技術 ( 2 )

第13回：インターネット利用におけるトラブルと対策事例

第14回：無線LAN

第15回：まとめ

#### 評価

中間試験40%、期末試験60%で評価する。合格点は60点以上である。わずかな点数不足で合格点に満たない場合には、再試験を行うことがある。

#### 授業外学習

【事前予習】推薦書やインターネット等を利用して、予習を行う。

【事後学修】授業内容の復習を行う。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書:使用しない.

推薦書:

「インターネット検定ドットコムマスター アドバンス公式テキスト」, NTTコミュニケーションズ . 3400円 (税別) .

金城俊哉著, 「世界でいちばん簡単なネットワークのe本」, 秀和システム . 定価1,300円 (税別) .

竹下隆史, 村山公保, 荒井透, 苅田幸雄著, 「マスタリングTCP/IP入門編第5版」, オーム社 . 2,200円 (税別) .

科目名	インターネットとセキュリティ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだインターネットにおける情報セキュリティについて学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ のシラバスのうち「セキュリティ」, 「サービスの利用と法律に関する知識」をカバーする。2年前期の「ネットワーク基礎」を受講済みであることが望ましい。

情報セキュリティの3つの要素, すなわち, 脅威, 脅威に対抗するための基盤技術である暗号技術と公開鍵暗号基盤, 脅威からネットワークや通信を守るための対策技術について学ぶ。

次の内容を理解することにより試験に合格し, 単位修得が可能となる。

- ・情報セキュリティの考え方
- ・脅威の種類と内容
- ・暗号技術と使い方
- ・セキュリティ対策技術
- ・セキュリティに関する標準化動向と法律

#### 内容

- 第1回: セキュリティとは何か
- 第2回: 暗号技術とPKI (1) 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式
- 第3回: 暗号技術とPKI (2) ハッシュ関数, 電子署名, PKI
- 第4回: 暗号技術とPKI (3) セキュリティプロトコル
- 第5回: PC利用時の脅威とその対策
- 第6回: LAN利用時の脅威とその対策
- 第7回: インターネット利用時の脅威とその対策 (1)
- 第8回: インターネット利用時の脅威とその対策 (2)
- 第9回: インターネット利用時の脅威とその対策 (3)
- 第10回: インターネット上のサービス
- 第11回: 情報交換や発信に関する知識
- 第12回: インターネット利用に関するマナー
- 第13回: インターネットに関する知識と法律 (1)
- 第14回: インターネットに関する知識と法律 (2)
- 第15回: まとめ

#### 評価

中間試験40%, 期末試験60%の割合で評価する。60点以上を合格とする。わずかな点数不足で合格点に満たない場合には, 再試験を行うことがある。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の予習を行う。

【事後学修】教科書の復習を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 教科書

インターネット検定ドットコムマスタ アドバンス 公式テキスト NTTコミュニケーションズ 税抜3400円

### 推薦書

相戸浩志著「図解入門 よくわかる 最新 情報セキュリティの基本と仕組み [第3版]」秀和システム。

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットにパソコンを接続して、利用する技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

#### 内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておく、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットにパソコンを接続して、利用する技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学んだ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

#### 内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておくこと、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	サーバ設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、代表的なオペレーティングシステムの一つであるLinux (UNIX系OS) について、その機能・操作方法を学ぶ。さらに、応用としてLinux上でのサーバ設定技術を学ぶ。Linuxの操作は、ほとんどすべてがテキストによるコマンド操作である。サーバ設定は、一般利用者が行うことは前提としておらず、マウスとウィンドウ操作で可能なことは少ない。将来ソフトウェア開発に携わる場合、サーバとして使われることが多いLinuxを操作できることは役に立つであろう。

#### 科目の概要

Linuxの特徴、ディレクトリ・ファイル操作等の基本コマンド、便利な機能、もっとも身近でよく利用されているWebサーバ、メールサーバの構築を行う。

#### 学修目標

演習を通して、コマンドによる基本操作、サーバ構築の基本概念を理解できるようになることを目指す。

内容	
1	UNIX (Linux) の概要, ディレクトリ構造, MS-DOSコマンド
2	ログイン・ログアウト, パスワード設定, ユーザ・グループ管理
3	ディレクトリ・ファイルの操作
4	アクセス権
5	viエディタによるファイルの編集
6	ファイルの内容表示
7	リダイレクト・パイプ処理, テキストの並べ替え・検索
8	コマンドの履歴, エイリアス
9	Linuxにおけるネットワーク管理
10	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
11	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
12	Webサーバ構築(1)
13	Webサーバ構築(2)
14	メールサーバ構築(1)
15	メールサーバ構築(2)

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、全課題の平均点が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前の回までに学んだコマンド等を自分で使えるようにする。

【事後学修】コマンドやサーバ構築法について、応用することができるようにする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使わない。



科目名	サーバ設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、代表的なオペレーティングシステムの一つであるLinux ( UNIX系OS ) について、その機能・操作方法を学ぶ。さらに、応用としてLinux上でのサーバ設定技術を学ぶ。Linuxの操作は、ほとんどすべてがテキストによるコマンド操作である。サーバ設定は、一般利用者が行うことは前提としておらず、マウスとウィンドウ操作で可能なことは少ない。将来ソフトウェア開発に携わる場合、サーバとして使われることが多いLinuxを操作できることは役に立つであろう。

#### 科目の概要

Linuxの特徴、ディレクトリ・ファイル操作等の基本コマンド、便利な機能、もっとも身近でよく利用されているWebサーバ、メールサーバの構築を行う。

#### 学修目標

演習を通して、コマンドによる基本操作、サーバ構築の基本概念を理解できるようになることを目指す。

内容	
1	UNIX ( Linux ) の概要、ディレクトリ構造、MS-DOSコマンド
2	ログイン・ログアウト、パスワード設定、ユーザ・グループ管理
3	ディレクトリ・ファイルの操作
4	アクセス権
5	viエディタによるファイルの編集
6	ファイルの内容表示
7	リダイレクト・パイプ処理、テキストの並べ替え・検索
8	コマンドの履歴、エイリアス
9	Linuxにおけるネットワーク管理
10	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
11	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ構築(1)
12	Webサーバ構築(1)
13	Webサーバ構築(2)
14	メールサーバ構築(1)
15	メールサーバ構築(2)

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、全課題の平均点が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前の回までに学んだコマンド等を自分で使えるようにする。

【事後学修】コマンドやサーバ構築法について、応用することができるようにする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使わない。

科目名	ソフトウェア基礎		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータを理解するうえで、ハードウェアとソフトウェアの両方を理解することが重要となる。特にソフトウェアは、一般的なアプリケーションソフトだけではなく、オペレーティングシステムや更には、操作手順までを含めた範囲の広いものである。本科目では、コンピュータの働きをソフトウェアの観点から学習する。前半は基数法・論理演算など、コンピュータが情報をどのように扱うかを理解する。後半は、ソフトウェアの働きや分類、各プログラミング言語の特徴を学ぶ。また、アルゴリズムを学ぶ上での基本的なツールとなるフローチャートや基本的なアルゴリズムも紹介する。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	基数法 ( 2 進数、8 進数 )
3	基数法 ( 16 進数、n 進数 10 進数変換 )
4	基数法 ( n 進数の小数 )
5	基数法 ( 10 進数 n 進数変換、2・8・16 進数相互変換 )
6	補数 ( 基数の補数、減基数の補数 )
7	補数を含めた演算、ビットシフト
8	浮動小数点、文字コード
9	論理演算 ( 基本演算、M I L 記号、論理式 )
10	論理演算 ( 半加算器、全加算器 )
11	ソフトウェアの分類 ・ プログラム言語
12	データ構造
13	アルゴリズム ( 検索 ・ 整列 )
14	フローチャート、トレース
15	まとめ

#### 評価

期末テスト60点 小テストを含む課題点20点 平常点 ( 宿題、ノートチェック等を含む ) 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】パワーポイントの次回授業部分を見ておく。

【事後学修】毎回行うMoodle小テストで正解できなかった問題を復習し、次週までに自分で再度Moodle小テストを受ける。毎回授業開始時に宿題をチェックし、指名した学生に板書してもらうので、宿題をやってくる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名 ・ 書名 ・ 出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	ソフトウェア基礎		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータを理解するうえで、ハードウェアとソフトウェアの両方を理解することが重要となる。特にソフトウェアは、一般的なアプリケーションソフトだけではなく、オペレーティングシステムや更には、操作手順までを含めた範囲の広いものである。本科目では、コンピュータの働きをソフトウェアの観点から学習する。前半は基数法・論理演算など、コンピュータが情報をどのように扱うかを理解する。後半は、ソフトウェアの働きや分類、各プログラミング言語の特徴を学ぶ。また、アルゴリズムを学ぶ上での基本的なツールとなるフローチャートや基本的なアルゴリズムも紹介する。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	基数法 ( 2 進数、8 進数 )
3	基数法 ( 1 6 進数、n 進数 1 0 進数変換 )
4	基数法 ( n 進数の小数 )
5	基数法 ( 1 0 進数 n 進数変換、2・8・1 6 進数相互変換 )
6	補数 ( 基数の補数、減基数の補数 )
7	補数を含めた演算、ビットシフト
8	浮動小数点、文字コード
9	論理演算 ( 基本演算、M I L 記号、論理式 )
10	論理演算 ( 半加算器、全加算器 )
11	ソフトウェアの分類 ・ プログラム言語
12	データ構造
13	アルゴリズム ( 検索・整列 )
14	フローチャート、トレース
15	まとめ

#### 評価

期末テスト60点 小テストを含む課題点20点 平常点 ( 宿題、ノートチェック等を含む ) 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】パワーポイントの次回授業部分を見ておく。

【事後学修】毎回行うMoodle小テストで正解できなかった問題を復習し、次週までに自分で再度Moodle小テストを受ける。毎回授業開始時に宿題をチェックし、指名した学生に板書してもらうので、宿題をやってくる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

オリエンテーション時に指示する。

科目名	ハードウェア基礎		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータのハードウェアと多様な周辺装置の基礎的知識を学ぶことにより、今後のコンピュータ 学習への基礎的な能力の育成します。

これからの社会生活に必要な不可欠なコンピュータの基礎的な仕組みを知り、自分の目的に合ったコン ピュータ活用ができるようにしていきます。

1. コンピュータの基本的な構成要素を理解する。
2. コンピュータ動作の原理を理解する。
3. 主要な装置と周辺機器のしくみを理解する。
4. 自分の手でコンピュータを組み立て、ハードウェアの実際を体験する。

#### 内容

1	コンピュータの概要とハードウェア
2	コンピュータ発展の歴史
3	コンピュータ各部の名称と働き
4	C P U 1 ( 動作原理、クロック、命令の流れ )
5	C P U 2 ( 高速化技術、パイプラインとスーパースケラ )
6	メモリ 1 ( メモリの種類 )
7	メモリ 2 ( メモリの特徴 )
8	入力装置 ( キーボード、マウス等 )
9	補助記憶装置 1 ( ハードディスク、フロッピーディスクの動作 )
10	補助記憶装置 2 ( C D - R O M、M O )
11	補助記憶装置 3 ( U S Bメモリ等 )
12	出力装置 1 ( C R Tディスプレイ、液晶ディスプレイ )
13	出力装置 2 ( カラープリンタ、ページプリンタ等 )
14	パーソナルコンピュータの組み立て実習
15	まとめ

#### 評価

授業での小テスト ( 30% ) と筆記試験 ( 70% ) により得点化を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

科目名	ハードウェア基礎		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータのハードウェアと多様な周辺装置の基礎的知識を学ぶことにより、今後のコンピュータ 学習への基礎的な能力の育成します。

これからの社会生活に必要な不可欠なコンピュータの基礎的な仕組みを知り、自分の目的に合ったコン ピュータ活用ができるようにしていきます。

1. コンピュータの基本的な構成要素を理解する。
2. コンピュータ動作の原理を理解する。
3. 主要な装置と周辺機器のしくみを理解する。
4. 自分の手でコンピュータを組み立て、ハードウェアの実際を体験する。

内容	
1	コンピュータの概要とハードウェア
2	コンピュータ発展の歴史
3	コンピュータ各部の名称と働き
4	C P U 1 ( 動作原理、クロック、命令の流れ )
5	C P U 2 ( 高速化技術、パイプラインとスーパースケラ )
6	メモリ 1 ( メモリの種類 )
7	メモリ 2 ( メモリの特徴 )
8	入力装置 ( キーボード、マウス等 )
9	補助記憶装置 1 ( ハードディスク、フロッピーディスクの動作 )
10	補助記憶装置 2 ( C D - R O M、M O )
11	補助記憶装置 3 ( U S Bメモリ等 )
12	出力装置 1 ( C R Tディスプレイ、液晶ディスプレイ )
13	出力装置 2 ( カラープリンタ、ページプリンタ等 )
14	パーソナルコンピュータの組み立て実習
15	まとめ

#### 評価

授業での小テスト ( 30% ) と筆記試験 ( 70% ) により得点化を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。



科目名	情報数学		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目では、情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学や効率化手法の基礎について学ぶ。

#### 科目の概要

コンピュータの仕組みを理解し効率的に活用する上で役立つ、オペレーションズリサーチの手法や基数法、基数変換、集合、ブール代数、論理演算、論理回路等について学び、問題演習を通してその定着を図る。

#### 学修目標(=到達目標)

配布するプリントには講義内容を理解するための[例題]、理解度を確認するための[練習問題]、理解を深め応用力を養う[自習問題]の3種類の問題を用意している。講義を聞くだけでなくこれらの問題を実際に解くことにより、理解を深めることを目指す。

内容	
1	位取りと係数、基数変換(10進数 n進数)
2	基数変換(2進数 8進数 16進数)
3	基数変換のまとめ
4	集合
5	場合の数・順列・組合せ
6	演習
7	ブール代数
8	カルノー図
9	論理回路
10	日程計画問題とPERT(1)
11	日程計画問題とPERT(2)
12	マルチプログラミングとガントチャート
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を評価として採用する。60点に満たない受講者には再試験を実施する。

- ・演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・総合演習 : 100%

## 授業外学習

【事前予習】ソフトウェア基礎等で取り上げられた関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるために自習問題を解く。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

### 【参考図書】

・柳沢滋 『PERTのはなし』 日科技連出版社

科目名	情報数学		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学や効率化手法の基礎について学ぶ。

#### 科目の概要

コンピュータの仕組みを理解し効率的に活用する上で役立つ、オペレーションズリサーチの手法や基数法、基数変換、集合、ブール代数、論理演算、論理回路等について学び、問題演習を通してその定着を図る。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

配布するプリントには講義内容を理解するための[例題]、理解度を確認するための[練習問題]、理解を深め応用力を養う[自習問題]の3種類の問題を用意している。講義を聞くだけでなくこれらの問題を実際に解くことにより、理解を深めることを目指す。

内容	
1	位取りと係数、基数変換(10進数 n進数)
2	基数変換(2進数 8進数 16進数)
3	基数変換のまとめ
4	集合
5	場合の数・順列・組合せ
6	演習
7	ブール代数
8	カルノー図
9	論理回路
10	日程計画問題とPERT(1)
11	日程計画問題とPERT(2)
12	マルチプログラミングとガントチャート
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を評価として採用する。60点に満たない受講者には再試験を実施する。

- ・演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・総合演習 : 100%

## 授業外学習

【事前予習】ソフトウェア基礎等で取り上げられた関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるために自習問題を解く。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

### 【参考図書】

・柳沢滋 『PERTのはなし』 日科技連出版社

科目名	システム設計入門		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

プログラミング作業はシステムの開発の一部にすぎない。プログラミングの前には、要求分析、システム設計、プログラム設計の作業があり、さらに、プログラミングの後には、テストの作業がある。本科目では、システム開発の各作業について基礎的知識を習得する。

#### 科目の概要

まず、実際に使われているソフトウェアシステムにはどのようなシステムがあるかについて学ぶ。次に、そのシステムを開発するために、要求分析 (どのような機能をシステムは持つべきか)、システム設計 (システムの使い方をどうするのか)、プログラム設計 (システムを実現するのはプログラムの構造はどうすべきか)、プログラミング (どのようにプログラムを作成するのか)、テスト (意図通り動作しているかをどのように検証するのか)、について、どのような作業が必要で、どのような技法があり、成果物としてどのようなドキュメントを作成するのかについて学ぶ。最後に、チームで開発するためのプロジェクト管理、プロセス開発の手順について学ぶ。

#### 学修目標

システム開発をうまく行うにはどのように作業をし、どのような成果物を作成するかを理解する。

よいプログラムの書き方について学ぶ。

ITパスポート試験のマネジメント系分野について、合格レベルの知識を習得する。

内容	
1	システム設計とは (どのような手順でシステムを開発するか)
2	システムの種類 (どのようなシステムが世の中に使われているか)
3	システム化計画 (システム化の意義、運用形態、活用形態、開発形態)
4	システム企画演習 (システム化のアイデアを出すには)
5	要件定義プロセス (業務を分析し、システム化の狙い・機能を決めるには)
6	開発プロセス (開発するに必要な作業は何か、その作業の順序は)
7	プロセス中心構造化設計 (処理の手順を分かりやすくするには)
8	データ中心構造化設計 (データの流れを中心にシステムを階層構造に分割するには)
9	オブジェクト指向 (プログラムを再利用しやすい形にプログラムを部品化するには)
10	UML (オブジェクト指向設計ではどのようなドキュメントを書くのか)
11	プログラミング (どのようなプログラミング言語、ツールが使われているか)
12	テスト・保守 (プログラムのテストはどのように行われるのか)
13	プロジェクト管理 (システム開発がうまく行くようチームをまとめ、導くには)
14	まとめ 1
15	まとめ 2

評価

授業に対する取組み姿勢、理解度を評価するために、毎回、理解度テスト、小テストを実施し、また、総合的な理解度を評価する期末テストを実施する。理解度テスト(20点)、小テスト(20点)、期末テスト(60点)にて評価し、その合計点が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】各回配布する資料(パワーポイント)を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回授業内容の理解確認をする小テスト(E-learning)にて80点以上になるまで繰り返し学習すること

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各回、学習内容を資料(パワーポイント)にて説明する。

理解度テスト、小テストは、ITパスポート、基本情報技術者試験の過去問題をE-Learningで出題する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する。

科目名	システム設計入門		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

プログラミング作業はシステムの開発の一部にすぎない。プログラミングの前には、要求分析、システム設計、プログラム設計の作業があり、さらに、プログラミングの後には、テストの作業がある。本科目では、システム開発の各作業について基礎的知識を習得する。

#### 科目の概要

まず、実際に使われているソフトウェアシステムにはどのようなシステムがあるかについて学ぶ。次に、そのシステムを開発するために、要求分析 (どのような機能をシステムは持つべきか)、システム設計 (システムの使い方をどうするのか)、プログラム設計 (システムを実現するのはプログラムの構造はどうすべきか)、プログラミング (どのようにプログラムを作成するのか)、テスト (意図通り動作しているかをどのように検証するのか)、について、どのような作業が必要で、どのような技法があり、成果物としてどのようなドキュメントを作成するのかについて学ぶ。最後に、チームで開発するためのプロジェクト管理、プロセス開発の手順について学ぶ。

#### 学修目標

システム開発をうまく行うにはどのように作業をし、どのような成果物を作成するかを理解する。

よいプログラムの書き方について学ぶ。

ITパスポート試験のマネジメント系分野について、合格レベルの知識を習得する。

内容	
1	システム設計とは (どのような手順でシステムを開発するか)
2	システムの種類 (どのようなシステムが世の中に使われているか)
3	システム化計画 (システム化の意義、運用形態、活用形態、開発形態)
4	システム企画演習 (システム化のアイデアを出すには)
5	要件定義プロセス (業務を分析し、システム化の狙い・機能を決めるには)
6	開発プロセス (開発するに必要な作業は何か、その作業の順序は)
7	プロセス中心構造化設計 (処理の手順を分かりやすくするには)
8	データ中心構造化設計 (データの流れを中心にシステムを階層構造に分割するには)
9	オブジェクト指向 (プログラムを再利用しやすい形にプログラムを部品化するには)
10	UML (オブジェクト指向設計ではどのようなドキュメントを書くのか)
11	プログラミング (どのようなプログラミング言語、ツールが使われているか)
12	テスト・保守 (プログラムのテストはどのように行われるのか)
13	プロジェクト管理 (システム開発がうまく行くようチームをまとめ、導くには)
14	まとめ 1
15	まとめ 2

授業に対する取組み姿勢、理解度を評価するために、毎回、理解度テスト、小テストを実施し、また、総合的な理解度を評価する期末テストを実施する。理解度テスト(20点)、小テスト(20点)、期末テスト(60点)にて評価し、その合計点が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】各回配布する資料(パワーポイント)を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回授業内容の理解確認をする小テスト(E-learning)にて80点以上になるまで繰り返し学習すること

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各回、学習内容を資料(パワーポイント)にて説明する。

理解度テスト、小テストは、ITパスポート、基本情報技術者試験の過去問題をE-Learningで出題する。

参考図書は、必要に応じて随時教室で紹介する。



科目名	システム設計基礎		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

システム設計・開発の上流工程にあたるシステム企画、要求分析、システム設計、プログラム設計において、どのような方法・技法でどのような作業を行い、どのようなアウトプット (ドキュメント) を作成するかについて、実践的な演習を通じて学ぶ。

#### 科目の概要

現在、システム設計・開発手法の主流はオブジェクト指向設計である。そして、そのオブジェクト指向設計に基づくドキュメントとして UML が用いられている。この UML の書き方、および書くための考え方、技法を学ぶ。

そして、実践的なシステムとして図書館システムを取り上げ、UML を用いて、要求分析からシステム設計、プログラム設計、プログラミングまでを行い完成させる。

また、(株) 蓼科情報との産学連携授業でアンドロイドアプリのシステム企画を体験する。

#### 学修目標

プログラミングの前段階のシステム企画から設計までの作業を体験し、システムの企画から始めて完成させるまでにどのような考え方・技法で作業を行い、どのようなドキュメントを作成するか習得する。

内容	
1	システム設計基礎で何を学ぶか. オブジェクト指向の復習 1 クラス
2	オブジェクト指向の復習 2 継承・多態性
3	UML 1 クラス図 クラス
4	UML 2 クラス図 多重度
5	UML 3 クラス図 関係
6	UML 4 クラス図 関連クラス
7	システム企画実践 1 テーマ説明
8	システム企画実践 2 企画アイデアの発想
9	システム企画実践 3 企画書作成
10	システム企画実践 4 企画発表
11	UML 5 図書館システム 1 (アクティビティ図 ユースケース図)
12	UML 6 図書館システム 2 (システム記述)
13	UML 7 図書館システム 3 (クラス図)
14	UML 8 図書館システム 4 (シーケンス図)
15	UML 9 図書館システム 5 (プログラミング)

#### 評価

各回に出題する演習課題の解答内容から、課題に対する取組み姿勢を 100 点満点で評価し、その平均点が 60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各回配布する資料（パワーポイント）を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回の演習課題を完成させ、次回の授業前までに提出すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料（パワーポイント）にて、学習内容、演習課題の説明を行う。

参考図書は、必要に応じて紹介する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

内容	
1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

#### 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】 毎回授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうので復習して作成できるようにしておく。
- 【事後学修】 毎回出題するプログラミング課題を次週までに提出する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書 著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	名兎耶 厚		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。

授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

#### 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】毎回授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうので復習して作成できるようにしておく。

【事後学修】毎回出題するプログラミング課題を次週までに提出する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書 著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。

授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

内容	
1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

## 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】毎回授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうので復習して作成できるようにしておく。

【事後学修】毎回出題するプログラミング課題を次週までに提出する。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書 著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目であり、プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎ともなる。概要は、Javaの基本構文について学ぶとともに、プログラム開発の一般的な過程 - 設計・コーディング・テスト・デバッグ - を実際に体験し、基本的なアルゴリズムを理解する。授業では、毎回内容説明の後、課題を出すので、期日までに課題提出をしていく。

内容	
1	オリエンテーション
2	プログラミング環境設定・理解
3	プログラミング環境使用詳細・理解
4	変数と計算
5	条件分岐構文 ( if文 )
6	条件分岐構文 ( 複数条件 )
7	条件分岐構文応用 ( 入れ子 )
8	応用課題
9	配列
10	繰り返し構文 ( for文 )
11	繰り返し構文と配列
12	繰り返し構文 ( while文 )
13	その他の繰り返し構文
14	繰り返し構文応用課題
15	まとめ応用課題

#### 評価

課題点 80点 平常点 20点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】 毎回授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうので復習して作成できるようにしておく。
- 【事後学修】 毎回出題するプログラミング課題を次週までに提出する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書 著者：柴田 望洋 書名：明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング初級		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は2年次以降のプログラミング関連科目の基礎に位置づけられ、プログラミング入門で学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

#### 科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力を課題演習の繰り返しにより養う。

#### 学修目標

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

内容	
1	開発環境、基本構文の確認 (入出力、演算)
2	基本構文の確認 (条件分岐)
3	基本構文の確認 (反復)
4	条件分岐の多重構造
5	条件分岐と反復を組み合わせた処理
6	反復の多重構造
7	アルゴリズムとフローチャート (1)
8	アルゴリズムとフローチャート (2)
9	メソッドの基礎
10	メソッドの利用
11	いろいろなメソッド
12	メソッドの応用 (1)
13	メソッドの応用 (2)
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

各回で出題する課題 (80%) と授業への取り組み (20%) により総合的に評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】プログラミング入門で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

【テキスト】

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

【参考図書】

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ



科目名	プログラミング初級		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は2年次以降のプログラミング関連科目の基礎に位置づけられ、プログラミング入門で学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

#### 科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力を課題演習の繰り返しにより養う。

#### 学修目標

基本構文の理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を目指す。

#### 内容

1	開発環境、基本構文の確認(入出力、演算)
2	基本構文の確認(条件分岐)
3	基本構文の確認(反復)
4	条件分岐の多重構造
5	条件分岐と反復を組み合わせた処理
6	反復の多重構造
7	アルゴリズムとフローチャート(1)
8	アルゴリズムとフローチャート(2)
9	メソッドの基礎
10	メソッドの利用
11	いろいろなメソッド
12	メソッドの応用(1)
13	メソッドの応用(2)
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

各回で出題する課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】プログラミング入門で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

【テキスト】

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配布する。

【参考図書】

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ

科目名	プログラミング中級		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

プログラミング入門、初級と学んできたJava言語に引き続き、本科目では、Java言語の最大の特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方について学ぶ。オブジェクト指向について理解するには、プログラムとは何か、何を書くのかといったプログラミングの概念を理解しておく必要があり、前半は、入門、初級の復讐を兼ね、プログラミングの概念を学び、後半にオブジェクト指向について学ぶ。

#### 科目の概要

前半は、Java言語の復讐を行うが、プログラミング入門、初級でのJavaの文法を中心とした書き方ではなく、プログラムの意味、考え方について学び、分かりやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。後半は、Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラムについて、その書き方、考え方について学び、分かりやすく再利用・変更しやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。

#### 学修目標

Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方を理解し、よい ( 分かりやすく、再利用しやすく、修正が容易な ) プログラムを作成できるようになることを目指す。

#### 内容

1	プログラミング中級で何を学ぶか
2	プログラミングとは ( プログラムでは何を記述するのか )
3	疑似言語とプログラム ( プログラムの基本処理の書き方とその意味 )
4	プログラムの理解 ( プログラムに記述された内容の意味を理解する )
5	基本データ型・演算の拡張 ( 新たなデータ・演算を定義した既存プログラムの利用方法 )
6	構造化プログラミング 1 制御構造 選択 ( 条件により処理を行うか否かを記述する方法 )
7	構造化プログラミング 2 制御構造 繰り返し ( 何度も処理を繰り返すことを記述する方法 )
8	構造化プログラミング 3 段階的詳細化 ( ひとまとまりのプログラムに分割する方法 )
9	構造化プログラミング 4 データの構造化 ( 関連のあるデータをひとまとめにして扱う方法 )
10	オブジェクト指向 1 クラス ( データと処理を一体化して、プログラムを部品化する方法 )
11	オブジェクト指向 2 情報隠蔽 ( 部品化されたプログラムえを利用する方法 1 )
12	オブジェクト指向 3 部品化 ( 部品化されたプログラムを利用する方法 )
13	オブジェクト指向 4 継承 ( プログラムに変更・追加を加えて利用する方法 )
14	オブジェクト指向 5 多態性 ( テンプレートプログラムの作成、利用する方法 )
15	最終課題

#### 評価

各回毎に、授業の理解度を評価する演習課題 1 と授業内容を発展応用し積極的に課題に取り組む姿勢を評価する演習課題 2 とを実施する。各回それぞれ50点満点で評価し、その合計点 ( 100点満点 ) の平均点が60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各回配布する資料（パワーポイント）を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回の演習課題 2 を完成させ、次回の授業前までに提出すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料（パワーポイント）で学習内容、演習課題を説明する。

参考図書は、必要に応じて紹介する。

科目名	プログラミング中級		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

プログラミング入門、初級と学んできたJava言語に引き続き、本科目では、Java言語の最大の特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方について学ぶ。オブジェクト指向について理解するには、プログラムとは何か、何を書くのかといったプログラミングの概念を理解しておく必要があり、前半は、入門、初級の復習を兼ね、プログラミングの概念を学び、後半にオブジェクト指向について学ぶ。

#### 科目の概要

前半は、Java言語の復習を行うが、プログラミング入門、初級でのJavaの文法を中心とした書き方ではなく、プログラムの意味、考え方について学び、分かりやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。後半は、Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラムについて、その書き方、考え方について学び、分かりやすく再利用・変更しやすいプログラムの作成方法を、演習を通じて習得する。

#### 学修目標

Javaの特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方を理解し、よい ( 分かりやすく、再利用しやすく、修正が容易な ) プログラムを作成できるようになることを目指す。

内容	
1	プログラミング中級で何を学ぶか
2	プログラミングとは ( プログラムでは何を記述するのか )
3	疑似言語とプログラム ( プログラムの基本処理の書き方とその意味 )
4	プログラムの理解 ( プログラムに記述された内容の意味を理解する )
5	基本データ型・演算の拡張 ( 新たなデータ・演算を定義した既存プログラムの利用方法 )
6	構造化プログラミング 1 制御構造 選択 ( 条件により処理を行うか否かを記述する方法 )
7	構造化プログラミング 2 制御構造 繰り返し ( 何度も処理を繰り返すことを記述する方法 )
8	構造化プログラミング 3 段階的詳細化 ( ひとまとまりのプログラムに分割する方法 )
9	構造化プログラミング 4 データの構造化 ( 関連のあるデータをひとまとめにして扱う方法 )
10	オブジェクト指向 1 クラス ( データと処理を一体化して、プログラムを部品化する方法 )
11	オブジェクト指向 2 情報隠蔽 ( 部品化されたプログラムえを利用する方法 1 )
12	オブジェクト指向 3 部品化 ( 部品化されたプログラムを利用する方法 )
13	オブジェクト指向 4 継承 ( プログラムに変更・追加を加えて利用する方法 )
14	オブジェクト指向 5 多態性 ( テンプレートプログラムの作成、利用する方法 )
15	最終課題

#### 評価

各回毎に、授業の理解度を評価する演習課題 1 と授業内容を発展応用し積極的に課題に取り組む姿勢を評価する演習課題 2 とを実施する。各回それぞれ50点満点で評価し、その合計点 ( 100点満点 ) の平均点が60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各回配布する資料（パワーポイント）を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回の演習課題2を完成させ、次回の授業前までに提出すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回、資料（パワーポイント）で学習内容、演習課題を説明する。

参考図書は、必要に応じて紹介する。

科目名	プログラミング上級		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目では、プログラミング入門、初級、中級で学んできた内容を総合的に活用する。

#### 科目の概要

ゲームのプログラミングを通してJavaの特徴であるオブジェクト指向の概念・活用方法について理解を深めるとともに、規模の大きなプログラムを効率的に作成する力を身につける。

#### 学修目標

基本構文を駆使し、必要な処理の流れを考えてオブジェクト指向のプログラムを作成する力の修得を目指す。

内容	
1	Javaの概要と開発環境
2	基本構文の復習
3	クラスの理解とJava APIの利用(1)
4	クラスの理解とJava APIの利用(2)
5	クラスの設計(1)
6	クラスの設計(2)
7	移動パターンの設計・作成(1)
8	移動パターンの設計・作成(2)
9	大量のキャラクターの処理(1)
10	大量のキャラクターの処理(2)
11	大量のキャラクターの処理(3)
12	大量のキャラクターの処理(4)
13	効果音の追加と仕上げ(1)
14	効果音の追加と仕上げ(2)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を予習し、授業に備える。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

【テキスト】

大槻有一郎 『15歳からはじめるJAVAわくわくゲームプログラミング教室』 ラトルズ

【参考図書】

- ・高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ



科目名	プログラミング上級		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目では、プログラミング入門、初級、中級で学んできた内容を総合的に活用する。

#### 科目の概要

ゲームのプログラミングを通してJavaの特徴であるオブジェクト指向の概念・活用方法について理解を深めるとともに、規模の大きなプログラムを効率的に作成する力を身につける。

#### 学修目標

基本構文を駆使し、必要な処理の流れを考えてオブジェクト指向のプログラムを作成する力の修得を目指す。

内容	
1	Javaの概要と開発環境
2	基本構文の復習
3	クラスの理解とJava APIの利用(1)
4	クラスの理解とJava APIの利用(2)
5	クラスの設計(1)
6	クラスの設計(2)
7	移動パターンの設計・作成(1)
8	移動パターンの設計・作成(2)
9	大量のキャラクターの処理(1)
10	大量のキャラクターの処理(2)
11	大量のキャラクターの処理(3)
12	大量のキャラクターの処理(4)
13	効果音の追加と仕上げ(1)
14	効果音の追加と仕上げ(2)
15	まとめ

#### 評価

提出された課題(80%)と授業への取り組み(20%)により総合的に評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を予習し、授業に備える。

【事後学修】授業で説明した内容を復習するとともに、毎回出題する課題を期限までに提出する。

【テキスト】

大槻有一郎 『15歳からはじめるJAVAわくわくゲームプログラミング教室』 ラトルズ

【参考図書】

- ・ 高橋麻奈 『やさしいJava 第4版』 ソフトバンククリエイティブ
- ・ 柴田望洋 『明解Java 入門編』 ソフトバンククリエイティブ
- ・ 柴田望洋 『明解Javaによるアルゴリズムとデータ構造』 ソフトバンククリエイティブ

科目名	ゲームプログラミング		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

近年 AndroidOSはスマートフォン、タブレット、テレビや自動車などにも採用され、様々な分野に広がっています。この Androidではプログラミング言語としてJavaが使われており、開発環境としてはEclipseを使用します。そこで、Javaプログラミングの学習の一環として、AndroidOS上で動くゲームプログラムをJavaで作成していきます。開発環境は、プログラミング入門以降使用しているEclipseを利用します。ゲームを題材として大きなプログラムの作成を体験し、プログラミング能力の更なる向上を目的とします。また同時に AndroidOSや携帯端末で利用可能なハードウェアの知識も学びます。履修条件としては、プログラミング入門、初級、中級、上級を履修していることが望ましい。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	Androidの基礎知識
3	開発環境の構築
4	背景の設定
5	ゲームの基本クラスを設定
6	ジョイスティックの表示
7	プレイヤー機の動きを変える
8	敵の表示
9	攻撃ボタンの追加
10	弾の発射
11	敵の攻撃
12	タイトル画面の作成
13	ステージ2の作成
14	サウンドの追加
15	まとめ

#### 評価

平常点30点、課題点70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の次回授業部分を読んでおく。

【事後学修】授業中に紹介した機能等をさらに調べる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	ゲームプログラミング		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

近年 AndroidOSはスマートフォン、タブレット、テレビや自動車などにも採用され、様々な分野に広がっています。この Androidではプログラミング言語としてJavaが使われており、開発環境としてはEclipseを使用します。そこで、Javaプログラミングの学習の一環として、AndroidOS上で動くゲームプログラムをJavaで作成していきます。開発環境は、プログラミング入門以降使用しているEclipseを利用します。ゲームを題材として大きなプログラムの作成を体験し、プログラミング能力の更なる向上を目的とします。また同時に AndroidOSや携帯端末で利用可能なハードウェアの知識も学びます。履修条件としては、プログラミング入門、初級、中級、上級を履修していることが望ましい。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	Androidの基礎知識
3	開発環境の構築
4	背景の設定
5	ゲームの基本クラスを設定
6	ジョイスティックの表示
7	プレイヤー機の動きを変える
8	敵の表示
9	攻撃ボタンの追加
10	弾の発射
11	敵の攻撃
12	タイトル画面の作成
13	ステージ2の作成
14	サウンドの追加
15	まとめ

#### 評価

平常点30点、課題点70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の次回授業部分を読んでおく。

【事後学修】授業中に紹介した機能等をさらに調べる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	Webアプリケーション		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

インターネットの普及により、アプリケーションプログラムの実行形態は、Web ブラウザからサーバサイドのプログラムを起動し、その結果をWeb ブラウザに返すサーバサイドプログラムというWeb ベースのアプリケーションが主流になってきている。本科目では、サーバサイドプログラムの開発で最も使われているサーブレット・JSPを用いて、サーバサイドプログラムを構築する基礎技術を習得することを狙いとする。

科目の概要

サーブレット・JSPについて、「Hello」と表示するだけの簡単なプログラムの作成からはじまり、Javaの復習をしながら、条件分岐・繰り返しのあるプログラム、テーブルを表示するプログラム、データ入力を扱うプログラム、画面遷移・データの受け渡しを行うプログラムの作成へと進み、サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を学ぶ。

学修目標

サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を理解し、簡単なサーブレット・JSPプログラムが作成できるようにする。

内容

1	サーバサイドプログラミングとは
2	開発環境の準備とはじめてのサーブレット
3	日本語HTMLを表示するサーブレット
4	入力処理をするサーブレット
5	他のクラスを利用するサーブレット
6	はじめてのJSP
7	テーブルを表示するJSP
8	様々な入力フォーム
9	入力チェック
10	画面遷移
11	データの受け渡し リクエストスコープ
12	データの受け渡し セッションスコープ
13	データの受け渡し アプリケーションスコープ
14	最終演習課題
15	まとめ

評価

各回毎に、授業の理解度を評価する演習課題 1 と授業内容を発展応用し積極的に課題に取り組む姿勢を評価する演習課題 2 とを実施する。各回それぞれ50点満点で評価し、その合計点 ( 100点満点 ) の平均点が60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各回配布する資料（パワーポイント）を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回の演習課題 2 を完成させ、次回の授業前までに提出すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】 宮本信二著「基礎からのサーバレット/JSP」 SoftBankCreative

必要に応じて、他の参考図書を紹介したり、資料（パワーポイント）にて説明する。

科目名	Webアプリケーション		
担当教員名	牧村 信之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターネットの普及により、アプリケーションプログラムの実行形態は、Web ブラウザからサーバサイドのプログラムを起動し、その結果をWeb ブラウザに返すサーバサイドプログラムというWeb ベースのアプリケーションが主流になってきている。本科目では、サーバサイドプログラムの開発で最も使われているサーブレット・JSPを用いて、サーバサイドプログラムを構築する基礎技術を習得することを狙いとする。

##### 科目の概要

サーブレット・JSPについて、「Hello」と表示するだけの簡単なプログラムの作成からはじまり、Javaの復習をしながら、条件分岐・繰り返しのあるプログラム、テーブルを表示するプログラム、データ入力を扱うプログラム、画面遷移・データの受け渡しを行うプログラムの作成へと進み、サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を学ぶ。

##### 学修目標

サーブレット・JSPプログラム作成の基礎を理解し、簡単なサーブレット・JSPプログラムが作成できるようにする。

#### 内容

1	サーバサイドプログラミングとは
2	開発環境の準備とはじめてのサーブレット
3	日本語HTMLを表示するサーブレット
4	入力処理をするサーブレット
5	他のクラスを利用するサーブレット
6	はじめてのJSP
7	テーブルを表示するJSP
8	様々な入力フォーム
9	入力チェック
10	画面遷移
11	データの受け渡し リクエストスコープ
12	データの受け渡し セッションスコープ
13	データの受け渡し アプリケーションスコープ
14	最終演習課題
15	まとめ

#### 評価

各回毎に、授業の理解度を評価する演習課題 1 と授業内容を発展応用し積極的に課題に取り組む姿勢を評価する演習課題 2 とを実施する。各回それぞれ50点満点で評価し、その合計点 ( 100点満点 ) の平均点が60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各回配布する資料（パワーポイント）を事前に読み、予め、学習内容を理解しておくこと

【事後学修】各回の演習課題 2 を完成させ、次回の授業前までに提出すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】 宮本信二著「基礎からのサーバレット/JSP」 SoftBankCreative

必要に応じて、他の参考図書を紹介したり、資料（パワーポイント）にて説明する。



科目名	生活情報総合講義		
担当教員名	泉 直子、中尾 茂子、亀田 温子、栗原 隆史 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 生活情報学科では2年生の後半よりプレゼミが始まる。プレゼミは3年生の演習、4年生の卒業研究に繋がる大切な科目となっている。また、本学科の教育・研究分野は広範囲に渡り、将来進む方向もさまざまである。所属するゼミで取り扱う内容もさまざまである。ゼミ選択をする際には、学科全体で何をしているかを理解し、将来どのような方向があるかを見極めたいうえで、興味・関心があり、自分の進みたい分野を十分に考え所属する分野を決めていく必要がある。

科目の概要 本科目の15回中7回はゼミを開講する生活情報学科所属の教員がゼミの内容について1コマ2人でオムニバス方式で講義していき、ゼミ選択のために必要な情報を提供していく。

また残りの7回は前半3回、後半4回に分け、就職活動の前準備として、自己成長に有意義な文章力、質問力、プレゼン力を身に着けるための授業を進めていく。自己分析や発信力の要請を目的とした講義とディスカッション、スピーチの実戦練習を行うことにより、進めていく。

学修目標 (= 到達目標) 将来の進むことのできるさまざまな方向性を見極めた上で、ゼミを選択し、演習、卒業研究、さらには就職に必要な基礎的な能力を身に着ける。

内容	
1	オリエンテーション ( 授業の進め方、プレゼミの選択の方法等についての説明 ) 担当 泉
2	文章力・傾聴力。質問力養成のためのワークショップ 担当 岡林 亀田 栗原 新行内
3	プレゼン力養成のためのワークショップ 担当 亀田 栗原
4	プレゼン力養成のためのワークショップ 担当 亀田
5	ゼミ紹介 ( 1 ) 藤本 田倉
6	ゼミ紹介 ( 2 ) 込江 新行内
7	ゼミ紹介 ( 3 ) 加藤 栗原
8	ゼミ紹介 ( 4 ) 大友 川瀬
9	ゼミ紹介 ( 5 ) 阿部 小野
10	ゼミ紹介 ( 6 ) 泉
11	第1回ゼミ選択 担当 泉 阿部
12	DTコースの話題でグループディスカッション 担当 泉 中尾
13	ビジネス情報の話題でグループディスカッション 第2回ゼミ選択 担当 阿部 藤本 込江
14	4年生の就職活動報告とグループディスカッション 担当 田倉 大友 川瀬
15	まとめ ( 自分企画書作成 ) 担当 亀田

#### 評価

平常点30点、授業への取り組み姿勢30点、授業内での課題40点とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各教員のゼミのホームページなどをもとにゼミで行っている内容を理解し、自分の興味のある内容については質問できるように用意する。

【事後学修】ゼミで行っている内容を各回ごとに自分でまとめ、ゼミ選択するときの参考にする。また、基礎的能力については、本授業終了後、他の授業、平常生活でも生よう自分で振り返る。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 なし

【参考図書】 授業中に必要な参考書は指定する

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。  
各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

#### 内容

各自の興味や関心にしたがって、プログラミングを中心とするグループ、グラフィックス中心のグループ、地理情報システム ( G I S ) のグループを選択し、それぞれの基礎を学んでいく。

各分野のテキストを指定するのでテキストに沿って学習し、基礎的な知識と技術を修得する。

また、各種の情報関係資格の取得や S P I などの講座も実施する。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 5 0 % ) と課題の進捗度 ( 5 0 % ) などを点数化し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミは、各ゼミ担当教員が担当する3年次の演習・、4年次の卒業研究・に向けての基礎学力を育成するのが狙いである。

ゲーム作成、アニメーション作製を通してソフトウェアを作成する各工程の理解、コンピューターの総合的な知識の理解を深める。

更に、ソフトウェア作成は一人作ることはあまりなく、複数の人で作ることが多い。

このソフトウェア作成を通し、協調性を身に付けるとともに、グループの中で、自分の意見を言うことができる表現力も身に付け、演習・、卒業研究をスムーズに進められるようにしたい。

ゼミのテーマに関する基礎知識を学習すると共に、自主的に調査・研究・開発する能力、問題を見出し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。また、社会性のある人間を育てることを目的とする。

#### 内容

ゼミでは、以下に述べるゼミのテーマに関する基礎知識を学習すると共に、学生の自主的学習に向けて、独自調査・研究・開発、プレゼンテーション、ディスカッションなど様々な形式によって学生個人に合わせた教育を行う。

アニメーション作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。

1. FLASH などのアニメーションツールの習得
2. プログラミング 言語の習得
3. アニメーション作成
4. 埼玉地域の昔話の絵本作成
5. 埼玉地域の生活についてのデジタル表現について (Excel データベース、ホームページなど)
6. 情報関連の資格取得するための準備

また、アニメーション作成ツールを理解するとともに「ゲーム、デジタル絵本作成、Web」について各自テーマを決め、Power Point を用いて自分たちで調べたこと、考えたこと、パソコンで実験したことを発表し、皆で討論する。ゼミは基本的に、発言し、討論する場を多くしたい。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方など

#### 評価

課題・発表(約50点)、取り組み姿勢(約50点)などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】自分のゼミテーマについて、友達と話し合ったり、本やネットで調べ、いろいろな見方ができることを理解する。

【事後学修】授業中に出された課題を仕上げ、理解する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミナールは、3年次の演習・、4年次の卒業研究に向けての基礎学力を育成するのがねらいである。  
 自主的に調査・研究・開発する能力、問題を発見し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。  
 自主的な学習の結果を定期的に行う進捗報告会で発表することにより、研究に関する基礎能力を養成することができる。

#### 内容

学生ごとに興味のある分野に関して基礎知識を、学生が自主的に学習する。学習した成果を作品としてまとめ、プレゼンテーション、ディスカッションにより3年生での演習につなげていく。

#### 評価

課題発表 (約50点)、取り組み姿勢 (約50点) などを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】自分で立てた学習計画に合わせて、事前予習を行う。
- 【事後学修】自分で立てた学習計画に合わせて、事後学修を行う。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

インターネットの普及と記憶媒体の大容量化に伴い、多くの情報がデータベースに蓄積されている。そこで、多くの情報から知識や規則等を抽出する、いわゆるデータマイニングが注目されている。本プレゼミナールでは、演習 ・ 卒業研究において、データマイニングを扱う上で必要と考えられる、コンピュータの利用方法・プログラミング等の復習・基礎的な知識の獲得を行う。また、プログラミング技術の向上や、システムの理解のために、ゲーム作成も行っており、プレゼミナールでは、プログラミング言語の復習も行う。

本授業中に数回の発表を行うことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

内容	
1	オリエンテーション
2	プログラミング言語の復習 (基本構文)
3	プログラミング言語の復習 (メソッド)
4	プログラミング言語の復習 (クラスの作成)
5	プログラミング言語の復習 (継承)
6	中間発表
7	データマイニングの基礎的知識を獲得する (データの種類)
8	データマイニングの基礎的知識を獲得する (解析手法と使用データ)
9	データマイニングの基礎的知識を獲得する (主成分分析)
10	データマイニングの基礎的知識を獲得する (クラスター分析)
11	練習用データでの解析練習 (主成分分析)
12	解析内容の発表
13	練習用データでの解析練習 (クラスター分析)
14	解析内容の発表
15	総合課題

#### 評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。

【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

3年次の演習に向けて基礎的な経済学について学習する。

##### 科目の概要

基礎的な文献と輪読し、共通理解を深める。

##### 学修目標

経済学について基礎的な知識を身につける。

#### 内容

3年次からの演習を速やかにすすめるために、基礎的な内容を学習する。特に、日本経済や経営に関する問題などを新聞、雑誌などを読みながら進めていく。また、日本銀行、東京証券取引所などを見学するなどして現実の経済の動きを身近に感じられるようにする。

#### 評価

プレゼミでの発表(50%)。レポート作成(50%)。

#### 授業外学習

【事前予習】新聞で経済記事を読む。

【事後学修】プレゼミナールでの討論を踏まえ、さらに調べる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。



科目名	プレゼミナール		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

生活情報学科専門科目「演習」のうち2年次後期の必修科目である。3年次の演習、演習、4年次の卒業研究の準備となる。

##### 科目の概要

官庁統計や社会調査データにどのような種類のものがあるか学習し、参加学生それぞれの関心テーマに応じて、必要な社会調査データを活用できるように、情報の収集および分析の方法を学ぶ。参加学生によるグループディスカッションを通じて考察を深め、結果をレポートにまとめる。

##### 学修目標

社会調査のデータを活用した実証的な社会学の基本知識を学ぶとともに、社会調査データの活用能力を高める。論理的な思考について習得する。

#### 内容

まず、官庁統計や社会調査のデータにどのような種類のものがあるか、以下のサイトを使って学習する。

- 1．首相官邸 白書等（年次報告書）
- 2．内閣府 世論調査・特別世論調査（インデックス）
- 3．総務省統計局
- 4．東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター

ついで、受講生各自の関心テーマについて、必要な統計調査データを上記サイトから収集し、分析してプレゼンテーションする。受講生同士のディスカッションによって考察を深め、結果をレポートにまとめる。

#### 評価

授業中の発表や討議への参加50点、学期末レポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】授業時の研究発表にむけて準備する。
- 【事後学修】授業時の討論をもとに学期末レポートの準備をする。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書と推薦書は、参加学生の関心に照らして、授業時に指示する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は卒業研究を進めるための基礎作りに位置づけられる。

##### 科目の概要

テキストを輪講形式で読み進め、問題発見・解決手法としてデータ解析 ( 統計解析・多変量解析 ) とオペレーションズリサーチの概要を学ぶとともに、適用事例を調査する。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

データ解析とオペレーションズリサーチの概要を理解するとともに、レポートを作成し、プレゼンテーションする力を養う。

#### 内容

テキストの輪講や事例調査を通して、データ解析およびオペレーションズリサーチについて

- ・どのような手法があるのか
- ・必要なデータ
- ・結果の解釈のポイント
- ・どのような問題に適用できるのか など

を学ぶ。さらに担当箇所をレポートにまとめ、発表することにより、レポートの要件・まとめ方とプレゼンテーション技法を学ぶ。

#### 評価

発表：70% + 取り組み：30%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストを精読し、疑問点はリストアップしておく。担当箇所については要点をレポートにまとめ、プレゼンテーション資料を作成する。

【事後学修】授業内容を復習し、理解を深める。課題が出題された場合は期限までに提出する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 【教科書】

テキストは初回授業で指定する。

必要に応じて資料を配布する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格：

本科目は、3年生の演習 ・ 、4年生の卒業研究へむけての過程としての位置付けとなり、3・4年生でのゼミナール活動を行う際の基礎知識を身につけます。

##### 科目の概要：

生活者・消費者としての法の世界との出会い、ビジネスパーソンとしての法律との関わりなどを学びます。

##### 学修目標：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」など身近なテーマを取り上げて法的な基礎知識を身につけます。

なお、取り扱うトピックとしては、参加者の希望も取り入れることにしています。

参加者は課題の予習を行い、それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

#### 評価

授業中の発表 ( 30% ) ・ 報告・議論への参加態度 ( 30% ) 、ワークシート記入・レポート作成等 ( 40% ) により評価します。

#### 授業外学習

【事前予習】指定のテキストを読み報告レポートにまとめる。指定されたテーマについて事前に資料調査をする。

【事後学修】授業内での指摘を受けて報告レポートの修正加筆をする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の演習、4年次の卒業研究に向けての基礎学力および制作力を育成します。

ゼミのメインテーマ ( 映像、グラフィックデザインなどの制作およびメディアリテラシー研究 ) に関する基礎知識の学習および基礎作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に制作する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

プロセスの理解、企画構成の手法、デザイン理論の習得を目標とします。また、メディアリテラシーの基礎能力を獲得し、情報発信者としてメディア表現の様々な知識獲得とクリエイティブマインド育成も目標とします。

#### 内容

様々な基礎演習を行い、デザイン能力やディレクション能力の向上を目指し、作品制作により制作者側の視点からメディアリテラシーおよびメディア表現能力の向上を目指します。

( 例として )

- ・映像 ( 特にテレビ番組を中心 ) の影響力を知るためのテレビ日記作成
- ・ニュース原稿や番組制作の基礎となる企画・構成演習
- ・構成能力の基礎となる組写真による構成演習
- ・映像制作の基礎となるワンシーンワンカット作品制作
- ・デザイン理論の基礎となる画面構成やコピー
- ・アイデア会議やマインドマップの手法

グループまたは単独による発表が数回ありますので、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

地域連携として外部への作品提供や学外コンペティションへの作品応募など、課題は多くあります。

#### 評価

討論参加度 (30%)、発表 (20%)、作品 (30%)、レポート (20%) で総合的に判断し、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

- 【事前予習】指定された資料などを良く読んでおくこと。
- 【事後学修】指定された課題制作やコンペに応募すること。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は、3年次の演習、4年次の卒業研究に向けてのファースト・ステップとして簿記論、会計学の基礎知識を習得して卒業研究等に関する基礎能力を育成する科目である。

##### 科目の概要

ビジネスパーソン必須の簿記・会計等を学ぶ。

授業内の演習における課題発表およびレポート・ホームワーク等の提出がある。

##### 学修目標

ビジネスマンとしてのアカウンティングマインドを身につけ、企業等からも即戦力として評価される日商簿記検定試験等の資格取得を目指す。また課題発表を通じて就活対策としての発表力・表現力も身につける。

#### 内容

プレゼミナールの具体的内容は以下のとおりである。初回のオリエンテーションの後、各自半期の学習計画を策定する。プレゼミナールではまず、3年次の演習、4年次の卒業研究に備えて税制を含む簿記・会計学の基礎知識を修得する。演習、卒研のみならず、就活対策等も兼ねてビジネスパーソンの三種の神器である英語、IT、簿記・会計の1つである簿記・会計の基礎知識をここで把握する。ゼミの進め方は、プレゼミナールも演習科目の1つであるため、事前にプリント等を配布し、割り当てを受けた担当者が翌週発表するという毎回発表形式をとる。ゼミは簿記・会計学が中心となるため日商簿記検定試験、BATIC、FP等の資格取得を推奨するが、希望者が多ければさらに補講等を設定することも可能である。

#### 評価

以下の2点を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

- 1 . 発表を含む授業に対する取り組み姿勢 (70%)
- 2 . レポート・ホームワーク (演習問題) 等の提出 (30%)

#### 授業外学習

【事前予習】発表者はロスタイムでないように事前に準備・確認等しておくこと

【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

適宜プリント等を配布する。

書籍等については必要に応じて授業内で指示する。

科目名	プレゼミナール		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	2	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、3年生の演習Iと演習II、そして続く4年生の卒業論文作成につながるゼミナール活動の準備段階として、社会に出たときに必要となる基礎知識を身につける少人数のクラスです。

#### 科目の概要

テーマごとに基礎的な資料を一緒に読みながら、社会や企業の仕組みについて質疑応答や討論をしつつ内容の理解を深めます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

卒業し社会に出た時に困らないように、経済や産業、企業の仕組みやについての基礎知識を身に着ける。

#### 内容

前半では下記 ( 1 ) の主たるテーマと、日常生活で見聞きする産業や企業全般について、資料やホームページ等を基に説明をします。

次に自分の関心の持てるテーマを選んで、各自分担したテーマや企業を選んで、調査して発表し、討議をします。

#### (1) 主なテーマとケース

企業の社会的役割、企業と個人 ( 家計 ) の関係について

会社とは何か ~ 目的と仕組み

今ある大企業はどのように生まれ、発展してきたのか

変化する市場の潮流と変化し続ける企業の将来

会社・産業界に期待される個人の能力・価値とその未来

その他

( 2 ) 後半では上記を参考に皆さんの関心のあるテーマを絞り込んでいきます。

#### 評価

プレゼミ授業や議論への参加姿勢 ( 40% )、発表 ( 30% )、レポート作成 ( 30% ) を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】次回授業のテーマについて、関連する産業や企業についてウェブサイトでリサーチし、授業で意見交換が出来るようにしておくこと

【事後学修】授業で学んだテーマに関連して呈示された課題について、リサーチし次回発表できるようにすること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず

【推薦書】

【参考図書】授業時に指示します（参加学生の関心も参考にします）。

科目名	演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。

各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

#### 内容

##### 1. 地理情報システム ( GIS )

GISとはデジタル地図と地域の属性情報データベースをコンピュータでリンクさせることによって地域特性を分析するためのツールである。具体的な分析テーマを設定してGIS操作の習得と地域分析の手法について学ぶ。

##### 2. コンピュータグラフィックス

2Dまたは3Dの静止画像と動画の作成を基礎として、ゲームやマルチメディア教材の作成を行う。サンプルプログラムの内容理解から始めて、次第に機能の修正や追加を行い、オリジナル作成

へと進んでいく

##### 3. ネットワークプログラミング

インターネット技術を中心に、サーバの構築やコンテンツ作成を行う。またDBプログラミングなど、応用システムの開発を行っていく。テキストに沿ってシステムの動作やプログラム作成手法を修得していく。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 50% ) と課題の進捗度 ( 50% ) などを点数化し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。



科目名	演習		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミの後に続く演習の授業で、演習、を通して、卒業研究を進める基礎を身につける。

世の中にあるデジタル関連作品、ソフトがどのようにできているかを理解するために、何らかのツールを使いソフトを作成する。作成する過程で、どのようなソフトを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。本授業では、グループのアニメーションやそのたのソフト作りを通して、ツールを使用するようにするだけでなく、ソフトウェア開発の各工程を体験してもらうための準備をする。

何らかのツールでソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」「議論する力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることを大切にする。

#### 内容

アニメーションやホームページ作成、データベースやファイルにアクセスできるホームページ作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。次の項目の中から興味のあるものを中心に行う。

- 1 . FLASH などのアニメーションツールの習得
- 2 . Action Script 言語の習得
- 3 . アニメーションの調査、企画、作成
- 4 . 埼玉地域の昔話の絵本作成
- 5 . 埼玉地域の高齢者の生活についてのデジタル表現について
- 6 . ネットワークを介して、データベースにアクセスできるホームページの作成
- 6 . 情報関連の資格取得の準備

また、アニメーションや上記のソフト作成に関連した各自興味ある課題をひとつ決めPower Point を用いて自分たちで調べたこと、考えたことを発表する。特に、調査したことについて、計算機で実験し、まとめ、発表し、討論することも重要視したい。

子供向けの教育ソフトや一般の絵本、ゲームだけでなく、埼玉地域の昔話や、高齢者の生活について、インタビューし、それをデジタル絵本などで、デジタル化する表現方法についても討論し、考えていく。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方、ショッピングサイトのしくみ、Cook Do 検索サイトのしくみ

#### 評価

授業態度 ( 3 0 点 ) と発表態度 ( 3 0 点 )、ゼミでの活動状況 ( 4 0 点 ) を総合的に判断して評価し、6 0 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】自分で関連ある書籍を探したり、読んだりする習慣を身に着けるようにしたい。

【事後学修】他の人の発表を聞いて、関連していることを調べたり、次の時間に質問したりすることを習慣づける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する。

科目名	演習		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

- ・ プレゼミナールで学習した内容を基礎にして、自主的な計画を立てて、演習、4年生の卒業研究につながる研究を行う。
- ・ マルチメディアサービス、ゲーム、通信サービス、セキュリティサービス、などをテーマとして、学生が主体的にテーマ設定を行い、研究する手法を体得する。卒業研究に向けた準備として、作品制作等を行う。
- ・ 計画的に学習を進め、定期的に進捗報告発表を行うことにより研究遂行能力を養うことができる。

#### 内容

4年生の卒業研究に向けた準備を行う。具体的なテーマは学生の興味に合わせて決定する。設定したテーマについて、研究の目的と位置づけを明確にして、学生が主体的に進める形式で行う。設定するテーマの分野の例として、次のようなものがある。

1. ネットワークサービス
2. 通信サービス
3. セキュリティサービス
4. ゲーム
5. アプリケーションサービス

#### 評価

定期的に行う進捗報告会での発表内容を100点満点で評価し、平均点が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。
- 【事後学修】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年生までに学習した内容を応用し、就職活動や卒業研究に生かすための授業

現代社会においては、自分の考えや価値観を認識することが必要である。さらにどのような変化にも適応できるためには、独力で新しい物事を学んでいけるだけの強い意志力と柔軟な思考力が求められている。本科目では未知の事態に直面した場合に発揮されるべき認識力、分析力、表現力等を、調査の企画とデータ分析を通して身につけることを目標としている。また就職活動において基礎となるSPIや自己分析に関する活動も行う。

「自分自身について理解し、客観的な分析ができる」「社会におけるデータを整理し、必要な手法を選んで分析ができる」「調査の企画・立案ができる」

#### 内容

- 1 オリエンテーション
- 2 自分を知る：適性テスト  
自分を知る：自己分析
- 3 SPI ( 数的処理 ) 計算問題  
SPI ( 数的処理 ) 集合・確率  
SPI ( 数的処理 ) 理論・その他  
SPI ( 言語 ) 語彙関係  
SPI ( 言語 ) ことわざ・四字熟語
- 4 SPSSによるデータ解析 ( 1 ) 度数分布・基礎統計  
SPSSによるデータ解析 ( 2 ) クロス表・ 二乗検定  
SPSSによるデータ解析 ( 3 ) 相関・回帰  
SPSSによるデータ解析 ( 4 ) 平均の差の検定・分散分析
- 5 プレゼン手法

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 授業に対する意欲と態度 ( 30% )
- 2 . 課題発表の達成度 ( 70% )

とし、総合評価60点以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】データ分析手法の復習

【事後学修】SPSSによる分析手法の復習

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じて授業内で指示する

科目名	演習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼминаルにおいて学んだ内容をもとに各自が決めた研究内容 ( ゲーム作成、データ解析 ) に従い研究を進めていく。ゲーム作成では、自分が作成するゲームの概要、画面構成等を決め、研究計画を作成する。データ解析では、分析する対象を決定し、データの仮収集を行ったうえで研究計画を作成する。その後各自の研究計画に沿って研究を進めていく。また、本授業中に数回の発表を行うことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

内容

1	オリエンテーション
2	各自研究分野の検討
3	各自研究分野の現状調査
4	各自研究分野の計画検討
5	各自研究分野の計画作成
6	研究計画発表会
7	研究計画発表会
8	研究計画に沿って実施
9	研究計画に沿って実施
10	研究計画に沿って実施
11	研究計画に沿って実施
12	研究計画に沿って実施
13	研究計画に沿って実施
14	研究成果報告会
15	研究成果報告会

評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。
- 【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	演習		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

卒論作成に向けて経済学の基礎を学習する。

科目の概要

基礎的な文献を輪読し、ディスカッションを通して相互理解を深める。

学修目標 ( = 到達目標 )

経済学について基礎的な知識を深め、討論できる能力の養成を図る。

内容

日本経済に関する基本的文献や新聞、雑誌等を通して、討論する。また、企業訪問などを通して、現実の経済に触れる。

評価

平常点や授業内討論 ( 50% )、演習でのプレゼンテーション ( 50% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】政治や経済の新聞、テレビなどの報道を調べる。

【事後学修】演習でのディスカッションを踏まえ、さらに詳しく調査する。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】授業中に指示する。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

生活情報学科専門科目「演習」の3年次前期必修科目である。2年次後期のプレゼミナールでの成果を踏まえ、3年次後期の演習へと発展させる。

##### 科目の概要

女性のライフコースや家族生活についての実証研究の基本を学ぶ。社会調査にもとづいた研究論文や著書を輪読し、実証研究の方法を学習する。ついで、女性のライフコースや家族生活についての社会調査を計画・実施して、実証研究の技術を習得する。

##### 学修目標

社会調査による実証研究の基本を学ぶ。社会調査を計画・実施する技術を習得する。2年次後期の演習にむけて、参加学生の自らの関心領域を明確にする。

#### 内容

前半 (4月・5月) は、女性のライフコースや家族生活についての実証的な研究論文や著書を取り上げて輪読する。毎時間テキストの一部を取り上げ、数人のレポーターが内容を報告し、参考文献に照らしてコメントする。レポーター以外の者は問題点を指摘し、討論に参加する。なお、テキストは参加学生の問題関心にもとづいて決める。

後半 (6月・7月) は、女性のライフコースや家族生活に関する社会調査の計画を立てる (調査テーマの選定、調査地および調査対象者の選定、調査時期の調整、調査票の作成)。この社会調査計画に基づき、夏期休暇中 (8月) に調査を実施し、調査結果を学期末レポートにまとめる。この社会調査の計画および実施を通じて、女性のライフコースや家族生活を実証的に研究するための知識と技術を習得する。

前年度は、7月末から8月初旬にかけて台北で3泊4日の合宿を実施し、海外で活躍する日本人女性のキャリアについてインタビュー調査を実施した。

#### 評価

授業中の発表や討議 (50%) と学期末のレポート (50%) によって評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表にむけて準備する。

【事後学修】授業時の討論の成果を整理する。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書と推薦書は、参加学生の関心に照らして、授業時に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

プレゼミナールに続く卒業研究の準備段階の科目で、必要な知識や技術を身に付けるとともに、テーマについて検討する。

#### 科目の概要

プレゼミナールで概要を学んだデータ解析・オペレーションズリサーチの代表的な手法の実践的な活用方法を演習を通して身に付ける。また、文献調査を通して卒業研究のテーマを検討する。

#### 学修目標（=到達目標）

- ・ 目的に応じて必要な手法を選択できるようになる
- ・ 必要となるデータや結果の解釈について理解する
- ・ レポート作成を通して卒業研究を進めるプロセスを経験する
- ・ 卒業研究テーマ案を決める

#### 内容

プレゼミナールで学んだ概要を振り返りながら、代表的な手法について詳細を学ぶとともに、演習を通して卒業研究と同じ以下のプロセスを経験し実践力を養う。

- ・ 仮説の設定
- ・ 仮説の検証方法と必要なデータの検討
- ・ データ収集
- ・ 仮説検証
- ・ 考察
- ・ レポート作成
- ・ 発表

また、卒業研究のテーマについて検討し発表する。

#### 評価

課題・発表：70% + 取り組み：30%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】各手法の概要について復習しておく
- 【事後学修】課題を提出期限までに提出する



教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストの詳細については初回授業で指示する。

必要に応じて資料を配布する。

科目名	演習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格：

本科目は、3年生の演習 ・ 、4年生の卒業研究 ・ へむけての過程としての位置付けとなり、3・4年生でのゼミナール活動を行う際の基礎知識を身につけます。

科目の概要：

生活者・消費者としての法の世界との出会い、ビジネスパーソンとしての法律との関わりなどを学びます。

科目の目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」など身近なテーマを取り上げて法的な基礎知識を身につけます。

参加者は課題の予習を行い、それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

#### 評価

授業中の発表 ( 30% ) ・ 報告・議論への参加態度 ( 30% ) 、 報告レジュメ作成・レポート ( 40% ) により評価します。

#### 授業外学習

【事前予習】課題の準備 ( 予習用資料に目を通す、レポート作成、報告レジュメの準備等 )

【事後学修】課題の完成 ( レポート・レジュメの加筆修正 ) および課題の発展

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。

科目名	演習		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

4年次の卒業研究に向けての応用力を育成します。

ゼミのメインテーマ ( 映像、グラフィックデザインなどの制作およびメディアリテラシー研究 ) に関する知識および作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に制作する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

制作プロセスの理解とデザイン理論を応用できる力を習得します。メディアリテラシー能力を向上させ、情報発信者としてメディア表現の様々な知識獲得とクリエイティブマインド育成も目標とします。

#### 内容

4年次の卒業研究に向けて、各自でテーマを選択し発表・制作を行います。

企画構成演習やデザイン理論の発展形、映像技術や写真技術を学び、メディアリテラシーおよびメディア表現能力の向上を目指します。

特にデザイン系 ( グラフィックデザイン )、映像系 ( 実写、写真、モーショングラフィックス、アニメーション ) を重視していきます。

卒業研究に向けて、グループまたは単独による中間発表がありますので、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

地域連携として外部への作品提供、外部コンペティションへの応募など、作品制作の機会が増えます。

クリエイティブ系への就職に向け、ポートフォリオ作成 ( 作品集 ) のための準備をします。

#### 評価

発表、作品、レポートなどで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】ポートフォリオ作成 ( 作品集 ) のための準備を怠らない

【事後学修】ポートフォリオ作成 ( 作品集 ) のための準備を怠らない

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は、4年次の卒業研究、に向けてのファーストステップとして、簿記論等会計学関連科目の基礎知識を習得し、卒業研究等に関する基礎能力を育成する科目である。

##### 科目の概要

前半は、簿記、会計、税務等、実務に直結する一般的な会計関連科目の幅広い基礎知識の習得を目指す。必要な会計関連科目の基礎知識習得後、各自与えられた課題を分析・検討して発表を行い、積極性、分析力、判断力等の育成の他、表現力等プレゼンテーションスキルの上達も試みる。後半は、ゼミの進捗状況により、企業の財務諸表分析、問題点の把握、ソリューションを導き出す能力の育成等、さらなるレベルアップも検討する。また希望者が多ければ日商簿記検定試験等の資格試験対策や模擬面接等の就職活動対策等も考慮する。

##### 学修目標

1. 会計学、簿記論、税法等の科目について基礎知識を習得する。
2. 財務諸表を読み、企業の経営状況を把握する力を身につける。
3. 自ら調査・分析・研究し、卒業研究としてまとめることができる力を養成する。
4. 可能な範囲内での資格取得にチャレンジする。

#### 内容

演習 の具体的内容は以下のとおりである。初回のオリエンテーションの後、前年度のプレゼミナールで修得した簿記および会計の基礎知識の確認を行い、各自半期の学修計画を策定する。演習 の前半ではプレゼミナールでの簿記、会計の知識を受けビジネスパーソンとしては避けることのできないIFRSや日本の税制の報告・検討を発表形式で行う。発表は課題のボリュームにより単独または、グループの場合がある。演習 の後半では税制の知識をさらに発展させ国際税務の初歩レベルを学修する。また、簿記、会計が中心のゼミのため、年度内のゼミ生全員の日商簿記検定試験3級の取得も目指す。

#### 評価

課題発表 ( 30% )、レポート作成 ( 30% )、ディスカッション等ゼミ参画態度 ( 40% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと
- 【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキスト等については、ゼミの進捗状況に応じ、授業内で指示する。また、必要に応じて適宜プリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

ビジネス情報コースの専門必須科目。

#### 科目の概要

学生の殆どが、何らかの形で、本学を卒業後、企業との関連で働く事になる。3年生の演習では、前期は企業について、基本的な事柄、しくみを実際のケースを論じながら、徹底的なアクティブラーニング方式による理解を目指す。又、企業の就活で必要となる、論じる、書くという訓練も合わせて行う。

#### 学修目標

会社、企業というものの基本的な事柄、その運営の為の理論の基礎について理解する事を目指す。

#### 内容

会社、企業とは何か、企業はどうやって収益を上げていくのか、企業が生き残っていくには何が必要か、企業の仕組みはどうなっているのかという、企業の実際についての理解を目指す。授業は、講義方式で無く、学生との或いは学生間の討論形式で議論を重ねて、学生一人一人が理解を深める参加型で進める。更に、学外授業として、企業訪問等を実施、実際の職場の空気を肌で感じて貰う。又、資料についても、一部実際に企業で使用している材料、簡単な英文のものも使用する。

#### 評価

ゼミへの取り組み姿勢 ( 50% ) レポート内容 ( 50% )

#### 授業外学習

【事前予習】色々な企業のホームページからその企業の業績の推移を調べるとともに、今後の業績予想を試みてみる。

【事後学修】事前予習で調べた企業の業績予想を再度行ってその企業の問題点、今後の展開を予測してみる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書は特に定めない。但し、受講者は、4月の授業の開始までに、"もしドラ"を一読しておく事。企業を議論する上で、解りやすく参考になる。

科目名	演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Nクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、4年生の卒業論文作成につながるゼミナールのクラスです。

#### 科目の概要

テーマごとに基礎的な資料を一緒に読みながら、社会や企業の仕組みについて質疑応答や討論をしつつ内容の理解を深めます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

卒業し社会に出た時に困らないように、経済や産業、企業の仕組みやについての基礎知識を身に着ける。

#### 内容

最初に半年間の主たるテーマと、日常生活で見聞きする産業や企業全般について、基礎テキストや資料や基に学習します。次に自分の関心の持てるテーマを選んで、各自分担したテーマや企業を選んで、調査して発表し、討議をします。

#### 評価

演習での参加姿勢 ( 50% )、発表 ( 50% )、を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】授業時に指示します ( 参加学生の関心も参考にします )。

科目名	演習		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習」、4年次の「卒業研究」に接続させるために専門分野に関する知識や技術を学ぶ。

各自の興味関心に応じたゼミを選択し、選択した分野の基礎や研究方法などを学んでいく。

1. 選択した分野の基礎を積極的に学ぶ。
2. 各自の達成目標を設定して、到達できるように努力する。
3. テキスト以外の勉強方法や調査方法などを習得し、自発的学習能力を身につける。

#### 内容

##### 1. 地理情報システム ( GIS )

GISとはデジタル地図と地域の属性情報データベースをコンピュータでリンクさせることによって地域特性を分析するためのツールである。具体的な分析テーマを設定してGIS操作の習得と地域分析の手法について学ぶ。

##### 2. コンピュータグラフィックス

2Dまたは3Dの静止画像と動画の作成を基礎として、ゲームやマルチメディア教材の作成を行う。サンプルプログラムの内容理解から始めて、次第に機能の修正や追加を行い、オリジナル作成

へと進んでいく

##### 3. ネットワークプログラミング

インターネット技術を中心に、サーバの構築やコンテンツ作成を行う。またDBプログラミングなど、応用システムの開発を行っていく。テキストに沿ってシステムの動作やプログラム作成手法を修得していく。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 50% ) と課題の進捗度 ( 50% ) などを点数化し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

とくに指定しない。必要な都度、プレゼミの中で紹介していく。

科目名	演習		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミの後に続く演習の授業で、演習、を通して、卒業研究を進める基礎を身につける。

世の中にあるデジタル関連作品、ソフトがどのようにできているかを理解するために、何らかのツールを使いソフトを作成する。作成する過程で、どのようなソフトを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。本授業では、グループのアニメーションやそのたのソフト作りを通して、ツールを使用するようにするだけでなく、ソフトウェア開発の各工程を体験してもらうための準備をする。

何らかのツールでソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」「議論する力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることを大切にする。

#### 内容

アニメーションやホームページ作成、データベースやファイルにアクセスできるホームページ作成の準備とそれに関連した課題の発表をおこなう。次の項目の中から興味のあるものを中心に行う。

1. FLASH などのアニメーションツールの習得
2. Action Script 言語の習得
3. アニメーションの調査、企画、作成
4. 埼玉地域の昔話の絵本作成
5. 埼玉地域の高齢者の生活についてのデジタル表現について
6. ネットワークを介して、データベースにアクセスできるホームページの作成
6. 情報関連の資格取得の準備

また、アニメーションや上記のソフト作成に関連した各自興味ある課題をひとつ決めPower Point を用いて自分たちで調べたこと、考えたことを発表する。特に、調査したことについて、計算機で実験し、まとめ、発表し、討論することも重要視したい。

子供向けの教育ソフトや一般の絵本、ゲームだけでなく、埼玉地域の昔話や、高齢者の生活について、インタビューし、それをデジタル絵本などで、デジタル化する表現方法についても討論し、考えていく。

課題の例：ホームページと色表現、CG 誕生の歴史、アニメ制作のワークフロー、ホームページに有効なデジカメ写真の撮り方、ショッピングサイトのしくみ、Cook Do 検索サイトのしくみ

#### 評価

授業態度 ( 30点 ) と発表態度 ( 30点 )、ゼミでの活動状況 ( 40点 ) を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習



【事前予習】自分で関連ある書籍を探したり、読んだりする習慣を身に着けるようにしたい。

【事後学修】他の人の発表を聞いて、関連していることを調べたり、次の時間に質問したりすることを習慣づける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業開始時に指定する。

科目名	演習		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 で学習したことを発展させることがねらいである。

自主的に調査・研究・開発する能力、問題を発見し解決していく能力、レポートにまとめ発表する能力を育成する。

自主的な学習の結果を定期的に行う進捗報告会で発表することにより、研究に関する基礎能力を養成することができる。

#### 内容

学生ごとに興味のある分野に関して基礎知識を、学生が自主的に学習する。学習した成果を作品としてまとめ、プレゼンテーション、ディスカッションにより3年生での演習につなげていく。

#### 評価

課題発表 ( 約50 点 )、取り組み姿勢 ( 約50 点 ) などを総合的に評価し、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。

【事後学修】個々のテーマに合わせて、自分で計画を立てて行う。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テーマごとに適宜紹介する。

科目名	演習		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

就職活動や卒業研究に向けた実践力をみにつける授業

現代社会においては、自分の考えや価値観を認識することが必要である。さらにどのような変化にも適応できるためには、独力で新しい物事を学んでいけるだけの強い意志力と柔軟な思考力が求められている。本科目では未知の事態に直面した場合に発揮されるべき認識力、分析力、表現力等を、調査の企画とデータ分析を通して身につけることを目標としている。また就職活動において基礎となるSPIや自己分析に関する活動も行う。

「自己アピールができる」「社会問題について自分の意見や問題意識を発表できる

#### 内容

- 1 オリエンテーション
- 2 自分を知る：エントリーシート作成のための自己分析
- 3 大学生活の振り返り
- 4 卒業研究課題検討
- 5 SPI対策

#### 評価

評価は、以下の2点を総合して行う

- 1 . 授業に対する意欲と態度 (30%)
- 2 . 課題発表の達成度 (70%)

とし、総合評価60点以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】自己分析シートの作成 (2時間)

【事後学修】卒業研究課題検討

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

必要に応じて授業内で指示する

科目名	演習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 の研究成果報告において発表した内容をもとに研究内容の修正・変更を行い、修正・変更した内容に沿って研究計画を変更する。その後各自の研究計画に沿って研究を進めていく。また、本授業中に数回の発表を行うことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	各自研究分野の再調査・再検討
3	各自研究分野の修正・変更
4	各自研究分野の計画再作成
5	研究計画発表会
6	研究計画発表会
7	研究計画に沿って実施
8	研究計画に沿って実施
9	研究計画に沿って実施
10	研究計画に沿って実施
11	研究計画に沿って実施
12	研究計画に沿って実施
13	研究計画に沿って実施
14	研究成果報告会
15	研究成果報告会

#### 評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。

【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	演習		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

卒業研究に向けて基礎的な経済学について学習する。

##### 科目の概要

基礎的な文献と輪読し、共通理解を深める。また、東京証券取引所や日銀などを見学し、より学習を進めていく。

##### 学修目標

経済学について基礎的な知識を身につける。

#### 内容

日本経済の基礎的な内容を学習する。特に、日本経済や経営に関する問題などを新聞、雑誌などを読みながら進めていく。また、日本銀行、東京証券取引所などを見学するなどして現実の経済の動きを身近に感じられるようにする。さらに、卒業研究のテーマを決め、研究を進めていく。

#### 評価

プレゼミでの発表(50%)。レポート作成(50%)。

#### 授業外学習

【事前予習】事前に新聞読む。

【事後学修】授業中に議論した内容をさらに調べる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

生活情報学科専門科目「演習」の3年次後期必修科目である。3年次前期必修科目の「演習」の成果を発展させ、4年次に卒業研究に取り組むための準備となる。

##### 科目の概要

3年次前期の演習に続けて、社会学の中でも実証研究によって成果をあげてきた家族社会学について、より研究を深める。4年次に仕上げる卒業研究のテーマを絞り、そのテーマに関する先行研究と既存資料を整理する。

##### 学修目標

卒業研究で取り上げるテーマを絞り込み、先行研究をレビューして、問題の所在を確認する。

#### 内容

2年次前期の演習で実施した女性のライフコースや家族生活に関する調査結果をもとに、各自の関心テーマを絞り、関心テーマについての先行研究、社会統計データ、新聞記事をレビューする。

1. 家族社会学や社会学の学会誌、『家族社会学研究』、『家族問題研究』、『社会学評論』などから、各自の関心テーマに関連する研究論文を探し、論文一覧を作成し、それぞれの論文を要約する。
2. インターネットを使って、総務省統計局や厚生労働省の官庁統計から、それぞれの関心領域のデータについて検索し、整理する。
3. 図書館の新聞記事検索サイトを使って、それぞれの関心テーマに関連した過去の新聞記事を検索し、記事一覧を作成し、それぞれの記事を要約する。
4. 以上の作業を通じて、4年次の卒業研究のテーマを決定し、そのテーマに関する先行研究と既存資料をまとめた「ゼミ論」(4000字程度)を学期末レポートとして仕上げる。

授業時の研究報告と討論を通じて、関心テーマについての考察を深める。

#### 評価

授業中の発表や討議50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】授業時の研究発表にむけて準備する。
- 【事後学修】授業時の討論の成果を整理する。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書と推薦書は、参加学生の関心に照らして、授業時に指示する。

科目名	演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

プレゼミナール・演習 に続く卒業研究準備の最終段階の科目。

##### 科目の概要

演習 で立案したテーマ案について検討を進め、決定する。また、研究計画を立て、卒業研究の準備を整える。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ 背景・目的を明確にしたうえでテーマを決定する
- ・ 研究計画を立て、発表する

#### 内容

プレゼミナール・演習 で学んだことを参考にしながら、資料・文献調査やプレゼンテーション・ディスカッションを通して、研究の背景や目的を明確にしたうえで、取り上げる問題に対する仮説を設定し、その検証方法や必要なデータについて検討する。必要となる手法についてはソフトウェアの利用方法も含めて確認しておく。期末に研究テーマ・計画について発表する。

#### 評価

取り組み：40% + 研究計画発表60%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】ゼミ報告資料をまとめる
- 【事後学修】ゼミでのコメントをフォローする

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

##### 【教科書】

テキストの詳細については初回授業で指示する。

必要に応じて資料を配布する。

科目名	演習		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格：

本科目は、法律をテーマとして取り扱い、各トピックを考察・検討するとともに調査方法を学びます。4年の卒業研究へむけての過程としての位置付けとなります。

##### 科目の概要：

金融やその他企業の活動にかかわるビジネス法を、生活者・消費者的視点から、ビジネスパーソンの視点から考察します。

契約を中心として私法の分野からのアプローチをしてゆきます。

文献購読、参加者による報告、ディスカッションを通じて、

法律とその背景や現在の社会をめぐる状況からその機能・限界を踏まえて展望について研究します。

##### 学修目標：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

日常生活でも仕事をしていく上でも重要な「契約」や「紛争解決制度」等を素材に研究を進めます。

指定の文献を事前に必ず読んでいることが全員に要求されます。

担当レポーターは制度・事案を整理してレジюмеを作成し報告します。

それを踏まえて参加者による積極的な質疑応答・ディスカッションを通じて、理解を深めます。

後期は、通常の報告と同時並行して卒業研究のテーマ選び、卒業研究のテーマに関する研究・調査の

準備を行ないます。卒業研究の準備として、選択したテーマにつき、

後期終了時まで、各自ゼミ・レポートを作成します。

#### 評価

授業中の発表 ( 30% ) ・ 報告・議論への参加態度 ( 30% ) 、 報告レジюме作成・レポート ( 40% ) により評価します。

#### 授業外学習

【事前予習】課題の準備 ( 予習資料に目を通す、レポート作成、報告レジюме準備等 )

【事後学修】課題の完成 ( レポート・レジюмеの加筆修正 ) および課題の発展

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。また、適宜資料の配布をします。



科目名	演習		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

4年次の卒業研究に向けての応用力を育成します。

ゼミのメインテーマ ( 映像、グラフィックデザイン、Webなどの制作およびメディアリテラシー研究 ) に関する知識および作品制作を行います。自主的に調査・研究する 計画的に制作する 発表するという3つを円環的に行います。また、グループワークを通じて実社会への適応能力を育成することも目的とします。

制作プロセスの理解とデザイン理論を応用できる力を習得します。メディアリテラシー能力を向上させ、情報発信者としてメディア表現の様々な知識獲得とクリエイティブマインド育成も目標とします。

## 内容

4年次の卒業研究に向けて、各自でテーマを選択し発表・制作を行います。

企画構成演習やデザイン理論の発展形、映像技術や写真技術を学び、メディアリテラシーおよびメディア表現能力の向上を目指します。

特にデザイン系 ( グラフィックデザイン )、映像系 ( 実写、写真、モーショングラフィックス、アニメーション ) を重視していきます。

卒業研究に向けて、グループまたは単独による中間発表がありますので、主体的に取り組む姿勢が不可欠です。

地域連携として外部への作品提供、外部コンペティションへの応募など、作品制作の機会が増えます。

クリエイティブ系への就職を考えて、ポートフォリオ作成 ( 作品集 ) および提出が必須となります。 ( クリエイティブ系への就職を考えていない場合でも提出必須 )

## 評価

発表、作品、レポートなどで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】ポートフォリオ作成を怠らない

【事後学修】ポートフォリオ作成を怠らない

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

必要に応じてプリントや資料を配布します。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 は、演習 に引き続き、企業の財務諸表分析や企業経営の考え方を会計、税務の両面から幅広く検討し、課題発表等を通じて考察力、分析力、さらには問題解決能力等を習得する科目である。また、演習 は、翌年の卒業研究へのステップとして位置付け、テーマ設定、研究計画等、卒業研究の準備も行う。

演習 に引き続き、会計学、税制の基礎力の確認を行い、会社の財務諸表分析や企業経営等を検討するが、可能であればさらに国際会計や国際税務戦略、よりレベルの高い資格試験対策等への発展的拡充を試みる。課題発表では、パワーポイント等のソフトウェアを利用して各自、選択可能なテーマの中から発表を行う。課題は会計学、税制の範囲に限らず、幅広い分野からのテーマ設定が可能である。課題発表では、プレゼンテーションやディスカッションを通してスピーディな資料の作成能力や発言力、ソフトウェアを利用した表現力、効果的な発表力等を身につける。

学修目標としては以下の4点をあげる。

1. 財務諸表の基礎的分析力、問題点の把握とその解決能力の習得。
2. 会計学、税制の基礎知識把握と発展的拡充。
3. 効果的なプレゼンテーション・スキルの向上。
4. 研究に関する基礎能力の育成。

#### 内容

演習 の具体的内容は以下のとおりである。演習 は演習 の内容をさらに発展させ会計・税務の実務を想定したテーマを課題に取り組んでいく。課題の発表方法は演習 と同様にボリュームにより単独、グループの場合があるが、発表は既定のフォーマットを用いて全員で評価、ディスカッションを行う。ゼミの後半では次年度の卒業研究に向け、テーマ設定や論構成、執筆計画等の卒業研究執筆手順についても若干指導するが、次年度のゼミ生内定率100%を目指し、模擬面接やグループディスカッション等就職活動対策も予定している。また日商簿記検定試験2級・3級合格者で希望があれば1級・2級の試験対策、さらには税理士試験や公認会計士試験等の国家試験対策を行うことも可能である。

#### 評価

課題発表 ( 30% )、レポート作成 ( 30% )、ディスカッション等ゼミナール参画態度 ( 40% ) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと
- 【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

テキスト等については、ゼミの進捗状況に応じ授業内で指示する。また必要に応じ適宜プリントを配布する。

科目名	演習		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門必須科目。

#### 科目の概要

学生の殆どが、何らかの形で、本学を卒業後、企業との関連で働く事になる。3年生の演習では、前期は企業について、基本的な事柄、しくみを実際のケースを論じながら、徹底的なアクティブラーニング方式による理解を目指す。又、企業の就活で必要となる、論じる、書くという訓練も合わせて行う。

#### 学修目標

会社、企業というものの基本的な事柄、その運営の為の理論の基礎について理解する事を目指す。

#### 内容

会社、企業とは何か、企業はどうやって収益を上げていくのか、企業が生き残っていくには何が必要か、企業の仕組みはどうなっているのかという、企業の実際についての理解を目指す。授業は、講義方式で無く、学生との或いは学生間の討論形式で議論を重ねて、学生一人一人が理解を深める参加型で進める。更に、学外授業として、企業訪問等を実施、実際の職場の空気を肌で感じて貰う。又、資料についても、一部実際に企業で使用している材料、簡単な英文のものも使用する。

#### 評価

ゼミへの取り組み姿勢 ( 50% ) レポート内容 ( 50% )

#### 授業外学習

【事前予習】色々な企業のホームページからその企業の業績の推移を調べるとともに、今後の業績予想を試みてみる。

【事後学修】事前予習で調べた企業の業績予想を再度行ってその企業の問題点、今後の展開を予測してみる。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書は特に定めない。但し、受講者は、4月の授業の開始までに、"もしドラ"を一読しておく事。企業を議論する上で、解りやすく参考になる。

科目名	演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	2Nクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、4年生の卒業論文作成につながるゼミナールのクラスです。

#### 科目の概要

テーマごとに基礎的な資料を一緒に読みながら、社会や企業の仕組みについて質疑応答や討論をしつつ内容の理解を深めます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

卒業し社会に出た時に困らないように、経済や産業、企業の仕組みやについての基礎知識を身に着ける。

#### 内容

最初に半年間の主たるテーマと、日常生活で見聞きする産業や企業全般について、基礎テキストや資料や基に学習します。次に自分の関心の持てるテーマを選んで、各自分担したテーマや企業を選んで、調査して発表し、討議をします。

#### 評価

演習での参加姿勢 ( 50% )、発表 ( 50% )、を目安とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】

【事後学修】

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】

【推薦書】

【参考図書】授業時に指示します ( 参加学生の関心も参考にします )。

科目名	卒業研究		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

各自の選択した分野で研究テーマを設定して作品の作成・開発を進めていく。

3年次の演習を基礎として、各自のテーマで研究を進める。

1. ゼミ担当教員の指導を受け、卒業研究テーマを設定する。
2. 研究の内容、方向性および進め方を検討する。
3. 進捗を自己管理し、進捗報告会、中間報告会、卒研発表会で成果をプレゼンテーションする。

#### 内容

研究テーマの設定や研究スケジュールなどを教員と相談しながら決定し、研究に必要なデータ収集や調査、ツールや素材の作成などを進める。

さらに、具体的な作品を作成しながら、内容の検討やブラッシュアップを進めていく。

進捗報告会や中間報告会では、ゼミ担当教員からアドバイスを受けて追加修正作を行い、完成度を高める。

卒研発表会では研究成果をプレゼンテーションするとともに、全体をまとめたレポートを作成する。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 10% )、進捗報告会 ( 10% )、中間報告会 ( 20% )、卒研発表会 ( 30% )、レポート ( 10% )、成果物 ( 20% ) を点数化し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。授業の中で適宜指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミ、演習、 に続く授業であり、卒業研究 と合わせて、卒業研究を進める。

卒業研究 では卒業制作の計画を立て、作品制作に取り掛かる。

3年生までのコンピュータに関して学んだことを総合的に理解し、調査、研究し、各自の考え方にに基づきソフトウェアの作品制作を行う。ソフトウェア開発では、まず、どのようなソフトウェアを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。グループで作品を政策する過程で、ツールやプログラミング言語を使えるようにするだけでなく、ソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることも大切にする。

本授業では大学で学んだことの総括として、学んだこととアニメーションに関する知識を基に調査、研究、討論し、グループでの協調作業としてアニメーションを作成に取り掛かることができることを目標とする。

#### 内容

まず、ソフトウェア開発のための準備をする。ゼミは基本的に、自分たちで調べたこと、考えたことを発言し、討論する場を多くする。次に、既存のさまざまなアニメーションソフトを使いソフトウェアの比較をし、利点、欠点など批評しあう。既存のゲームソフト、幼児、子供用の学習ソフトを使い、比較することにより、使った人が楽しめるソフト、使いやすいソフトはどのようなソフトか考える。

更に、グループでアニメーションソフトウェアを作る企画を行う。特にFLASH にはこだわらずさまざまなアニメーション作成ツールがあるので、目的にあったツールを使い、アニメーションを作成する。

グループに分かれ、自分たちでどのようなソフトを作るか討論して決め、卒業作品を作成する。

また、アニメーション作成時に体験した問題点を整理し、一般的なソフトウェア作成時の問題点として考えたときどのような問題と解決策があるか整理し、まとめて卒業論文を書くことが望ましい。

#### 評価

発表態度(30 点)、ゼミでの活動状況(30%)、卒業作品(40%)を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】平常時から、各自の卒業研究課題に関連した書籍を読んだり関連したソフトを使ったりして、事前準備することが望ましい。

【事後学修】他の学生の卒業研究関連の発表を聞いたときは、関連した本を読んだり、関連した疑問を考え、次回に質問するよう各自、授業以外で学習することが望ましい。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指定する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

演習 の研究内容を発展させ、自主的に進める。

学生が主体的に研究計画を立て、それに基づき各自のテーマに沿って研究を行い、最終的にその成果を卒業論文としてまとめる。これらの活動を通して、社会に出て必要とされる業務遂行能力を身につけることをねらいとする。

研究成果を卒業論文としてまとめ、発表することにより、研究遂行能力および社会で必要とされる業務推進手法を学ぶことができる。

#### 内容

次の研究分野を参考に学生が主体的に設定したテーマに沿って、作品等の作成や調査研究を行い、卒業論文の執筆を行う。定期的に進捗報告発表を行う。

- 1.アプリケーションサービス
- 2.コミュニケーションサービス
- 3.セキュリティサービス

#### 評価

定期的に行う進捗報告，卒論発表会での発表内容（50点）、卒業論文（50点）により評価する。

#### 授業外学習

【事前予習】自分の研究計画に合わせて、事前予習を行う。

【事後学修】自分の研究計画に合わせて、事後学修を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

適宜紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	星野 敦子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Lクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

4年間の学習のまとめと学習成果の活用 演習において学んだ知識と技術を生かし、実際に調査を実施する。自らテーマ・仮説の設定を行い、調査対象を特定して、調査項目ならびに調査票を作成する。一方分析のための入力フォーマットを決定し、データ入力から分析、まとめにいたる一連のプロセスを遂行することにより、これまで学んできた知識を実践に生かす力を養う。

「データや観察に基づいた分析ができる」「分析結果を整理して、論文や図、表などの形で表現できる」「効果的でわかりやすい卒論の発表ができる」

#### 内容

##### 前期

- 1 卒業研究のテーマ確定
- 2 活動計画の作成
- 3 活動の実施 ( 調査、実践、社会活動等 )

##### 後期

- 4 活動の整理
- 5 データ分析、活動記録の作成
- 6 論文作成
- 7 発表資料・プレゼン作成
- 8 発表

#### 評価

通常の活動状況、調査の実践状況、分析知識と技術等を総合して行う。

割合は活動状況30%、卒業論文50% プレゼンテーション20%とする。

#### 授業外学習

【事前予習】「調査と統計」「社会調査法」で学んだ統計知識の復習

「マーケティングリサーチ」で学んだ調査技法の復習

【事後学修】社会的な事象における調査分析のプロセスの確認 結果の検証法の復習

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

推薦書『よくわかる卒論・修論のための統計処理の選び方』鍵和田京子・石村貞夫著 ( 東京図書 )



科目名	卒業研究		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 の研究成果報告において発表した内容をもとに研究内容の修正・変更を行い、修正・変更した内容に沿って研究計画を変更する。その後各自の研究計画に沿って研究を進めていく。また、本授業中に数回の発表を行うことにより、ドキュメンテーション技術・プレゼンテーション技術を身につける。

## 内容

1	オリエンテーション
2	各自研究分野の再調査・再検討
3	各自研究分野の修正・変更
4	各自研究分野の計画再作成
5	研究計画発表会
6	研究計画発表会
7	研究計画に沿って実施
8	研究計画に沿って実施
9	研究計画に沿って実施
10	研究計画に沿って実施
11	研究計画に沿って実施
12	研究計画に沿って実施
13	研究計画に沿って実施
14	研究成果報告会
15	研究成果報告会

## 評価

平常点 20 点、自分の研究内容理解及び、発表点 80 点により評価を行い、60 点以上を合格とする。

## 授業外学習

- 【事前予習】研究計画に従い、事前準備をしておく。
- 【事後学修】研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

生活情報学科の専門必修科目である。

##### 科目の概要

演習 に引き続いて、卒業論文の完成を目指し、さらにプレゼンテーション用の資料を作成する。

##### 学修目標

卒業論文の完成を目指す。

#### 内容

卒論の完成を目指す。アウトラインに基づいて執筆を始める。さらに発表でのコメント、教員の指導のもと修正を図りながら完成させる。

#### 評価

卒業研究に対する積極的な準備と意欲的な態度（40点）及び、課題発表等の達成度（60点）を総合して判断し、評価を行う。

#### 授業外学習

【事前予習】卒業論文の作成を行う。

【事後学修】授業での教員のコメントや他の学生の意見を参考に卒論作成を進める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】随時教室にて指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

##### 科目の性格

生活情報学科専門科目の必修科目である。

##### 科目の概要

2年次後期のプレゼミナール、3年次の演習 ・演習 を通じて絞られた個々の研究テーマについて、社会調査による実証データを収集・分析し、ゼミナールでの中間報告とグループディスカッションを通じて考察を深め、論理性のある研究論文を執筆する。

##### 学修目標

自らの大学4年間の学修を総括する研究テーマについて、オリジナルなデータに基づいた考察を深める。客観的な論理に基づく新たな知見を提示し、残された課題を把握する。その成果を研究論文として仕上げる。

#### 内容

卒業研究は、以下の手順によって進められる。1．研究テーマの設定、2．先行研究の検討、3．独自性・独創性のある理論の展開、4．まとめと今後の課題の提示。

参加学生は、ゼミナールにおいて卒業研究を中間報告し、グループディスカッションすることによって、各自の研究テーマについて理解を深める。担当教員は、個々の研究課題に対して理論や接近法を助言するとともに、研究論文（本文14,000字から20,000字）の執筆について技術指導する。

なお、近年の卒業論文のテーマには、以下のものがある。

- 「女性がビジネスで求められる品格とは何か」
- 「未婚男女が結婚相手に求める条件 - 『婚活』ブームと未婚晩婚化 - 」
- 「チャペルウェディングの流行が意味するものは何か」
- 「専業主婦に対するイメージと現実のギャップ - 専業主婦と女子大生へのインタビューより - 」
- 「国際結婚カップルの子供に対するバイリンガル教育 - アメリカ人と結婚した日本女性の子育ての事例より - 」
- 「母子家庭と子どもの貧困 - 埼玉県所沢市における母子家庭支援のあり方より - 」
- 「日本における老舗の存続戦略 - 中国での応用可能性を問う - 」
- 「家族農業経営における余暇時間の創出 群馬県館林市の畜産農家の5事例より 」
- 「暮らしやすさの指標と幸福度」
- 「シェアハウスで暮らす - 新しい共同性のあり方 - 」
- 「現代のスピリチュアル・ブーム - 癒し・スピリチュアル系商品・サービスの市場 - 」
- 「地域社会におけるJリーグの存在意義 浦和レッズの地域密着を事例として 」
- 「世界文化遺産登録と地域開発 - 富士山の世界文化遺産登録運動より - 」

#### 評価

授業中の発表や討議を50点、卒業論文を50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】授業時の研究発表むけて準備する。

【事後学修】授業時の討論の成果をもとに研究論文を執筆する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参加学生個々の研究テーマに応じて、授業時に推薦書を紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

プレゼミナール・演習 ・ を受け、卒業研究を進める

科目の概要

各自の設定した研究テーマについて研究計画に基づいて卒業研究を進め、論文にまとめる

学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ 卒業論文を完成させる
- ・ 卒業研究を進めるプロセスを通して実践的な問題解決能力を身につける

内容

研究計画に基づいてデータ収集とデータ解析・オペレーションズリサーチの手法による仮説の検証を行う。これらは報告・ディスカッションをしながら進め、研究計画は必要に応じて修正する。得られた結果について考察し、卒業論文にまとめる。  
論文及びその要旨を提出し、その概要について発表する。

評価

論文・プレゼンテーション：80%+ 取り組み：20%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】ゼミ報告資料をまとめる
- 【事後学修】ゼミでのコメントをフォローし、論文を執筆する

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】

テキストの詳細については初回授業で指示する  
必要に応じて資料を配布する

科目名	卒業研究		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格：

演習 ・ で学んだことを基礎に、卒業研究としての論文作成作業を進め、最終的に論文を完成させます。

科目の概要：

金融やその他企業の活動にかかわるビジネス法等を、生活者・消費者の視点から、また、ビジネスパーソンの視点から考察します。契約を中心として、私法の分野からアプローチしてゆきます。文献収集、参加者による報告、論文執筆を通じて、法律とその背景や、現在の社会をめぐる状況を踏まえ、その機能・限界を理解したうえで、展望について検討します。

学習目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

3年生時の研究テーマ、ゼミ・レポートを踏まえて、各自選択した卒業研究テーマの研究を進めます。前期にはテーマの確定、構想、文献調査を行い、後期にはそれをもとに卒業研究を論文の形に仕上げ作業を進めてゆきます。

#### 評価

研究会での参加の状況 ( 30% )、卒業研究の進捗状況・内容 ( 70% ) により総合的に評価します。100点満点の60点が単位取得の下限です。

#### 授業外学習

【事前予習】卒業研究の完成へ向けて進めた作業をまとめる。自らの進捗状況を把握する。

【事後学修】授業時に指摘された個所についてさらに加筆修正し、課題を完成へ向けて作業を進める。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

4年間の集大成として卒業研究を行います。

ゼミのメインテーマ (映像、グラフィックデザインなどの制作およびメディアリテラシー研究) から個人テーマを設定して作品制作または論文執筆を行います。

企画力、制作力、論文執筆能力を習得します。メディアリテラシー能力をさらに向上させ、情報発信者としてメディア表現の様々な手法とクリエイティブマインドを獲得します。

#### 内容

4年間の集大成として卒業研究を行います。

各自でテーマを選択し制作および発表を行います。

特にデザイン系 (グラフィックデザイン)、映像系 (実写、写真、モーショングラフィックス、アニメーション) を重視します。

卒業研究の詳細は以下のどちらかを選択します。

1. 作品制作の場合、 作品 詳細を記したレポート (字数指定無し、フォーマット指定)
2. 論文の場合、 論文 (字数指定有り、フォーマット指定)

#### 作品の場合の注意事項

- ・企画書・スケジュールおよびラフデザインの事前提出と審査が必須。
- ・写真集や絵本などは外部委託による製本を行うこと。(2冊以上)
- ・映像系はDVD-ROM化を行い、パッケージを作成すること。(2枚以上)
- ・グラフィック系の場合はA1パネル化または実寸によるポートフォリオ化または外部委託による実物作成を行うこと。(2個以上)

#### 評価

研究計画書 (企画書、ラフデザインなど)、研究内容 (作品・レポート、論文)、研究発表会などで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

- 【事前予習】企画立案、資料収集を怠らない。
- 【事後学修】計画を確認し、作品制作を怠らない。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

その都度指示する。



科目名	卒業研究		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究は、演習 に引き続き、企業の財務諸表分析や企業経営の考え方を会計、税務の両面から幅広く検討し、必修である卒業研究論文を作成する科目である。

具体的には、演習 で学修した会计学、税制の基礎力の確認を行った後、各自の卒業研究テーマを確定し、研究作業に入る。進捗状況に応じた数回の卒業研究発表では、パワーポイント等のソフトウェアを利用して発表を行う。卒論テーマは会计学、税制の範囲に限らず、幅広い分野からのテーマ設定が可能である。発表におけるプレゼンテーションやディスカッションを通してスピーディな資料の作成能力や発言力、ソフトウェアを利用した表現力、効果的な発表力等を身につける。

学修目標としては以下の4点をあげる。

1. 早期卒論テーマの確定。
2. 基礎的分析力、問題点の把握とその解決能力の習得。
3. 研究に関する基礎能力の育成。
4. 効果的なプレゼンテーションスキルの向上。

#### 内容

具体的な卒業研究の内容は以下のとおりである。初回はオリエンテーションを行うが、翌週からは各自1年間の卒業研究計画の策定、卒業研究論文の方法論の確認等を経てテーマ設定に入る。前期の卒業研究ゼミでは、卒論のメインテーマ、サブテーマ、章構成等の検討後、パワーポイント等のソフトを用いて進捗状況に応じ、各自数回の発表報告を行う。夏季休暇における合宿では、卒論のテーマ、構成等の最終的な報告会を行い、後期の本論文作成に備える。また前期では必要に応じて、日商簿記検定試験やFP等の資格試験対策、グループディスカッションや模擬面接等の就活対策等も行う。後期の卒業研究ゼミでは、前期の合宿による卒論の最終発表報告を受けて本論文の作成が中心となる。後期のオリエンテーション後、速やかに本論文の作成に入り、翌年1月末の卒業研究論文集の完成のため、12月中のファイナルドラフトの終了を目指す。

#### 評価

卒論発表 (50%)、レポート・ホームワーク等の作成 (20%)、ディスカッション等ゼミナール参画態度 (30%) により総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと

【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

資料・推薦書等については、ゼミの進捗状況に応じ授業内で指示する。また必要に応じ適宜プリントを配布する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Mクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

生活情報学科 4年生 必修科目

科目の概要

卒業研究の作成に向けて、テーマ設定、論文作成の基礎学習を行う。テーマ設定が進んだ段階で、執筆に入り、個別指導によって論文完成を目指す。

学修目標 (= 到達目標)

論文の作成を実践する。

内容

- 1 テーマ設定：3年次に行った「ゼミ論」から、論文に発展させるテーマを探る
- 2 文献検索の方法を学ぶ：テーマに関わる文献検索の方法を学ぶ  
テーマ文献リストづくり
- 3 関連論文・データの収集と内容把握：  
先行研究など関連論文をよみ、どのようにテーマを展開するか検討する
- 4 論文執筆方法の学習：書き方を基本に、章の構成、テーマの展開を検討
- 5 7月－論文の概要発表会：プレゼンを行  
メンバーのプレゼン、論文内容へのコメント発表
- 6 テーマ概要の決定にもとづき、個別指導に入る
- 7 アンケート調査によるデータ収集や活用を具体化する
- 8 論文内容を深める

## 9 中間発表会

10 12月半ば一完成・提出（その後1月に発表会）

### 評価

論文作成への取り組み30点、論文の構成・内容など作品評価で70点とし、総合評価60点以上を合格とする。

### 授業外学習

各自の関連テーマの文献を読む。

自分の論の整理につなげる。

### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】「よくわかる卒論の書き方」を基本文献とする。

科目名	卒業研究		
担当教員名	岡林 正和		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Nクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

これまで学んできたことの総仕上げとして、設定したテーマに関する研究を行うための4年次必修の通年科目であり、研究成果を卒業論文として提出する。

##### 科目の概要

3年次までに習得した知識・技術をもとに、自ら設定した研究テーマについて主体的・計画的に研究に取り組み、最終的な成果として作品および卒業研究論文にまとめ、報告する。

##### 学修目標

研究テーマおよび目的・方法を明確にし、必要な情報を収集する。

開発を主とした研究の場合は、コンテンツを制作する。

コンテンツと研究論文を期限内に提出し、成果発表会で報告する。

#### 内容

卒業研究テーマに関連する情報収集を行ない、卒業研究の目的・方法を明確にし、研究を進める。

最終的な成果物として、調査を主とした研究の場合には研究論文を、開発を主とした研究の場合はコンテンツと研究論文を仕上げて提出する。

1月下旬に行う卒業研究成果発表会に向けてレジメとプレゼン資料の作成を行う。

各自研究テーマが異なるので、定期的に打ち合わせを行ない、進捗状況などを報告する。

#### 評価

卒業研究の進捗状況によって評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】計画通りに進められるように必要な資料などを準備する。

【事後学修】計画通りに進められたかを確認し、次のやるべきことを明確にする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

各自の研究テーマにしたがって書籍・文献などを適宜紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Pクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

専門必修科目。4年間の集大成としての卒業論文作成。

#### 科目の概要

3年次の演習I, IIで学んだ知識やアプローチ・分析の手法を用いて、社会や身近な産業・ビジネス・企業に関連したなかで自分の関心あるテーマを設定し、卒業論文をまとめる。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

主体的に取り組むことにより、自主性・積極性をみがく。また今まで学習した知識やスキルを、卒業論文にまとめ上げていくことにより、統合力・応用力・提案力を身につける。

#### 内容

前期では、関心のある分野、テーマを発表しあい、それらのテーマに参考となる実際のケース等を取上げて討議し、テーマを絞り込んで、計画を立て、調査・研究作業にはいるための手法・手順を学びながらまとめていく。

後期では、調査・収集した材料を検証・分析した結論を導く。最後に完成した論文の要旨をまとめて発表する。

#### 評価

従業への意欲・関心・態度を30%、卒業論文の成果を70%の割合で評価し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】進捗状況に伴い、必要に応じ都度指示する。

【事後学修】授業における指導をもとに調査・分析し、次回にフィードバックを受けること

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】

【参考図書】